

平成23年 社会生活基本調査 結果報告書
(平成13年・平成18年調査結果との比較を含む)

～ 山梨県民のくらし ～

山梨県企画県民部統計調査課

平成24年12月

はしがき

この度「平成23年 社会生活基本調査 結果報告書～山梨県民のくらし～」を作成・公表することといたしました。

この報告書は、県民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について、総務省統計局が国の基幹統計として5年毎に実施する社会生活基本調査の中から、山梨県の平成23年及び平成18年・平成13年に実施した調査結果との比較を通じた直近の過去10年間の推移などを含めて取りまとめ、この度山梨県版社会生活基本調査報告書として作成したものです。

主な内容は、「生活行動編」と「生活時間編」の2部門と、各部門の個別事項についての全国からみた山梨県のランキングを掲載しました。

この報告書により、県民の社会生活の実態について明らかにすることで、各種行政施策や民間・学術分野の基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

なお、調査の実施に際して、格段にご協力いただきました世帯及び調査員の方々、並びに調査関係者の皆様に厚くお礼申し上げますと共に、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月
山梨県企画県民部長

目 次

I 調査の概要	1
II 用語の解説	4

III 調査結果

1 生活行動編

(1) 学習・自己啓発・訓練	9
(2) スポーツ	14
(3) 趣味・娯楽	26
(4) ボランティア活動	33
(5) 旅行・行楽	37

2 生活時間編

(1) 一日の生活時間	42
(2) 一次活動	
①睡眠時間	43
②食事時間	44
(3) 二次活動	
①仕事時間	46
②家事関連時間	48
(4) 三次活動	
①休養等自由時間	49
(5) 高齢者（65歳以上）の生活時間	52
(6) 平均時刻	
①起床・就寝の平均時刻	54

IV 全国・都道府県との地域差 山梨県のランキングと推移

1 生活行動関連 行動者率のランキングと推移	56
2 生活時間関連 平均時間及び平均時刻のランキングと推移	64

統 計 表

1. 生活行動編関係

学習・自己啓発・訓練の種類別行動者数 表1-1	69
学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率 表1-2	70
スポーツの種類別行動者数 表1-3	71

スポーツの種類別行動者率 表1-4	7 2
趣味・娯楽の種類別行動者数 表1-5	7 3
趣味・娯楽の種類別行動者率 表1-6	7 4
ボランティア活動の種類別行動者数及び行動者率 表1-7	7 5
旅行・行楽の種類別行動者数及び行動者率 表1-8	7 6

2. 生活時間編関係

行動の種類別総平均時間（週全体） 表2-1	7 7
行動の種類別総平均時間（平日） 表2-2	7 8
行動の種類別総平均時間（日曜日） 表2-3	7 9
曜日、男女、起床時刻別行動者数（構成比）及び平均起床時刻 一 全国・山梨県 平日・土曜日・日曜日 表2-4	8 0
曜日、男女、起床時刻別行動者数（構成比）及び平均就寝時刻 一 全国・山梨県 平日・土曜日・日曜日 表2-5	8 2

I 調査の概要

1 調査の目的

社会生活基本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明かにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として総務省統計局が実施している統計調査である。

この調査は、国の基本的な統計調査として昭和51年以来、5年毎に行われており、平成23年社会生活基本調査はその8回目として実施した。

2 調査の期日

平成23年10月20日現在による。

ただし、生活時間の配分についての調査は、総務大臣が10月15日から10月23日までの9日間のうちから、調査区ごとに定める連続する2日間とした。この調査日の指定は、調査区を無作為に次の8つのグループに分けて指定した。

グループ番号	調査曜日	調査日
1	土日	10月15日, 16日
2	土日	10月15日, 16日
3	日月	10月16日, 17日
4	火水	10月18日, 19日
5	木金	10月20日, 21日
6	金土	10月21日, 22日
7	土日	10月22日, 23日
8	土日	10月22日, 23日

3 調査の範囲

(1) 調査の地域

平成17年国勢調査の調査区のうちから総務大臣の指定する全国約6,900調査区とした。

(2) 調査の対象

調査区内に居住する世帯のうちから、総務大臣の定める方法により都道府県知事が選定する世帯の10歳以上の世帯員とした。

ただし、次に掲げる者は調査の対象から除外している。

- ア 外国の外交団、領事団（家族、随員及び随員の家族を含む。）
- イ 外国軍隊の軍人、軍属の構成員（家族を含む。）
- ウ 自衛隊の営舎内又は被収容者
- エ 刑務所、拘置所の被収容者
- オ 少年院、婦人補導院の在院者
- カ 社会福祉施設の入所者

- キ 病院、療養所等の入院患者
- ク 水上に住居を有する者

3 調査世帯の選定方法

(1) 抽出方法・単位

社会生活基本調査は標本調査であり、層化2段抽出法（第1段…調査区、第2段…世帯）により世帯を選定している。

①第1次抽出 …… 調査区

総務省統計局で次のものを除く調査区から抽出した。

- a 山岳・森林・原野地帯等の調査区
- b 大きな工場・学校等のある調査区
- c 社会施設・大きな病院のある調査区
- d 刑務所・拘置所のある調査区
- e 自衛隊地域の調査区
- f 駐留軍地域の調査区
- g 水面調査区
- h 離島

②第二次抽出 …… 世帯

都道府県で各調査区の世帯から無作為抽出した。

1 調査区 1 2 世帯

(2) 調査区数及び調査世帯数

全国約 6, 900 調査区、約 8 万 3 千世帯

山梨県では、

対象市町村 13 市 7 町 2 村（対象外は、早川町、道志村、山中湖村、小菅村、丹波山村）

調査区数 123 調査区（調査票A 120 調査票B 3）

調査対象世帯数 1, 476 世帯（1 調査区あたり 12 世帯 山梨県
全世帯の約 0.45%）

調査対象世帯員数 約 3, 500 人

が調査対象となった。（山梨県世帯数 H23.10.1 現在 328, 891）

4 調査内容

(1) 調査票A（プリコード調査票：選択方式）

過去 1 年間の生活行動及び指定された連続する 2 日間の 1 日の生活時間を調査。

(2) 調査票B（アフターコード調査票：自由記入方式）

指定された連続する 2 日間の 1 日の生活時間を調査。

山梨県では、調査票Aは前述の対象市町村の120調査区で調査、調査票Bは甲府市、韮崎市、上野原市の3調査区で調査した。

5 調査の方法

(1) 調査の流れ

総務大臣 - 都道府県知事 - 指導員 - 調査員 - 調査世帯

(2) 調査の実施

調査は、調査員等（調査員の事務を行う指導員を含む）が調査世帯ごとに調査票を配布し、及び収集し、並びに質問することにより行った。

(3) 報告の方法

報告は、世帯主又は世帯員が調査票に記入し、調査員等の質問に答え、調査票を提出することにより行った。

6 結果の推計方法

社会生活基本調査は標本調査のため、調査データを基に、総務省統計局において定められた方法により推計が行われた。

なお、推計の中で使用される「基準人口」は、平成22年国勢調査結果、人口動態統計、住民基本台帳人口移動報告などを基に総務省統計局で推計した平成23年10月1日現在の人口を用いた。

7 調査結果

この調査結果報告書は、総務省統計局が全国の指定する調査区世帯を調査対象として実施した社会生活基本調査から山梨県に関する結果をまとめたものである。

総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/index.htm>

8 利用上の注意

- ア 本調査報告書の内容は、総務省統計局が平成24年7月13日（生活行動編）及び平成24年9月26日（生活時間編）に公表した調査票Aの調査結果に基づき作成されています。調査票Bについては、都道府県別のデータ集計が無いため、本調査報告書の内容には含まれていません。
- イ 統計数値については、四捨五入の関係上、合計の数字と内訳の計は、必ずしも一致しない場合があります。
- ウ 平成13年・平成18年調査については、調査対象項目または集計項目として都道府県別データが無い項目もあります。
- エ この統計データを引用・転載する場合には、（山梨県調査結果報告書 出典：総務省「社会生活基本調査」）の表記をお願いいたします。

II 用語の解説

1 共通事項

①年齢

平成23年10月20日現在における満年齢である。

②世帯

住居と生計を共にしている人の集まりをいう。

一人で1戸を構えて暮らしている人や、間借り、寮・寄宿舎・下宿屋などに居住する単身者はその一人一人を一つの世帯とした。

③属性別の人口

「10歳以上の数」「男女別」「曜日別」等の各属性に該当する人口

2 生活行動編に関する事項

①行動の種類

行動の種類・内容については、別表1～3を参照。

②行動者数

過去1年間（平成22年10月20日～平成23年10月19日）に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数。

③行動者率

10歳以上人口に占める行動者数の割合。

$$\frac{\text{行動者数}}{\text{属性別の人口}} \times 100 (\%)$$

3 生活時間編に関する事項

①1次活動

生理的に必要な活動。

睡眠、身の回りの用事、食事

②2次活動

社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動。

通学・通勤、仕事（収入を伴う仕事）、

学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）、

家事、介護・看護、育児、買い物

③3次活動

1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動。

移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、

学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、

ボランティア活動・社会参加活動、交際・つきあい、受診・療養、その他

④平均時間

行動の種類別平均時間は、一人1日当たりの平均行動時間で、総平均と行動者平均、曜日別平均と週全体平均とがある。

- ・総平均 …… 該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均。
- ・行動者平均 …… 該当する種類の行動をした人のみについての平均。
- ・曜日別平均 …… 調査の曜日ごとに平均値を算出したもの。平日平均（月曜日～金曜日の平均値）、月曜日～日曜日がある。
- ・週全体平均 …… 次の式により曜日別結果を平均して算出した。

$$\text{（月曜日平均} + \dots \dots \text{+ 日曜日平均）}$$

7

⑤行動開始・終了時刻

- ・起床時刻 …… 12時前に始まり、60分を超えて続く最初の睡眠の終了時刻。
- ・朝食開始時刻 … 4時以降、11時前に始まる最初の食事開始時刻。
- ・夕食開始時刻 … 16時以降、24時（翌日0時）前に始まる最初の食事開始時刻。
- ・就寝時刻 …… 17時以降、36時（翌日12時）前に始まり、60分を超えて続く睡眠の開始時刻。
- ・出勤時刻 …… 0時15分以降、24時（翌日0時）前に始まる最初の仕事の前にある通勤・通学の開始時刻。
- ・仕事からの帰宅時刻 … 0時15分以降、24時（翌日0時）前に始まる最後の仕事の後にある通勤・通学の終了時刻。

⑥平均時刻（時：分）

各行動開始又は終了時刻（1日目の午前0時からの経過時間）について行動者数に基づき、次の式により算出した。

$$\Sigma \text{（1日目午前0時からの経過時間数} \times \text{行動者数)}$$

なお、仕事からの帰宅時刻については「不詳」は除いて算出した。

別表1 行動の種類の内容例示一覧

行動の種類	内 容 例 示	備 考
1 睡眠	夜間の睡眠 昼寝 仮眠 ベッドで眠りに落ちるのを待つ	・就寝から起床までの時間をいう。 ・うたたねは「13 休養・くつろぎ」とする。
2 身の回りの用事	洗顔 入浴 トイレ 身じたく 着替え 化粧 整髪 ひげそり 理美容室でのパーマ・カット エステ 巡回入浴サービスを利用した入浴	・自分のための用事をいう。 ・炊事、掃除、洗濯は「7 家事」とする。 ・介護サービスなどを利用して行う場合もここに含める。
3 食事	家庭での食事・飲食 外食店などの食事・飲食 学校給食 仕事場での食事・飲食	・交際のための食事・飲食は「18 交際・つきあい」とする。 ・間食(おやつ)は「13 休養・くつろぎ」とする。
4 通勤・通学	自宅と仕事場の行き帰り 自宅と学校(各種学校・専修学校を含む)との行き帰り	・途中で寄り道をした場合も、ふだんの経路を大きくはずれない場合の移動の時間はここに含める。
5 仕事	通常の仕事 仕事の準備・後片付け 残業 自宅に持ち帰ってする仕事 アルバイト 内職 自家営業の手伝い 仕事中の移動	・本人または自家の収入を伴う仕事をいう。 ・休憩時間などのため仕事をしない時間は除く。 ・出張先への行き帰りの移動は「11 移動」とする。
6 学業	学校(小学・中学・高校・高専・短大・大学・大学院・予備校など)の授業や予習・復習・宿題 校内清掃 ホームルーム 家庭教師に習う 学園祭の準備	・必修科目として行うものでないクラブ活動・部活動はその内容により「15 趣味・娯楽」、または「16 スポーツ」などとする。 ・学習塾での勉強はここに含める。
7 家事	炊事 食事の後片付け 掃除 ゴミ捨て 洗濯 アイロンかけ つくりいもの ふとん干し 衣類の整理片付け 家族の身の回りの世話 家計簿の記入 株価のチェック・株式の売買 庭の草とり 銀行・市役所などの用事 車の手入れ 家具の修繕	・通勤・通学者などの送迎はここに含める。 ・自家消費用の作物の栽培などもここに含める。ただし、趣味として行っている場合は「15 趣味・娯楽」とする。 ・インターネットによる株価のチェック・株式の売買もここに含める。
8 介護・看護	家族・他の世帯にいる親族に対する日常生活における入浴・トイレ・移動・食事などの手助け 看病	・一時的な病気などで寝ている家族に対する介護・看護もここに含める。 ・家族以外の人に対する無報酬の介護・看護は「17 ボランティア活動・社会参加活動」とする。
9 育児	乳幼児の世話 子供のつきそい 子供の勉強の相手 子供の遊びの相手 乳幼児の送迎 保護者会に出席	・子供の教育に関する行動を含む。 ・就学後の子供の身の回りの世話は「7 家事」とする。
10 買い物	食料品・日用品・電化製品・レジャー用品など各種の買い物 ビデオのレンタル	・ウインドーショッピング、インターネットによる買い物も含む。
11 移動 (通勤・通学を除く)	電車やバスに乗っている時間・待ち時間・乗換時間 自動車に乗っている時間 歩いている時間	・「4 通勤・通学」以外の移動で、出発地から目的地までの時間をいう。
12 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	テレビ・ラジオの視聴 新聞・雑誌の講読 テレビから録画したビデオを見る インターネットで新聞を読む	・テレビ(録画を含む)・ラジオ(録音を含む)・新聞・雑誌による学習は「14 学習・自己啓発・訓練(学業以外)」とする。 ・購入・レンタルなどによるビデオの視聴は「14 学習・自己啓発・訓練(学業以外)」または「15 趣味・娯楽」などとする。
13 休養・くつろぎ	家族との団らん 仕事場または学校の休憩時間 おやつ・お茶の時間 食休み うたたね	・テレビ・ラジオなどを視聴しながらくつろいだ時間は「12 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」とする。
14 学習・自己啓発 ・研究(学業以外)	学級・講座・教室 社会通信教育 テレビ・ラジオによる学習 クラブ活動・部活動で行うパソコン学習など 自動車教習	・個人の自由時間に行う学習をいう。 ・職場で命ぜられて受けた研修は「5 仕事」とする。 ・学校の宿題の「自由研究」は「6 学業」とする。
15 趣味・娯楽	映画・美術・スポーツなどの観覧・鑑賞 観光地の見物 ドライブ ペットの世話 テレビゲーム 趣味としての読書(漫画を含む) クラブ活動・部活動で行う楽器の演奏	・菓子作りなど、趣味として行っている場合はここに含める。
16 スポーツ	各種競技会 全身運動を伴う遊び 家庭での美容体操 クラブ活動・部活動で行う野球など(学生が授業などで行うスポーツを除く) つり	・運動としての散歩を含む。ただし、特別の目的がある移動(職場に歩いて行く)は含めない。
17 ボランティア活動 ・社会参加活動	(ボランティア活動) 道路や公園の清掃 施設の慰問 点証 手話 災害地などへの援護物資の調達 献血 高齢者の日常生活の手助け 民生委員 子供会の世話 美術館ガイド リサイクル運動 交通安全運動 (社会参加活動) 労働運動 政治活動 布教活動 選挙の投票	・自分の所属する町内会・PTA・同業者団体のために行う世話はここに含める。 ・自分の所属する地域・団体で行うバザー、お祭り、運動会などへの単なる参加は「10 買い物」、「15 趣味・娯楽」、「16 スポーツ」などとする。
18 交際・付き合い	知人と飲食 冠婚葬祭 同窓会への出席・準備 あいさつ回り 見舞い 友達との電話・会話 手紙を書く	・交際のための趣味・娯楽、スポーツはそれぞれ「15 趣味・娯楽」、「16 スポーツ」とする。
19 受診・療養	病院での受診・治療 自宅での療養	
20 その他	求職活動 墓参り 仏壇を拝む 調査票を記入する	

※総務省統計局HPの「用語解説」資料より

別表2 学習・自己啓発・訓練の内容例示一覧

学習・自己啓発・訓練の種類	内 容 例 示
英語	英語 英会話 英語検定
英語以外の外国語	フランス語 ドイツ語 中国語 スペイン語 ロシア語 ハングル
パソコンなどの情報処理	パソコンソフトの使用方法 プログラミング ワープロによる文章作成方法
商業実務・ビジネス関係	商業実務 銀行実務 為替実務 マーケティング実務 経理実務 簿記 会計 税務 財務 和・英文タイプ 秘書 国際ガイド フライトアテンダント 同時通訳 経営実務 企業経営 コンサルタント 観光経営 速記 ホテル観光 珠算 編集広報 ビジネス英語
介護関係	在宅介護 訪問介護
家政・家事	家庭経営学 食物学 住居学 児童学 和洋裁 料理 編物 手芸 しゅう アートフラワー 着付 作法 リビングアート
人文・社会・自然科学	文学 日本文学 言語学 外国語学 比較文学 児童文学 日本史 東洋史 西洋史 歴史学 地理 人文地理学 考古学 哲学 心理学 優れ学 宗教学 仏教学 神学 東洋思想 人文学 文化学 文明学 図書館情報学 行動科学 憲法 民法 商法 刑法 國際法 民事訴訟法 経済法 政治学 経営学 会計学 経済学史 國際経済学 マーケティング 社会学 社会福祉学 文化人類学 新聞学 社会心理学 政治経済学 行政学 國際関係論 都市計画 地域計画 経営工学 数学 応用数学 確率過程論 応用数理学 情報科学 物理学 地球物理学 宇宙物理学 物性学 天文学 応用物理学 化学 無機化学 有機化学 高分子学 生命化学 生物学 生化学 動物学 植物学 生理学 遺伝子工学 地質学 地球科学 鉱物学 大気水圏科学 気象学 基礎科学 海洋科学 原子物理学 環境生物学 農学 農業生物学 造園学 農芸化学 食品工学 食品化学 農業工学 農業機械学 農業経済学 農業経営学 林学 森林工学 獣医学 酪農学 海洋資源学 環境保全学 機械工学 電子通信工学 土木建築工学 応用化学・応用理学 土木・建築 電気・電子 無線・通信 自動車整備 機械 情報処理 医学関係 看護 歯科技術 臨床検査 はり・きゅう・マッサージ
芸術・文化	絵画 油絵 彫刻 版画 造形 アニメーション 手工芸 グラフィックデザイン インテリアデザイン 映像デザイン 音楽の一般理論 声楽 作曲 指揮 音響芸術 楽器演奏 劇音楽 俳優養成 舞踏 能楽 放送芸術 映像芸術 人形劇 大衆芸能 写真撮影技術 現像 印画 写真芸術 書道 ペン字 レタリング
その他	栄養 調理 理容 美容 親の在り方 親の役割 家庭の教育機能 子供の成長発達 教育学関係 教員養成関係 社会福祉関係 地球環境問題 福祉問題 物価 雇用問題 青少年問題 國際政治 遺伝子問題 「いじめ」問題 一般教養 自動車の運転技能

※総務省統計局HPの「用語解説」資料より

別表3 ボランティア活動の内容例示一覧

「ボランティア活動」は、「もっぱら他人や社会のため」に行うもので、以下の行動は、ボランティア活動には含めません。
〔宗教活動、政治活動、消費者運動、市民運動、権利主張や政策提言型の運動〕

ボランティア活動の種類	内 容 例 示		
健康や医療サービスに関係した活動	<ul style="list-style-type: none"> ・献血、献血活動への呼びかけ ・巡回医療・診療 ・健康相談 ・薬に関するデータ提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院における活動(利用者サービスの向上のための協力、環境整備のための活動、入院患者の生きがいづくりのための活動) 	
高齢者を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者(子供)との交流の場づくり ・高齢者へのレクリエーション指導および相手 ・生きがいづくりのための技能指導 ・ひとり暮らしの高齢者を家庭に招待 	<ul style="list-style-type: none"> ・友愛訪問や散歩相手、話し相手 ・寝たきりやひとり暮らしの高齢者への給食サービス ・介護サービス 	
障害者を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none"> ・盲児・し体不自由者の学校などへの誘導 ・障害者の学習指導 ・障害者へのレクリエーションまたは技能指導 ・在宅障害者への友愛訪問、訪問介助サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の社会参加協力(車イスの提供など) ・点訳・朗読・レコーディング・手話などの奉仕 ・難病者への支援 	
子供を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん相談、子育てサロン ・児童遊園地などのレクリエーション指導 ・子供会や子育て団体の援助・指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習指導 ・児童保育 ・学校行事の手伝い 	
スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室における指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ会場の警備
	社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人大学の講師
	文化・芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽家・芸術家の育成支援 ・市民劇団の開催 ・演劇の鑑賞会の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承と普及 ・郷土の歴史研究
	学術	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究、情報収集および提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・学会・研究会・勉強会の支援
まちづくりのための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に花を植える ・駅の自転車置き場の整理 ・道路・公園などの清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市と農村の交流 ・地域団体のリーダーとしての活動 ・村おこし・地域おこしの活動 	
安全な生活のための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の危険場所点検のための巡回 ・通学路の安全確保活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全運動 ・「火の用心」の巡回 	
自然や環境を守るための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油を使った石鹼作りの指導 ・海浜美化活動(ゴミ集め) ・環境教育の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥の観察・保護 ・砂漠の緑化活動(または植林活動) 	
災害に関係した活動	<ul style="list-style-type: none"> ・救援物資の確保・輸送 ・災害復旧のための資金の募集・現地での労力奉仕 	<ul style="list-style-type: none"> ・炊き出しなどの災害時の救援 ・災害後の被災者への救援 	
国際協力に関係した活動	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流・国際親善 ・海外技術協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外への食料援助 ・留学生支援 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人権相談 ・情報システム技術の提供 ・上記に挙げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言、または援助の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護者の支援 ・消費者相談 	

※総務省統計局HPの「用語解説」資料より

III 調査結果

1 生活行動編

(1) 学習・自己啓発・訓練

「学習・自己啓発・訓練」について、山梨県において過去1年間(平成22年10月20日～平成23年10月19日。以下同じ)何らかの種類を行った人の数(行動者数。以下同じ)は255千人で、10歳以上人口に占める割合(行動者率。以下同じ)は33.2%であり、10年前(平成13年)・5年前(平成18年)と比べて減少している。

全国においては、過去1年間の行動者数は40,170千人で、行動者率は35.2%であり、山梨県より2.0ポイント高い。(統計表第1-1表、表1-2)

① 平成23年行動者率の男女別・年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別、年齢階級別に比較すると、全体では男性32.5%、女性33.9%と女性の方が1.4ポイント高く、山梨県で最も行動者率が高いのは15～24歳女性で49.8%、続いて10～14歳女性で47.2%であり、男性が女性を上回るのは25～34歳、45歳～54歳、75歳以上ののみとなっている。(表1-1、図1-1)

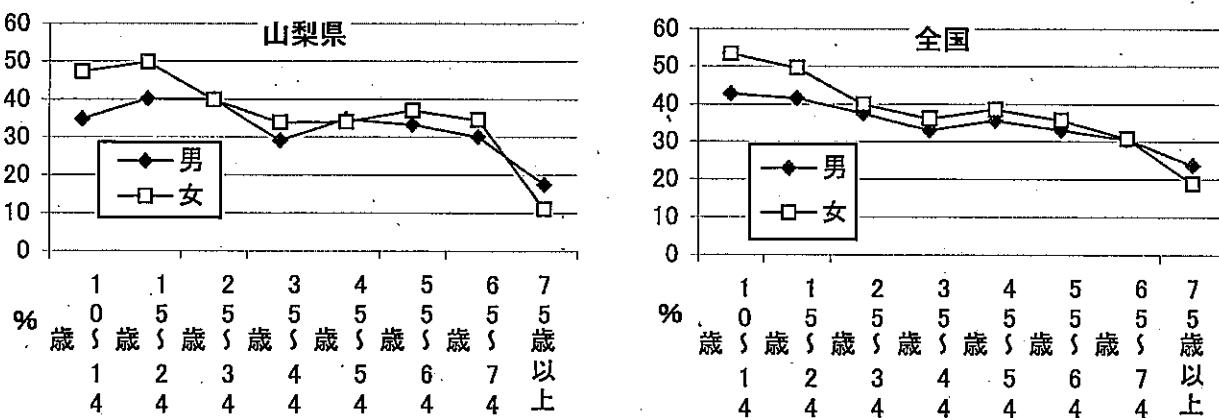
・全国の状況

全国においては、行動者率を同様に比較すると、75歳以上を除き全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。(表1-1、図1-1)

表1-1 男女、年齢階級別行動者率(平成23年) (%)

	山梨県		全 国	
	男	女	男	女
10～14歳	34.8	47.2	42.7	53.4
15～24歳	40.1	49.8	41.5	49.5
25～34歳	40.0	39.8	37.5	39.9
35～44歳	29.1	33.8	33.0	36.1
45～54歳	34.8	34.0	35.7	38.5
55～64歳	33.3	37.0	33.0	35.7
65～74歳	30.0	34.5	30.5	30.8
75歳以上	17.5	11.0	23.7	18.8
総数	32.5	33.9	34.3	36.1

図1-1 男女、年齢階級別行動者率(平成23年)



②平成13年・18年・23年の行動者率の年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年までの10年間で36.2%から33.2%と3.0ポイント減少した。また平成13年と平成18年の調査では、ほぼ同じ動きをしていたが、平成23年調査では、35～54歳で減少し、55～74歳では逆に増加している。(表1-2、図1-2)

・全国の状況

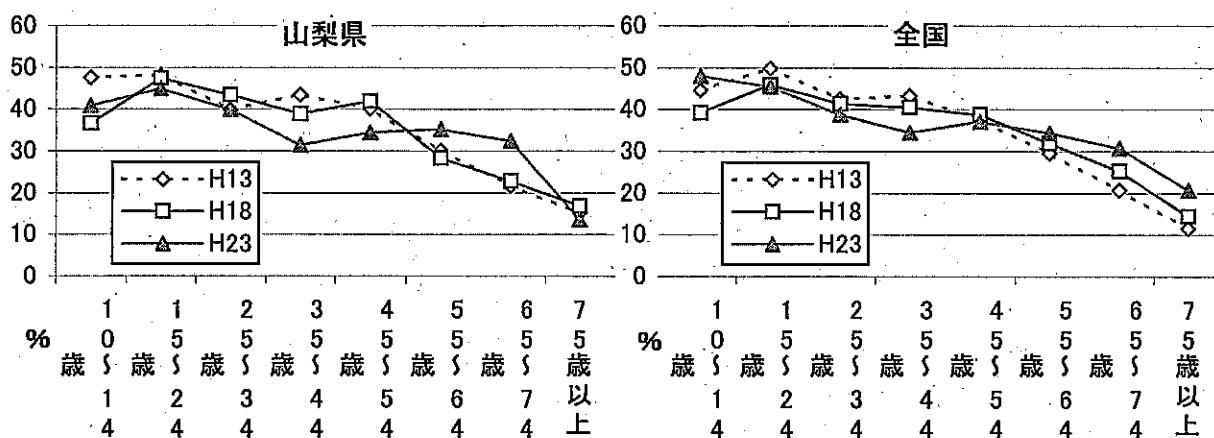
全国においては、行動者率を同様に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年までの10年間で36.2%から35.2%と1.0ポイント減少した。また、全国も平成13年と平成18の調査では、ほぼ同じ動きをしていたが、平成23年調査では、35歳～54歳で減少し、55歳以上では逆に増加している。

(表1-2、図1-2)

表1-2 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	山梨県			全 国		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23
10～14歳	47.6	36.6	40.8	44.6	39.2	48.0
15～24歳	48.2	47.4	44.9	49.8	45.9	45.4
25～34歳	39.9	43.4	39.9	42.4	41.3	38.7
35～44歳	43.4	38.9	31.4	43.3	40.5	34.5
45～54歳	40.1	41.9	34.4	37.5	38.7	37.1
55～64歳	30.1	28.3	35.2	29.5	31.9	34.4
65～74歳	21.7	22.8	32.4	20.7	25.2	30.7
75歳以上	15.1	16.8	13.5	11.5	14.4	20.7
総数	36.2	34.7	33.2	36.2	35.2	35.2

図1-2 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)



③平成23年の行動者率の種類別・男女別比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に比較すると、男性では「パソコンなどの情報処理」が13.2%と最も高く、次に「英語」と「芸術・文化」が8.3%で並び、以下「人文・社会・自然科学」が7.6%、「商業実務・ビジネス関係」が7.4%、の順になっている。

一方、女性では、「芸術・文化」が12.6%と最も高く、ついで「家政・家事」が10.8%、「パソコンなどの情報処理」が9.1%、「英語」が6.6%となっている。(表1-3、図1-3)

・全国の状況

行動者率を同様に比較すると全体では男性34.3%、女性36.1%と女性の方が1.8ポイント高い。

男性では「パソコンなどの情報処理」が14.8%と最も高く、次に「英語」が10.1%、「商業実務・ビジネス関係」が8.2%、「人文・社会・自然科学」が8.1%の順になっている。

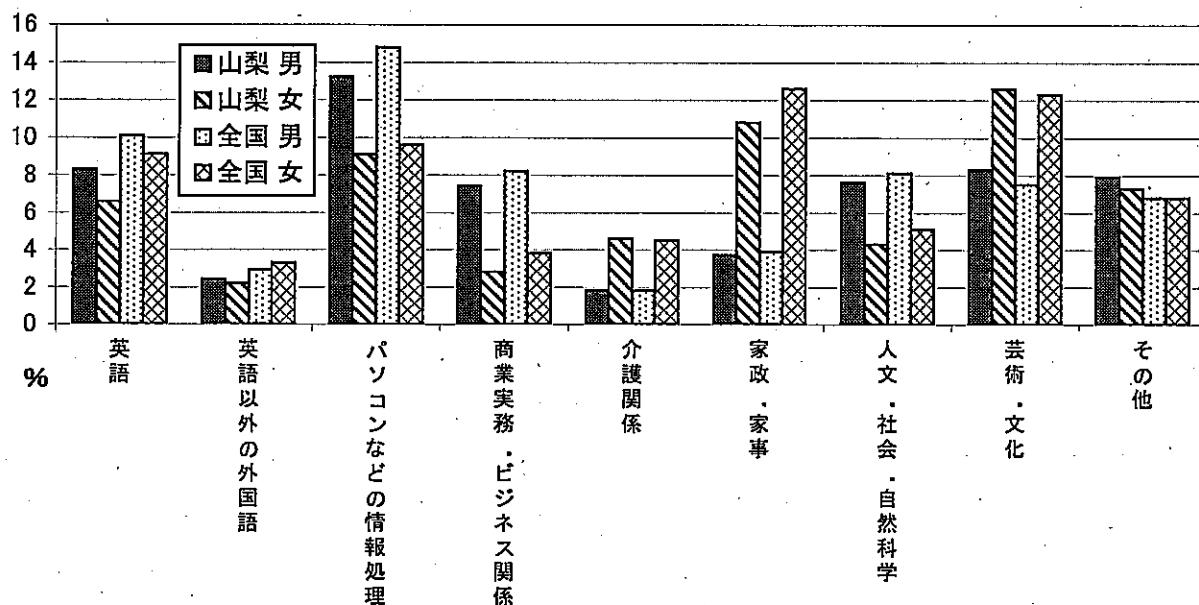
一方、女性では、「家政・家事」が12.6%と最も高く、次に「芸術・文化」が12.3%、「パソコンなどの情報処理」が9.6%、「英語」が9.1%となっている。(表1-3、図1-3)

表1-3 男女、種類別行動者率(平成23年)

(%)

	総数	英語	英語以外の外国語	パソコンなどの情報処理	商業実務・ビジネス関係	介護関係	家政・家事	人文・社会・自然科学	芸術・文化	その他
山梨県	男	32.5	8.3	2.4	13.2	7.4	1.8	3.7	7.6	6.9
	女	33.9	6.6	2.2	9.1	2.8	4.6	10.8	4.3	12.0
全国	男	34.3	10.1	2.9	14.8	8.2	1.8	3.9	8.1	7.5
	女	36.1	9.1	3.3	9.6	3.8	4.5	12.6	5.1	12.3

図1-3 男女、種類別行動者率(平成23年)



④平成13年・18年・23年の種類別の行動者率比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に平成13年調査から比較すると、「パソコン等の情報処理」が4.4ポイントと最も大きく減少した。増加したものは「芸術・文化(0.3ポイント)」、「その他(1.5ポイント)」の2種類で、他はすべて減少している。(表1-4、図1-4)

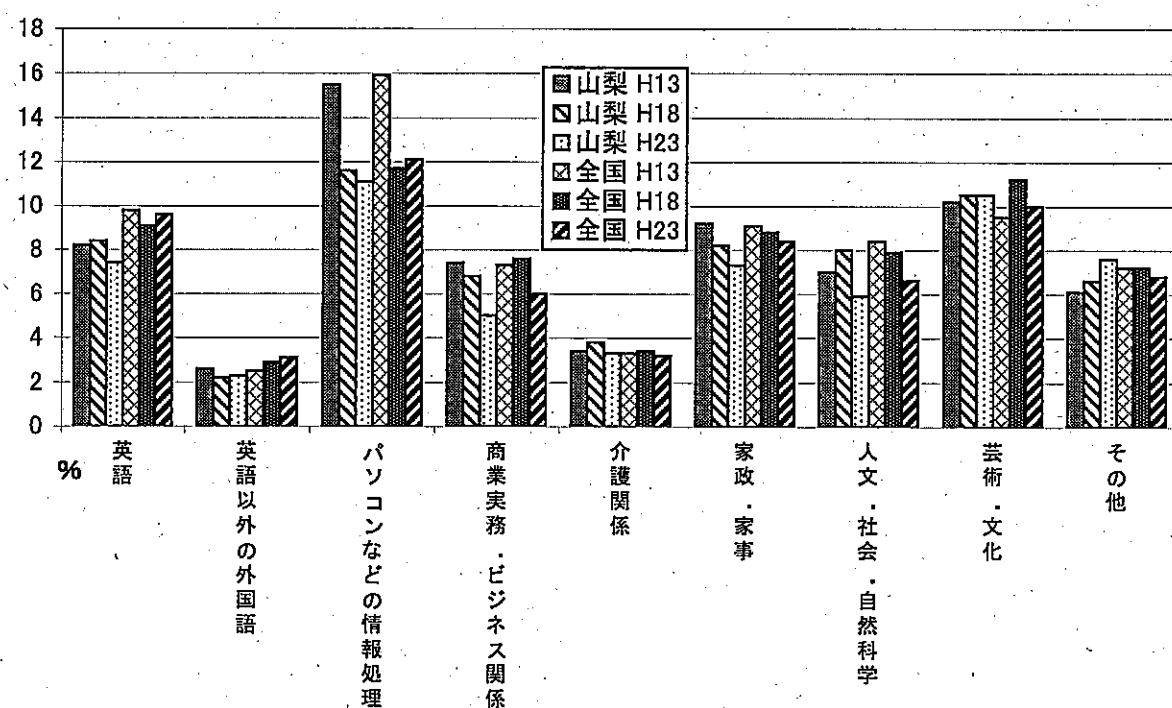
・全国の状況

行動者率を同様に平成13年調査から比較すると、「パソコン等の情報処理」が3.8ポイントと最も大きく減少した。増加したものは「英語以外の外国語(0.6ポイント)」、「芸術・文化(0.5ポイント)」の2種類で、他はすべて減少している。(表1-4、図1-4)

表1-4 種類別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

		総数	英語	英語以外の外国語	パソコンなどの情報処理	商業実務・ビジネス関係	介護関係	家政・家事	人文・社会・自然科学	芸術・文化	その他
山梨県	H13	36.2	8.2	2.6	15.5	7.4	3.4	9.2	7.0	10.2	6.1
	H18	34.7	8.4	2.2	11.6	6.8	3.8	8.2	8.0	10.5	6.6
	H23	33.2	7.4	2.3	11.1	5.0	3.3	7.3	5.9	10.5	7.6
全国	H13	36.2	9.8	2.5	15.9	7.3	3.3	9.1	8.4	9.5	7.2
	H18	35.2	9.1	2.9	11.7	7.6	3.4	8.8	7.9	11.2	7.2
	H23	35.2	9.6	3.1	12.1	6.0	3.2	8.4	6.6	10.0	6.8

図1-4 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)



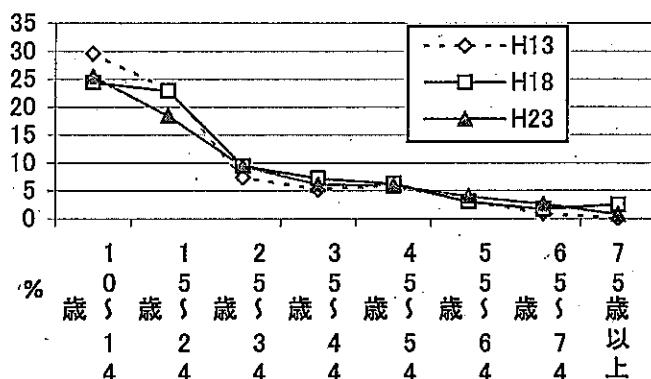
⑤平成13年・18年・23年の主な種類についての年齢階級別行動者率比較

主な種類について年齢階級別に平成13年調査から比較してみると、調査年によりそれぞれの変化がある中で、平成23年においては、介護関係の25～34歳、家政・家事の65～74歳及び芸術・文化の10～24歳、55～74歳が過去2回の調査年の行動者率を上回っている。

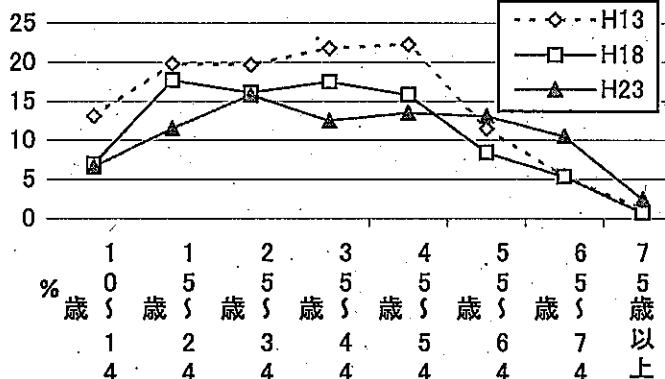
また、英語については全ての調査年において各年齢階級とも同様な推移である。

図1-5 「学習・自己啓発・訓練」の主な種類 年齢階級別行動者率比較(平成13年・18年・23年)

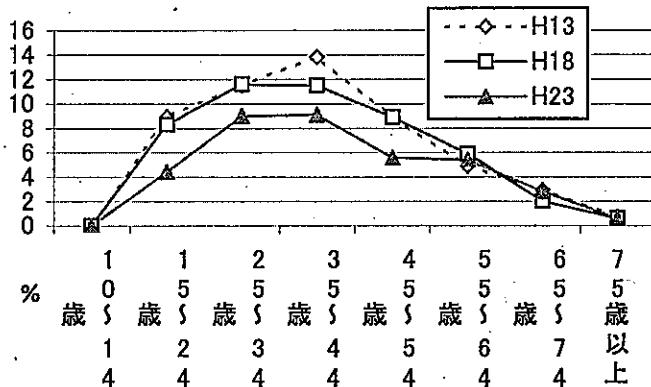
英語



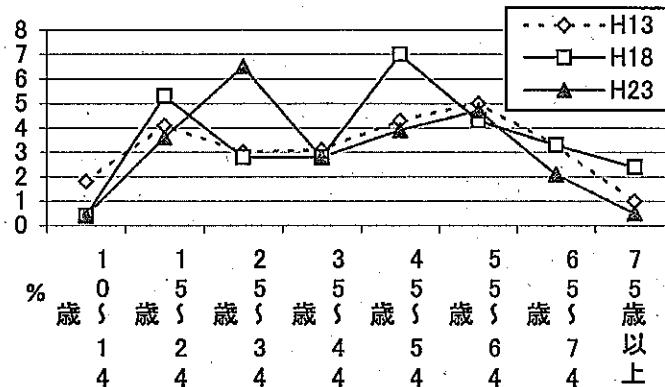
パソコンなどの情報処理



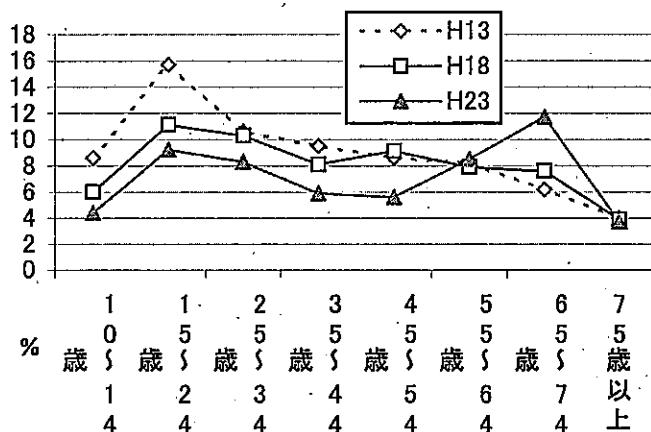
商業実務・ビジネス関係



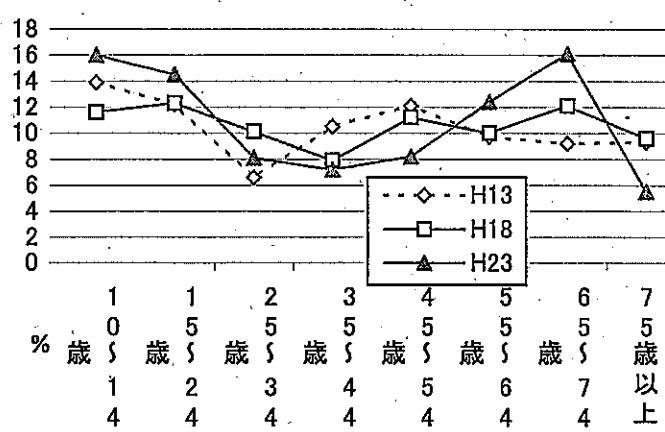
介護関係



家政・家事



芸術・文化



(2)スポーツ

「スポーツ」について、山梨県において過去1年間の行動者数は500千人で、行動者率は65.2%であり、10年前(平成13年)と比べて5.1ポイント減少、5年前(平成18年)と比べて0.3ポイント増加している。

全国においては、過去1年間の行動者数は71,843千人で、行動者率は63.0%であり、山梨県と比較すると2.2ポイント低い(統計表第1-3表、表1-6)

①平成23年行動者率の男女別・年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別、年齢階級別に比較すると、全体では、男性71.8%、女性58.9%と男性の方が12.9ポイント高く、全ての年齢階級で男性の方が高くなっている。最も差が大きいのは75歳以上の17.6ポイント、次いで15~24歳の17.0ポイントとなっている。(表1-5、図1-6)

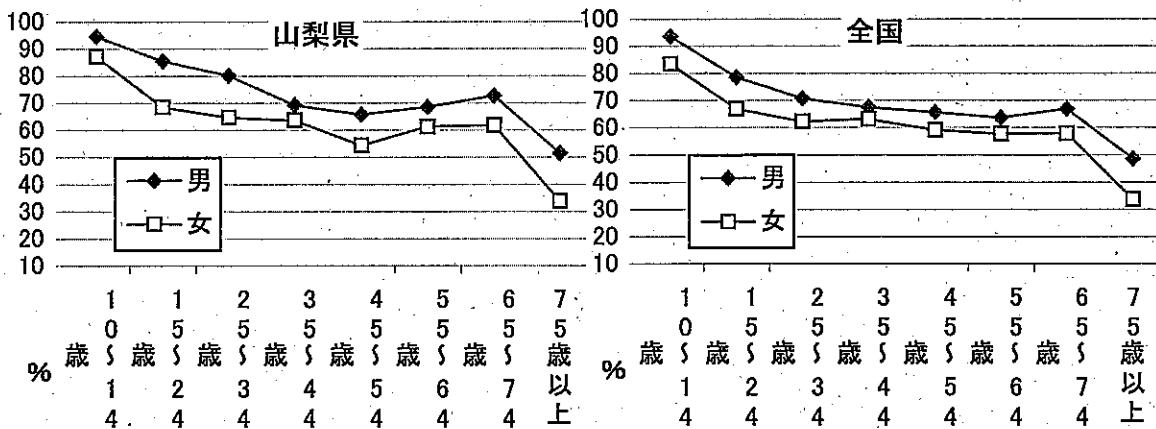
・全国の状況

行動者率を同様に比較すると、全国においても全ての年齢階級で男性の方が高くなっている。最も差が大きいのは75歳以上の14.9ポイント、次いで15~24歳の11.7ポイントとなっている。(表1-5、図1-6)

表1-5 男女、年齢階級別行動者率(平成23年) (%)

	山梨県		全国	
	男	女	男	女
10~14歳	94.5	87.2	93.6	83.5
15~24歳	85.5	68.5	78.6	66.9
25~34歳	80.1	64.7	70.8	62.2
35~44歳	69.2	63.6	67.5	63.2
45~54歳	65.7	54.3	65.7	59.1
55~64歳	68.4	61.2	63.6	57.7
65~74歳	72.6	61.7	66.8	57.8
75歳以上	51.4	33.8	48.5	33.6
総数	71.8	58.9	67.9	58.3

図1-6 男女、年齢階級別行動者率(平成23年)



②平成13年・18年・23年の行動者率の年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年は平成13年と比べて、この10年間で70.3%から65.2%と5.1ポイント減少した。また、平成18年は、平成13年と比較して45~54歳を除くほぼ全ての年齢階級で減少したが、平成23年では、平成18年と比較して45~54歳が12ポイントと大きく減少したものの、10~14歳及び35~44歳を除き全ての年齢階級で増加し、特に65~74歳では14.3ポイントと大きく増加している。(表1-6、図1-7)

・全国の状況

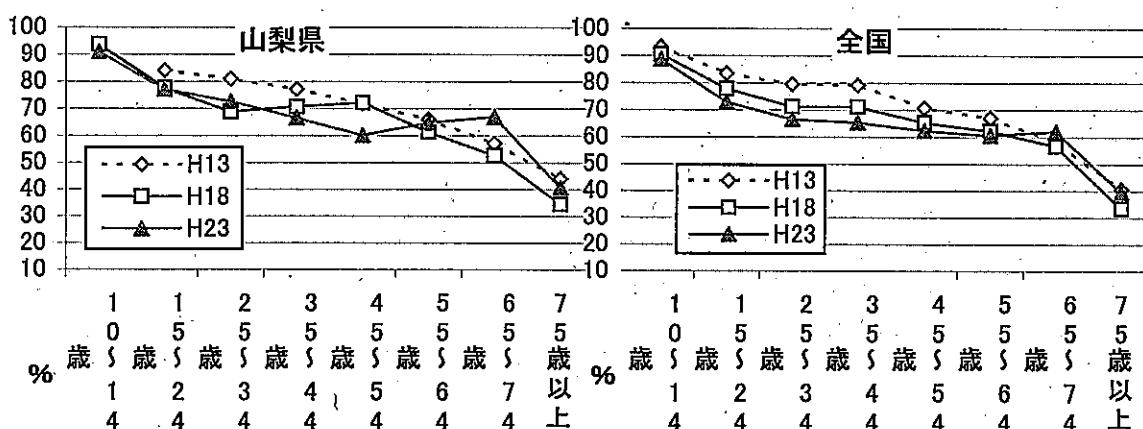
全国における行動者率を同様に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年は平成13年と比べて、この10年間で72.2%から63.0%と9.2ポイント減少した。また、平成18年は、平成13年と比較して65～74歳を除きほぼ全ての年齢階級で減少したが、平成23年では、平成18年と比較して65歳～74歳及び75歳以上を除き、他の年齢階級は減少している。(表1-6、図1-7)

表1-6 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	山梨県			全 国		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23
10～14歳	...	93.7	91.0	93.2	90.5	88.7
15～24歳	84.1	77.6	77.2	83.5	77.9	72.9
25～34歳	80.9	68.8	72.6	79.5	71.2	66.5
35～44歳	77.2	70.6	66.5	79.2	71.1	65.3
45～54歳	71.8	72.1	60.1	70.7	65.3	62.4
55～64歳	65.9	61.3	64.8	67.0	62.3	60.6
65～74歳	57.1	52.6	66.9	58.3	56.7	62.0
75歳以上	44.0	34.5	40.7	40.6	33.4	39.5
総数	70.3	64.9	65.2	72.2	65.3	63.0

※平成13年調査では、10～14歳の都道府県別データはありません。

図1-7 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)



③平成23年の行動者率の種類別・男女別比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に比較すると、男性では「ウォーキング・軽い体操」が29.9%と最も高く、以下「ボウリング」が17.0%、「ゴルフ」が16.9%、「つり」が13.0%の順になっている。

一方、女性では、「ウォーキング・軽い体操」が40.0%と最も高く、以下「ボウリング」が12.1%、「器具を使ったトレーニング」が9.3%、「水泳」が9.1%となっている。(表1-7、図1-8)

・全国の状況

行動者率を種類別、男女別に比較すると、全体では、男性67.9%、女性58.3%と男性の方が9.6ポイント高い。

男性では「ウォーキング・軽い体操」が31.1%と最も高く、以下「ボウリング」が15.1%、「ゴルフ」が13.7%、「つり」が13.2%の順になっている。

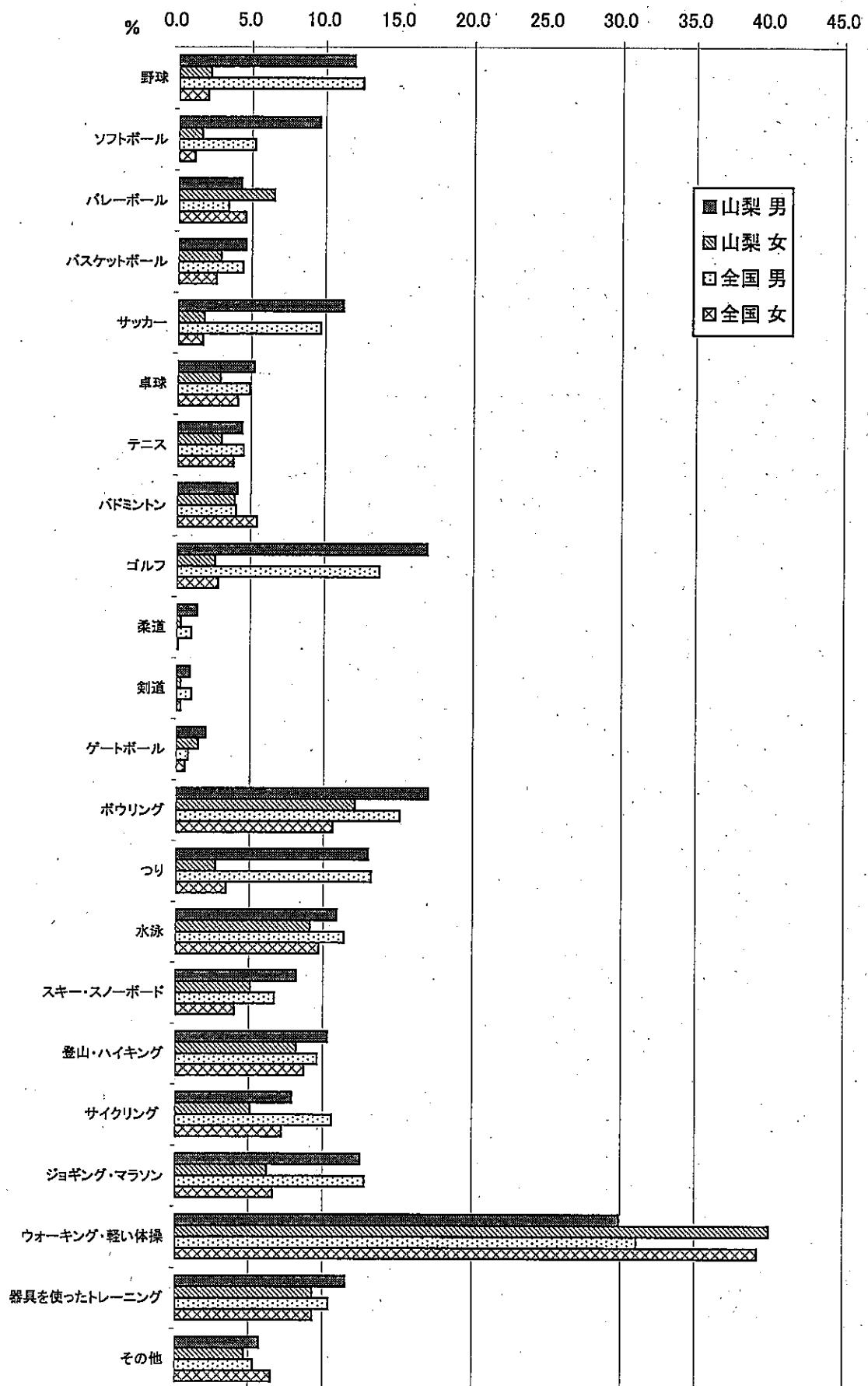
一方、女性では、「ウォーキング・軽い体操」が39.2%と最も高く、以下「ボウリング」が10.6%、「水泳」が9.7%、「器具を使ったトレーニング」が9.3%となっている。(表1-7、図1-8)

表1-7 男女、種類別行動者率(平成23年) (%)

	総数	野球	ソフトボール	バレーボール	バスケットボール	サッカー	卓球	テニス	バドミントン	ゴルフ	柔道	剣道	
山梨県	男	67.9	11.9	9.6	4.3	4.6	11.2	5.2	4.4	4.1	16.9	1.4	0.9
山梨県	女	58.3	2.2	1.6	6.5	2.9	1.8	2.9	3.0	3.9	2.6	0.3	0.3
全国	男	67.9	12.5	5.2	3.4	4.4	9.7	4.9	4.5	4.0	13.7	1.0	1.0
全国	女	58.3	2.0	1.1	4.6	2.6	1.7	4.1	3.8	5.4	2.8	0.1	0.3

	ゲートボール	ボウリング	つり	水泳	スキー・スノーボード	登山・ハイキング	サイクリング	ジョギング・マラソン	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	その他	
山梨県	男	2.0	17.0	13.0	10.9	8.2	10.3	7.9	12.5	29.0	11.5	5.7
山梨県	女	1.5	12.1	2.7	9.1	5.1	8.2	5.1	6.2	40.0	9.3	4.7
全国	男	0.8	15.1	13.2	11.4	6.7	9.6	10.6	12.8	31.1	10.4	5.3
全国	女	0.6	10.6	3.4	9.7	4.0	8.7	7.2	6.6	39.2	9.3	6.5

図1-8 男女、種類別行動者率(平成23年)



④平成13年・18年・23年の種類別の行動者率比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に平成13年調査と比較すると、平成23年は平成13年に調査していない種類を除いて全ての種類で減少した。また、平成18年の前回調査と比較すると、平成23年は「ウォーキング・軽い体操」が1.9ポイント、「柔道」が0.1ポイント、「剣道」が0.2ポイント増加したが、それ以外の種類は全て減少している。(表1-8、図1-9)

・全国の状況

行動者率を同様に平成13年調査と比較すると、平成23年は平成13年に調査していない種類を除いて全ての種類で減少した。また、平成18年の前回調査と比較すると、平成23年は「ジョギング・マラソン」が0.8ポイント、「ウォーキング・軽い体操」が0.3ポイント、「サイクリング」が0.1ポイント、「剣道」が0.1ポイント増加したが、それ以外の種類は全て減少している。(表1-8、図1-9)

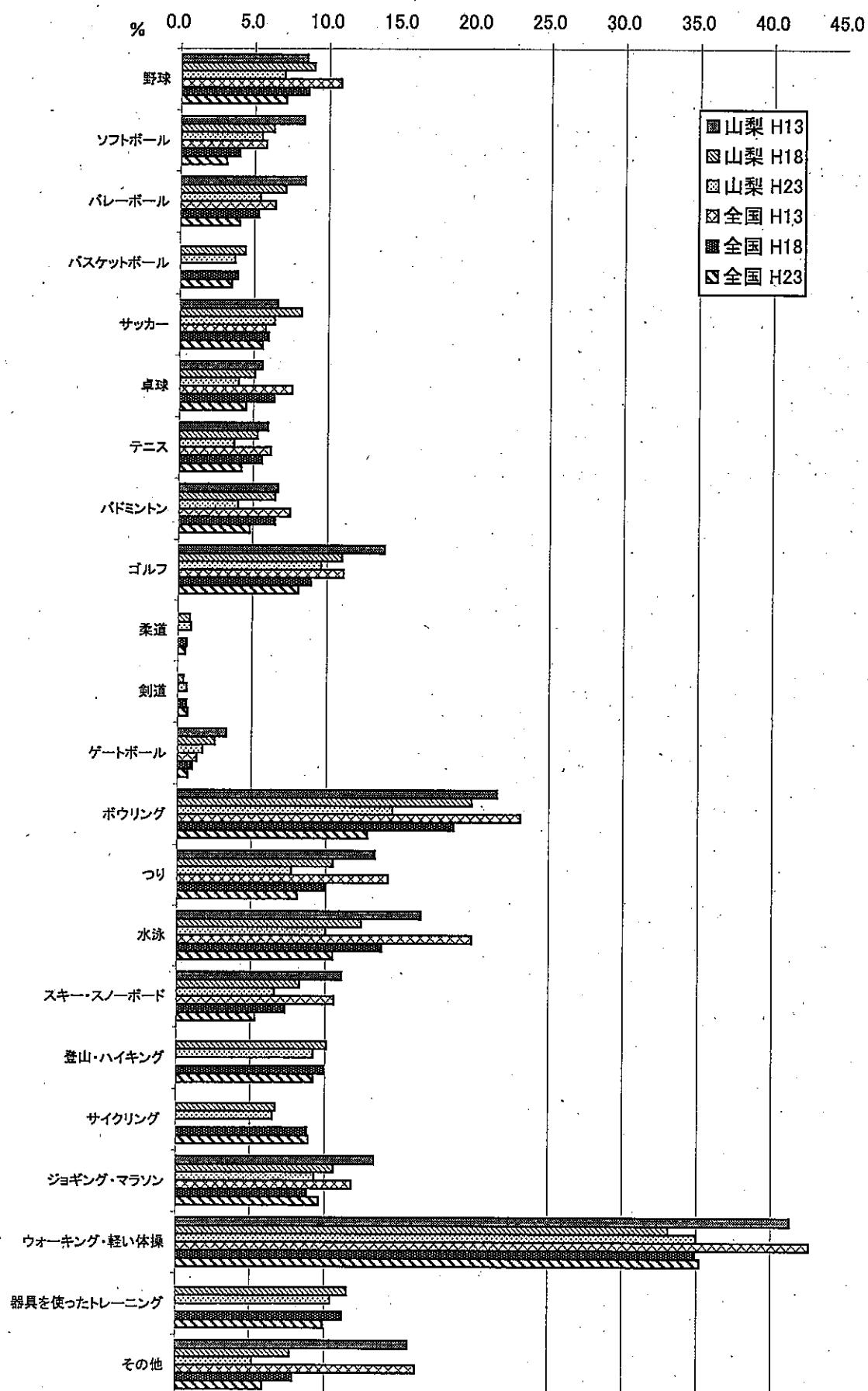
表1-8 種類別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	総数	野球	ソフトボール	バレーボール	バスケットボール	サッカー	卓球	テニス	バドミントン	ゴルフ	柔道	剣道
山 梨 県	H13	71.6	8.5	8.3	8.4	...	6.6	5.6	6.0	6.7	13.9	...
	H18	64.9	9.0	6.3	7.1	4.4	8.2	5.1	5.3	6.5	11.0	0.8
	H23	65.2	7.0	5.5	5.4	3.7	6.4	4.0	3.7	4.0	9.6	0.9
全 国	H13	72.2	10.8	5.8	6.4	...	5.8	7.6	6.2	7.5	11.1	...
	H18	65.3	8.6	4.0	5.3	3.9	6.0	6.4	5.6	6.5	8.9	0.6
	H23	63.0	7.1	3.1	4.0	3.5	5.6	4.5	4.2	4.8	8.1	0.5

	ゲートボール	ボクシング	つり	水泳	スキー・スノーボード	登山・ハイキング	サイクリング	ジョギング・マラソン	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	その他	
山 梨 県	H13	3.3	21.5	13.3	16.4	11.1	13.3	41.3	...	15.6
	H18	2.5	19.8	10.5	12.4	8.3	10.1	6.7	10.6	33.1	11.5	7.7
	H23	1.7	14.5	7.7	10.0	6.6	9.2	6.5	9.3	35.0	10.4	5.2
全 国	H13	1.3	23.1	14.2	19.8	10.6	11.8	42.6	...	16.1
	H18	1.0	18.6	10.0	13.8	7.3	9.9	8.6	8.8	44.9	11.2	7.9
	H23	0.7	12.8	8.1	10.5	5.3	9.2	8.9	9.6	35.2	9.9	5.9

※平成13年は調査していない種類がある。

図1-9 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)

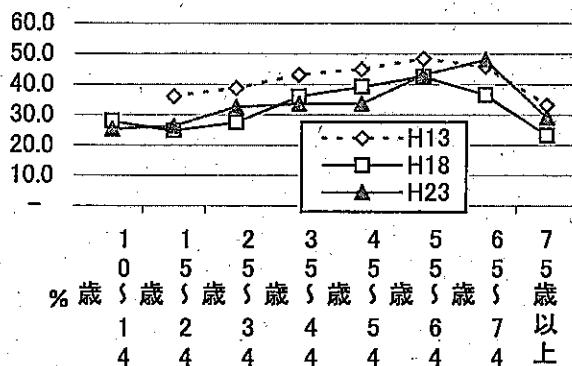


⑤平成13年・18年・23年の主な種類についての年齢階級別行動者率比較

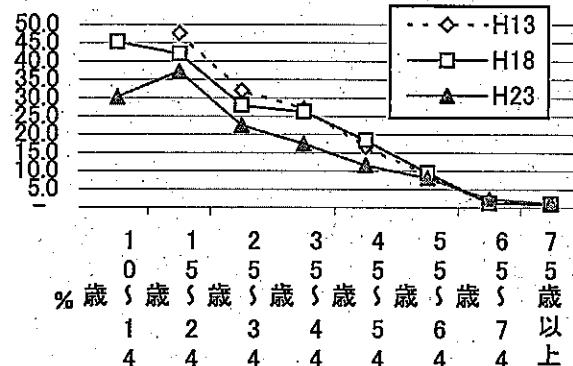
主な種類について年齢階級別に過去の調査と比較してみると、ほぼ全ての種類で減少傾向にある。中でもゴルフは35～64歳で大きく減少している。

図1-10 「スポーツ」の主な種類 年齢階級別行動者率比較(平成13年・18年・23年)

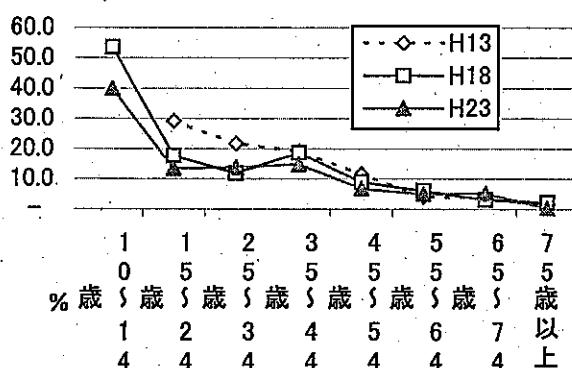
ウォーキング・軽い体操



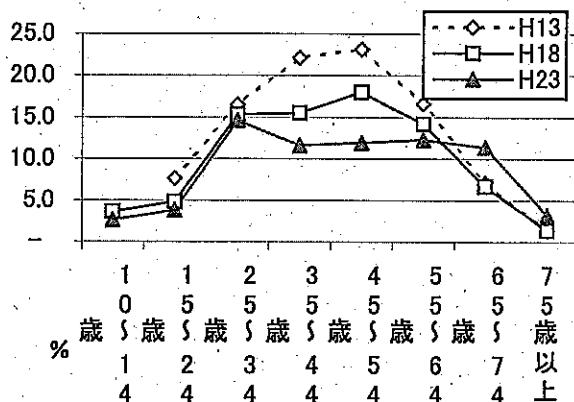
ボウリング



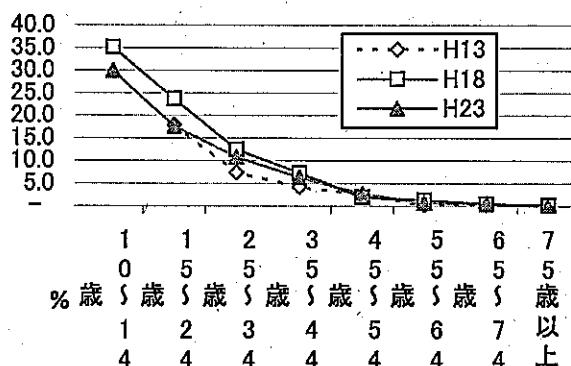
水泳



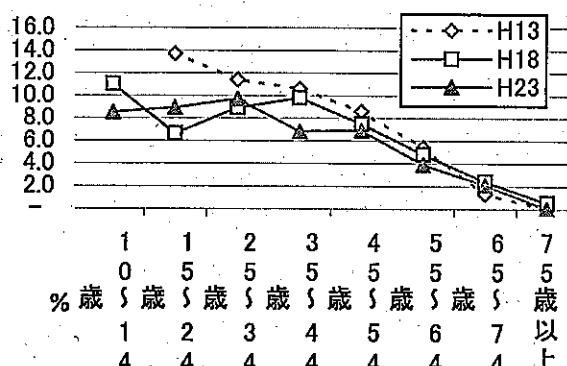
ゴルフ



サッカー



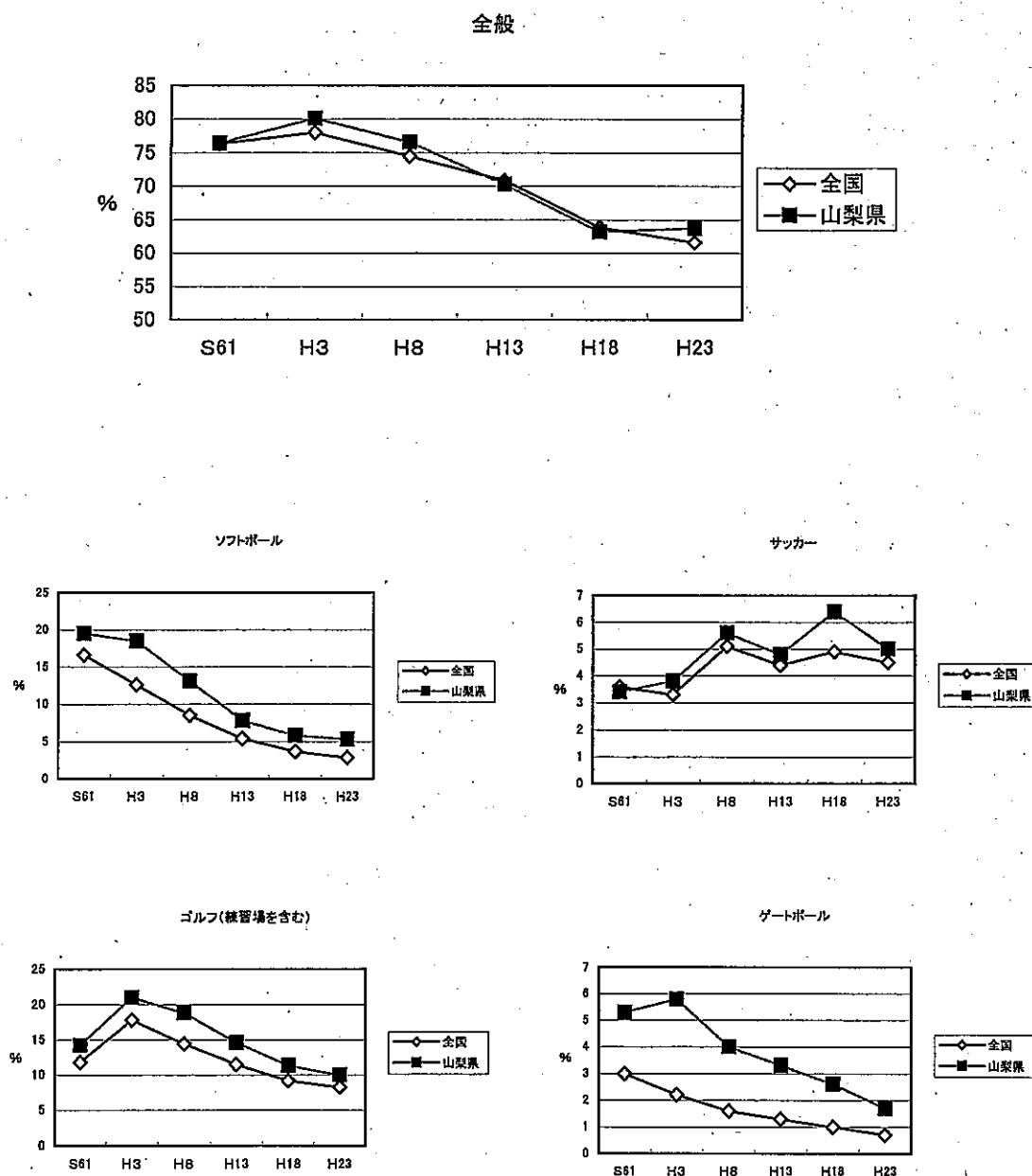
ソフトボール

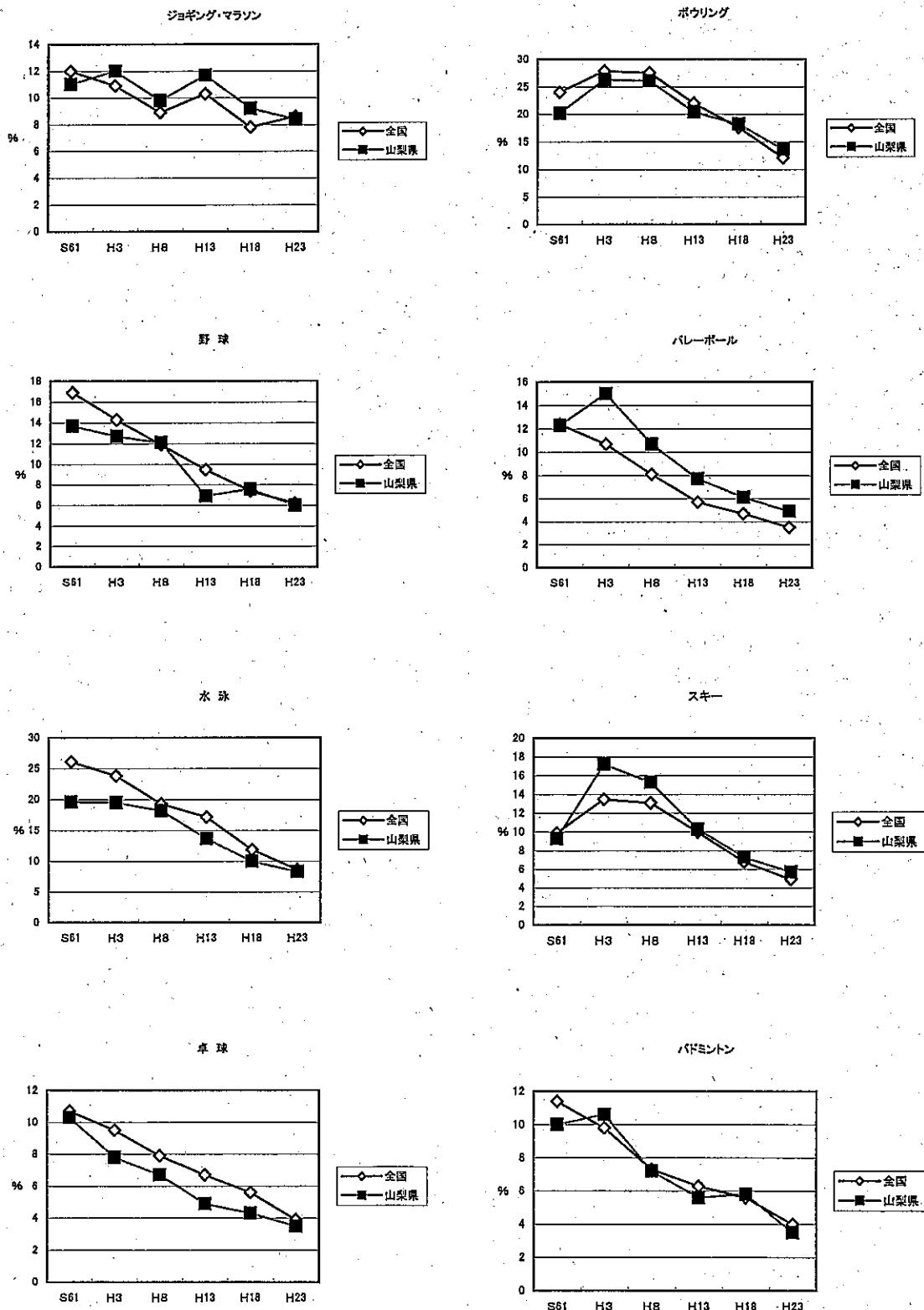


⑥過去25年間における比較可能な種類別行動者率の推移

- スポーツの行動者率を昭和61年からの調査結果からみると、スポーツ全般では平成3年に全国・本県とも最も高く、全体的に減少傾向であるが、本県は若干持ち直している。
- 種類別では、ソフトボール、ゴルフ、ゲートボールが各調査年とも全国を上回っている。また、減少傾向にある中で、サッカーは増減を繰り返してはいるものの、若干増加傾向にある。

図1-11 過去25年間における比較可能な種類別行動者率の推移





(「スポーツ」参考資料)

表1-9 山梨県 年齢階級別 上位10種目のスポーツのランキングと行動者率(平成13年・平成18年・平成23年)

1. 総数

(単位:%)

平成13年(15歳以上)			平成18年(10歳以上)			平成23年(10歳以上)		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	41.8	1	ウォーキング・軽い体操	33.1	1	ウォーキング・軽い体操	35.0
2	ボウリング	20.4	2	ボウリング	19.8	2	ボウリング	14.5
3	ゴルフ(練習場を含む)	14.6	3	水泳	12.4	3	器具を使ったトレーニング	10.4
4	その他	14.6	4	器具を使ったトレーニング	11.5	4	水泳	10.0
5	水泳	13.7	5	ゴルフ(練習場を含む)	11.0	5	ゴルフ(練習場を含む)	9.6
6	つり	12.4	6	ジョギング・マラソン	10.6	6	ジョギング・マラソン	9.3
7	ジョギング・マラソン	11.7	7	つり	10.5	7	登山・ハイキング	9.2
8	スキー・スノーボード	10.3	8	登山・ハイキング	10.1	8	つり	7.7
9	ソフトボール	7.8	9	野球(キャッチボールを含む)	9.0	9	野球(キャッチボールを含む)	7.0
10	バレー・ボーリング	7.7	10	スキー・スノーボード	8.3	10	スキー・スノーボード	6.6

2. 10歳～14歳

※平成13年調査は15歳以上が調査対象

平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	水泳	53.5	1	水泳	39.9
2	ボウリング	45.3	2	ボウリング	30.2
3	サッカー	35.1	3	サッカー(フットサルを含む)	29.9
4	ジョギング・マラソン	30.5	4	ウォーキング・軽い体操	25.3
5	野球(キャッチボールを含む)	30.1	5	ジョギング・マラソン	24.8
6	ウォーキング・軽い体操	28.0	6	野球(キャッチボールを含む)	23.7
7	スキー・スノーボード	27.2	7	スキー・スノーボード	23.3
8	バレー・ボーリング	22.9	8	バスケットボール	19.7
9	バスケットボール	20.8	9	つり	15.9
10	バドミントン	19.0	9	サイクリング	15.9

3. 15歳～24歳

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	ボウリング	47.6	1	ボウリング	42.0	1	ボウリング	37.2
2	運動としての散歩・軽い体操	36.1	2	ウォーキング・軽い体操	24.8	2	ウォーキング・軽い体操	26.3
3	水泳	29.2	3	サッカー	23.7	3	サッカー(フットサルを含む)	17.6
4	スキー・スノーボード	25.9	4	ジョギング・マラソン	23.4	4	野球(キャッチボールを含む)	17.5
5	その他	25.7	5	器具を使ったトレーニング	22.0	5	ジョギング・マラソン	17.1
6	ジョギング・マラソン	24.8	6	水泳	17.7	6	器具を使ったトレーニング	15.1
7	バレー・ボーリング	18.1	7	野球(キャッチボールを含む)	17.0	7	水泳	13.4
8	サッカー	17.9	8	バレー・ボーリング	16.6	8	バスケットボール	13.1
9	野球(キャッチボールを含む)	17.0	9	バスケットボール	16.4	9	バレー・ボーリング	11.6
10	テニス	16.7	10	スキー・スノーボード	15.7	10	スキー・スノーボード	10.7

4. 25歳～34歳

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	38.7	1	ウォーキング	28.0	1	ウォーキング・軽い体操	32.6
2	ボウリング	32.0	2	ウォーキング・軽い体操	27.4	2	ボウリング	22.5
3	スキー・スノーボード	22.0	3	器具を使ったトレーニング	15.5	3	器具を使ったトレーニング	14.8
4	水泳	21.7	4	ゴルフ(練習場を含む)	15.3	4	ゴルフ(練習場を含む)	14.6
5	つり	20.2	5	つり	15.1	5	水泳	13.7
6	その他	19.1	6	スキー・スノーボード	14.1	6	スキー・スノーボード	13.5
7	ゴルフ(練習場を含む)	16.5	7	サッカー	12.4	7	ジョギング・マラソン	11.7
8	ジョギング・マラソン	12.1	8	水泳	11.8	8	サッカー(フットサルを含む)	10.8
9	ソフトボール	11.4	9	野球(キャッチボールを含む)	11.5	9	つり	10.3
10	野球(キャッチボールを含む)	10.1	10	ジョギング・マラソン	10.6	9	登山・ハイキング	10.3

5. 35歳～44歳

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	43.1	1	ウォーキング・軽い体操	36.0	1	ウォーキング・軽い体操	33.6
2	ボウリング	27.1	2	ボウリング	26.2	2	ボウリング	17.5
3	ゴルフ(練習場を含む)	22.1	3	水泳	18.6	3	水泳	14.8
4	水泳	19.2	4	つり	15.6	4	つり	14.0
5	その他	16.2	5	ゴルフ(練習場を含む)	15.5	5	ゴルフ(練習場を含む)	11.6
6	つり	15.7	6	器具を使ったトレーニング	14.3	6	器具を使ったトレーニング	10.6
7	ジョギング・マラソン	13.5	7	野球(キャッチボールを含む)	14.2	7	サイクリング	10.0
8	バレーボール	13.0	8	サイクリング	12.7	8	野球(キャッチボールを含む)	9.9
9	スキー・スノーボード	11.7	9	スキー・スノーボード	12.1	9	スキー・スノーボード	9.5
10	野球(キャッチボールを含む)	11.5	10	ジョギング・マラソン	12.0	9	登山・ハイキング	9.5

6. 45歳～54歳

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	44.9	1	ウォーキング・軽い体操	39.1	1	ウォーキング・軽い体操	33.6
2	ゴルフ(練習場を含む)	23.1	2	ボウリング	18.4	2	器具を使ったトレーニング	12.6
3	ボウリング	16.7	3	ゴルフ(練習場を含む)	18.0	3	ゴルフ(練習場を含む)	11.9
4	つり	13.8	4	登山・ハイキング	15.6	4	ボウリング	11.5
5	その他	13.1	5	器具を使ったトレーニング	12.7	5	登山・ハイキング	9.9
6	水泳	11.5	6	つり	9.9	6	ジョギング・マラソン	8.3
7	ジョギング・マラソン	10.6	7	ジョギング・マラソン	9.0	7	サイクリング	7.2
8	ソフトボール	8.6	8	水泳	8.9	8	バレーボール	7.2
9	バレーボール	6.7	9	バレーボール	7.8	9	ソフトボール	6.9
10	スキー・スノーボード	6.0	10	ソフトボール	7.5	10	水泳	6.8

7. 55歳～64歳

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	48.4	1	ウォーキング・軽い体操	42.6	1	ウォーキング・軽い体操	43.1
2	ゴルフ(練習場を含む)	16.6	2	ゴルフ(練習場を含む)	14.2	2	登山・ハイキング	15.0
3	その他	10.6	3	登山・ハイキング	13.8	3	ゴルフ(練習場を含む)	12.3
4	ジョギング・マラソン	10.5	4	ボウリング	9.5	4	器具を使ったトレーニング	11.8
5	つり	9.3	5	つり	8.9	5	ボウリング	8.1
6	ボウリング	8.9	6	器具を使ったトレーニング	8.3	6	ジョギング・マラソン	6.8
7	ソフトボール	5.4	7	その他	6.9	7	水泳	5.0
8	水泳	4.2	8	水泳	6.1	7	その他	5.0
9	バレーボール	2.9	9	ジョギング・マラソン	5.1	9	つり	4.9
10	ゲートボール	2.8	10	ソフトボール	4.8	10	ソフトボール	3.9

8. 65歳～74歳

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	45.9	1	ウォーキング・軽い体操	36.6	1	ウォーキング・軽い体操	48.0
2	その他	8.5	2	登山・ハイキング	8.8	2	ゴルフ(練習場を含む)	11.4
3	ゲートボール	8.3	3	つり	7.1	3	登山・ハイキング	8.3
4	ゴルフ(練習場を含む)	7.1	4	ゴルフ(練習場を含む)	6.7	4	その他	7.4
5	つり	5.7	5	その他	6.2	5	器具を使ったトレーニング	7.2
6	ジョギング・マラソン	5.1	6	器具を使ったトレーニング	4.8	6	ジョギング・マラソン	5.7
7	水泳	3.5	7	ジョギング・マラソン	4.4	7	水泳	5.1
8	ボウリング	1.3	8	ゲートボール	4.1	7	つり	5.1
8	ソフトボール	1.3	9	水泳	3.1	9	ゲートボール	4.4
10	テニス	1.2	10	野球(キャッチボールを含む)	2.6	10	サイクリング	3.2

9. 75歳以上

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率	順位	種目	行動者率
1	運動としての散歩・軽い体操	33.2	1	ウォーキング・軽い体操	23.2	1	ウォーキング・軽い体操	29.2
2	ゲートボール	12.5	2	ゲートボール	10.1	2	その他	4.8
3	その他	4.9	3	その他	4.9	3	ゲートボール	4.7
4	つり	3.7	4	つり	2.4	4	ゴルフ(練習場を含む)	3.2
5	ジョギング・マラソン	2.3	5	登山・ハイキング	2.3	5	登山・ハイキング	2.5
6	ゴルフ(練習場を含む)	1.4	6	器具を使ったトレーニング	2.2	6	ジョギング・マラソン	1.9
7	水泳	1.1	7	水泳	2.1	7	器具を使ったトレーニング	1.4
7	ボウリング	1.1	8	ゴルフ(練習場を含む)	1.4	7	つり	1.4
9	卓球	0.4	9	ジョギング・マラソン	1.3	9	ボウリング	1.1
10	野球(キャッチボールを含む)	0.3	10	ボウリング	1.0	10	サイクリング	0.9

(3) 趣味・娯楽

「趣味・娯楽」について、山梨県において過去1年間の行動者数は648千人で、行動者率は84.5%であり、10年前(平成13年)比べて0.3ポイント減少、5年前(平成18年)と比べて1.1ポイント増加している。

全国においては、過去1年間の行動者数は96,770千人で、行動者率は84.8%であり、山梨県と比較すると0.3ポイント高い。(統計表第1-5表、表1-11)

① 平成23年行動者率の男女別・年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別に見ると、全体では男性84.9%、女性84.2%と男性の方が0.7ポイント高くなっている。また、年齢階級別に比較すると、男女とも64歳までは80%を超える高い行動者率を保っている。最も差が大きいのは、女性の65~74歳(79.9%)から75歳以上(56.0%)の23.9ポイントの差となり、男性における同階級別の差の11.5ポイントの差と比べ大きくなっている。(表1-9、図1-12)

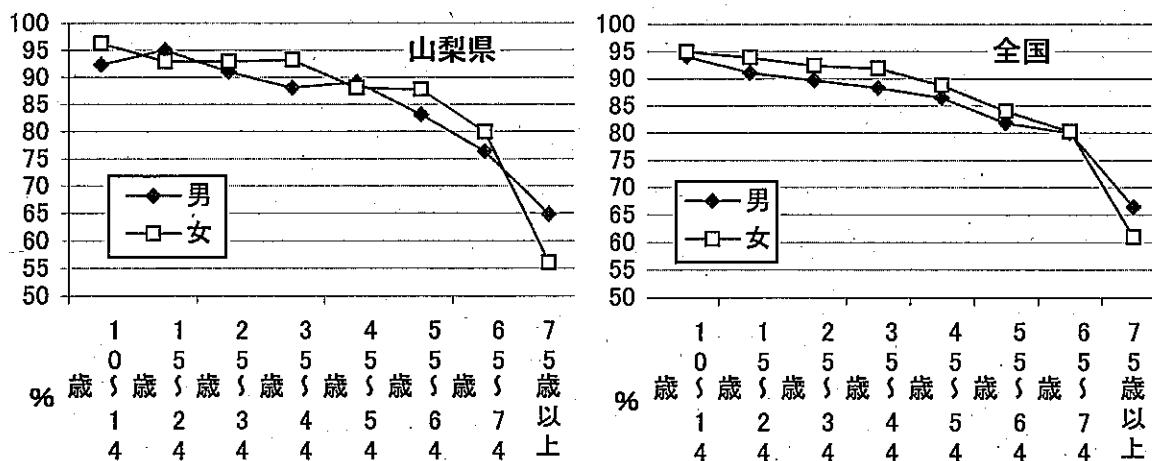
・全国の状況

行動者率を同様に比較すると、全体では男性84.8%、女性84.9%と女性の方が0.1ポイント高くなっている。また、男女とも74歳までは80%を超える高い行動者率を保っている。最も差が大きいのは、女性の65~74歳(80.2%)から75歳以上(60.9%)の19.3ポイントの差となり、本県と同様に男性における同階級別の差の13.6ポイントと比べ大きくなっている。(表1-9、図1-12)

表1-10 男女、年齢階級別行動者率(平成23年) (%)

	山梨県		全 国	
	男	女	男	女
10~14歳	92.3	96.2	94.1	94.9
15~24歳	95.0	92.9	91.1	93.9
25~34歳	91.0	92.9	89.7	92.4
35~44歳	88.1	93.2	88.3	91.9
45~54歳	89.1	88.1	86.5	88.8
55~64歳	83.1	87.8	81.8	84.0
65~74歳	76.3	79.9	80.0	80.2
75歳以上	64.8	56.0	66.4	60.9
総数	84.9	84.2	84.8	84.9

図1-12 男女、年齢階級別行動者率(平成23年)



②平成13年・18年・23年の行動者率の年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年は平成13年と比べて、この10年間で84.8%から84.5%と0.3ポイント減少した。また、平成18年、平成23年と、大きな変化はなく、ほぼ同じ動きとなっている。(表1-10、図1-13)

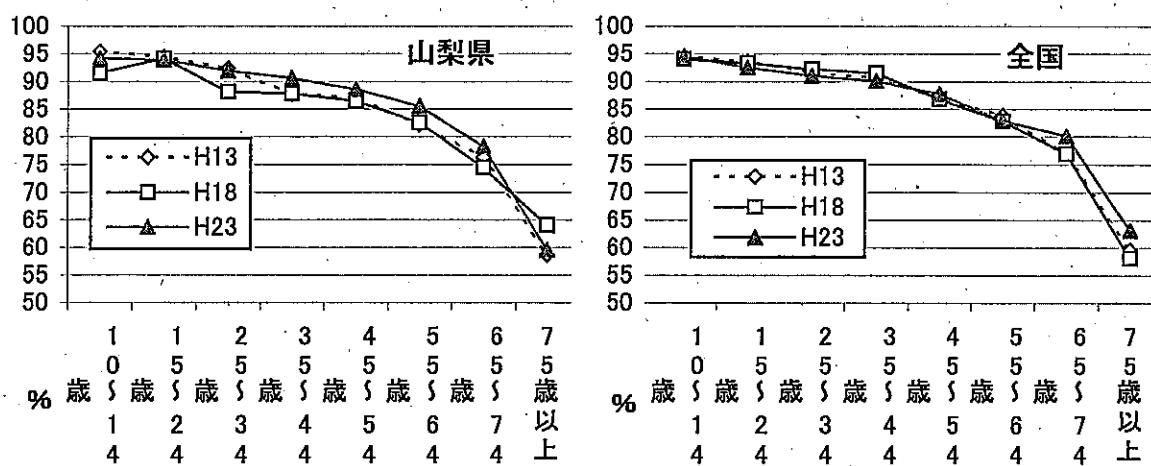
・全国の状況

行動者率を同様に比較すると、全体では平成23年は平成13年と比べて、この10年間で85.9%から84.8%と1.1ポイント減少した。また、全国の動きも平成18年、平成23年と、大きな変化はなく、ほぼ同じ動きとなっている。(表1-10、図1-13)

表1-11 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	山梨県			全 国		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23
10~14歳	95.4	91.5	94.2	94.4	94.0	94.5
15~24歳	94.4	94.1	93.9	93.6	93.3	92.5
25~34歳	92.3	88.1	91.9	91.6	92.2	91.0
35~44歳	87.7	87.8	90.6	90.7	91.5	90.1
45~54歳	87.1	86.5	88.6	86.9	86.8	87.7
55~64歳	82.1	82.5	85.5	83.8	82.8	82.9
65~74歳	76.3	74.4	78.2	76.9	76.9	80.1
75歳以上	58.6	64.0	59.5	59.6	58.1	63.1
総数	84.8	83.4	84.5	85.9	84.9	84.8

図1-13 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)



③平成23年の行動者率の種類別・男女別比較

・山梨県の状況

男性では「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」が42.6%と最も高く、以下「DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビ録画除)」が40.9%、「テレビゲーム・パソコンゲーム(家庭で行うもの、携帯用を含)」が35.3%の順になっている。

一方、女性では、「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」が46.4%と最も高く、以下「趣味としての読書」が39.2%、「DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビ録画除)」が38.7%となっている。(表1-11、図1-14)

・全国の状況

男性では「CDなどによる音楽鑑賞」が45.3%と最も高く、次に「DVDなどによる映画鑑賞」が40.6%、「テレビゲーム・パソコンゲーム」が38.3%の順になっている。

一方、女性では、「CDなどによる音楽鑑賞」が49.5%と最も高く、次に「趣味としての読書」が44.4%、「DVDなどによる映画鑑賞」が40.4%となっている。(表1-11、図1-14)

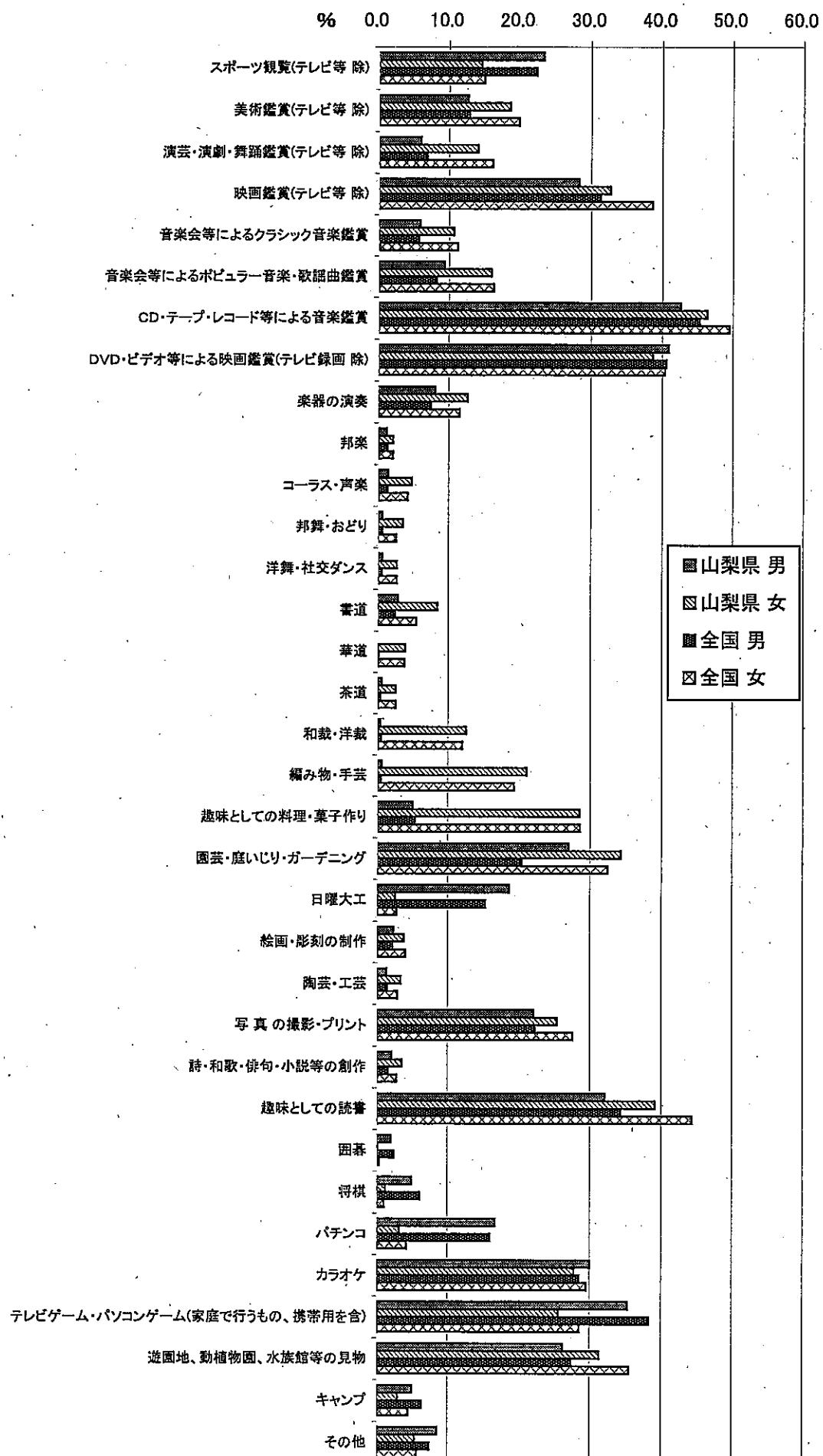
表1-12 男女、種類別行動者率(平成23年) (%)

	総数	スポーツ観覧 (テレビ等除)	美術鑑賞 (テレビ等除)	演芸・演劇 ・舞踊鑑賞 (テレビ等除)	映画鑑賞 (テレビ等除)	音楽会等によるクラシック音 楽鑑賞	音楽会等によるポピュラー 音楽・歌謡曲 鑑賞	CD・テープ・ レコード等による音楽鑑賞	DVD・ビデオ 等による映画 鑑賞(テレビ 録画除)	楽器の演奏	邦楽	コーラス・声 楽
山 梨 県	男 84.9	23.3	12.7	6.0	28.3	5.9	9.4	42.6	40.9	8.1	1.2	1.4
	女 84.2	14.6	18.6	14.1	32.7	10.7	16.0	46.4	38.7	12.7	2.1	4.8
全 国	男 84.8	22.3	12.9	6.9	31.3	5.7	8.3	45.3	40.6	7.5	1.3	1.3
	女 84.9	15.0	19.9	16.2	38.6	11.3	16.3	49.5	40.4	11.6	2.1	4.2

	邦舞・おどり	洋舞・社交ダンス	書道	華道	茶道	和裁・洋裁	編み物・手芸	趣味としての 料理・菓子作り	園芸・庭いじ り・ガーデニ ング	日曜大工	絵画・彫刻の 制作	陶芸・工芸
山 梨 県	男 0.6	0.6	2.9	--	0.6	0.4	0.6	5.0	27.0	18.6	2.3	1.3
	女 3.6	2.7	8.5	3.9	2.6	12.6	21.1	28.5	34.3	2.6	3.8	3.4
全 国	男 0.6	0.6	2.5	0.1	0.4	0.5	0.5	5.3	20.4	15.3	2.2	1.4
	女 2.6	2.7	5.5	3.8	2.6	12.1	19.3	28.6	32.5	2.8	4.0	2.9

	写真の撮影・プリント	詩・和歌・俳句・小説等の創作	趣味としての 読書	囲碁	将棋	バトーン	カラオケ	テレビゲーム・パ ソコンゲーム(家 庭で行うもの、携 帯用を含)	遊園地、動物 園、水族館等の見 物	キャンプ	その他
山 梨 県	男 22.1	2.1	32.1	2.0	4.9	16.7	30.0	35.3	26.2	5.0	8.6
	女 25.4	3.6	39.2	0.1	1.2	3.2	27.8	25.6	31.3	3.0	5.4
全 国	男 22.3	1.6	34.4	2.4	6.1	16.0	28.5	38.3	27.4	6.4	7.5
	女 27.6	2.8	44.4	0.3	1.0	4.2	29.5	28.5	35.5	4.5	5.7

図1-14 男女、種類別行動者率(平成23年)



④平成13年・18年・23年の行動者率の種類別比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に平成13年と比較すると、平成23年は「テレビゲーム・パソコンゲーム」や「スポーツ観覧」及び平成13年調査をしていない種類を除いて、全ての種類で減少した。

また、平成18年の前回調査と比較すると平成23年において1ポイント以上増加したのは「音楽会等によるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞」(1.3)、「編み物・手芸」(1.0)、の2種類。逆に1ポイント以上低下したのは「遊園地、動植物園、水族館等の見物」(-3.9)、「演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビ等除)」(-2.6)、「パチンコ」(-2.0)、「DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビ録画除)」(-2.0)など10種類となつた。(表1-12、図1-15)

・全国の状況

行動者率を同様に比較すると、平成23年は「テレビゲーム・パソコンゲーム」や「邦楽」及び平成13年調査をしていない種類を除いて、全ての種類で減少した。

また、平成18年の前回調査と比較すると平成23年において1ポイント以上増加した種類は無く、逆に1ポイント以上低下したのは「DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビ録画除)」(-5.4)、「CDテープ・レコード等による音楽鑑賞」(-4.9)など14種類となつた。(表1-12、図1-15)

表1-13 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)

(%)

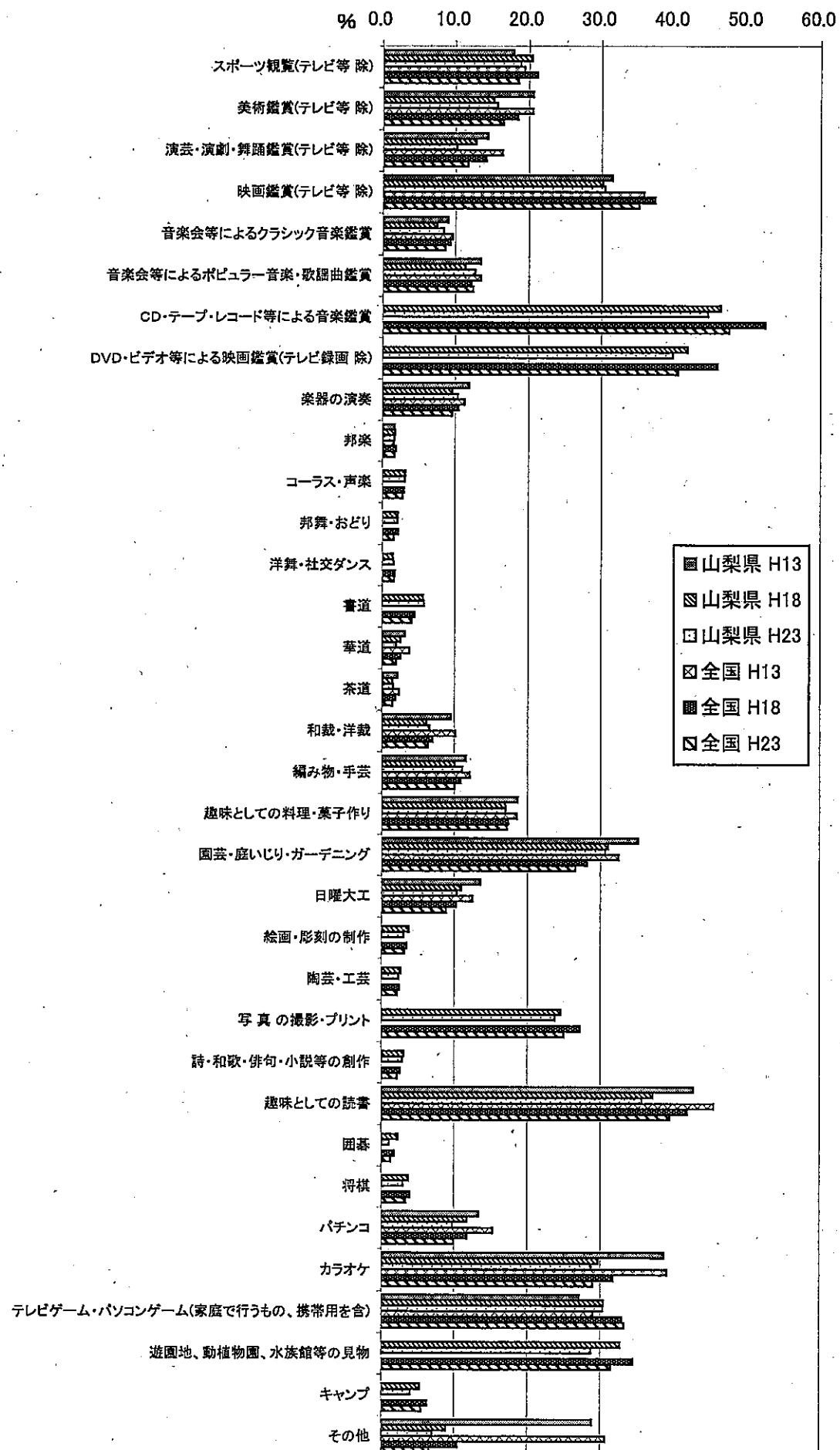
	総数	スポーツ観覧 (テレビ等除)	美術鑑賞 (テレビ等除)	演芸・演劇・ 舞踊鑑賞 (テレビ等除)	映画鑑賞 (テレビ等除)	音楽会等によ るクラシック音 楽鑑賞	音楽会等によ るポピュラー 音楽・歌謡曲 鑑賞	CD・テープ・ レコード等によ る音楽鑑賞	DVD・ビデオ 等による映画 鑑賞(テレビ 録画除)	楽器の演奏	邦楽	コーラス・声 楽
山 梨 県	H13	84.8	17.9	20.6	14.4	31.5	9.0	13.5	11.9	1.7
	H18	83.4	20.4	15.2	12.8	30.2	7.5	11.4	46.3	41.8	9.6	1.8
	H23	84.5	18.9	15.7	10.2	30.5	8.4	12.7	44.6	39.8	10.4	1.7
全 国	H13	85.9	19.4	20.5	16.4	35.8	9.6	13.5	11.3	1.6
	H18	84.9	21.1	18.5	14.2	37.3	9.3	12.2	52.4	45.9	10.5	1.9
	H23	84.8	18.6	16.5	11.7	35.1	8.6	12.4	47.9	40.5	9.6	1.7

	邦舞・おどり	洋舞・社交ダンス	書道	華道	茶道	和裁・洋裁	編み物・手芸	趣味としての 料理・菓子作り	園芸・庭いじり・ガーデニング	日曜大工	絵画・彫刻の 制作	陶芸・工芸
山 梨 県	H13	3.2	2.2	9.5	11.6	18.7	35.2	13.6	...
	H18	2.2	1.5	5.7	2.6	1.5	6.2	10.1	17.0	31.1	11.0	3.8
	H23	2.1	1.6	5.8	2.0	1.6	6.6	11.1	17.0	30.7	10.4	3.1
全 国	H13	3.8	2.4	10.2	12.1	18.6	32.5	12.5	...
	H18	2.2	1.8	4.5	2.6	1.9	7.0	10.9	17.4	28.2	10.3	3.5
	H23	1.6	1.7	4.1	2.0	1.5	6.4	10.1	17.2	26.6	8.9	3.2

	写真の撮影・プリント	詩・和歌・俳句・小説等の创作	趣味としての 読書	囲碁	将棋	パチンコ	カラオケ	テレビゲーム・パ ソコンゲーム(家庭 で行うもの、携 帯用を含)	遊園地、動植物 園、水族館等の見物	キャンプ	その他
山 梨 県	H13	42.7	13.4	38.7	27.2
	H18	24.6	3.1	37.2	2.3	3.7	11.8	29.7	30.5	32.7	5.3
	H23	23.8	2.9	35.7	1.1	3.0	9.8	28.8	30.4	28.3	4.0
全 国	H13	45.5	15.3	39.1	29.1
	H18	27.3	2.6	41.9	1.8	3.9	11.8	31.8	33.0	34.5	6.3
	H23	25.0	2.2	39.5	1.3	3.4	10.0	29.0	33.3	31.5	5.5

※平成13年は調査していない種類がある。

図1-15 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)

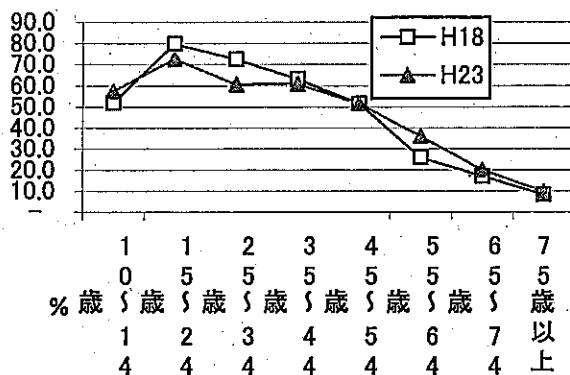


⑤平成13年・18年・23年の主な種類についての年齢階級別行動者率比較

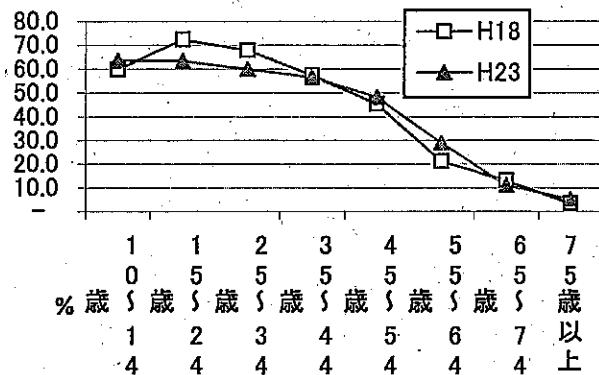
主な種類について年齢階級別に平成13年調査から比較してみると、平成23年は「CD等による音楽鑑賞」「DVD等による映画鑑賞(テレビ録画除)」が若年層で減少している。

図1-16 「趣味・娯楽」の主な種類 年齢階級別行動者率比較(平成13年・18年・23年)

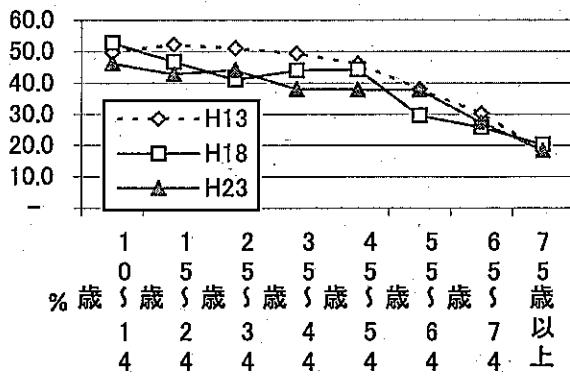
CD等による音楽鑑賞



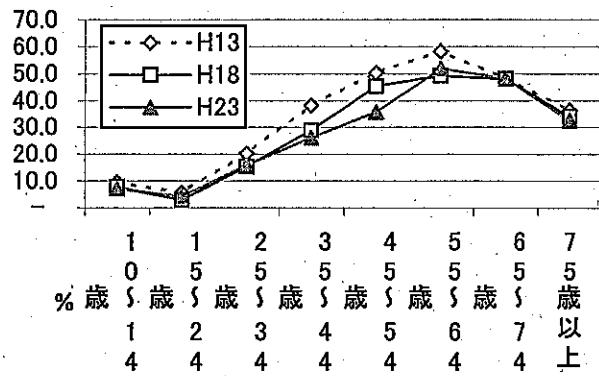
DVD等による映画鑑賞(テレビ録画除)



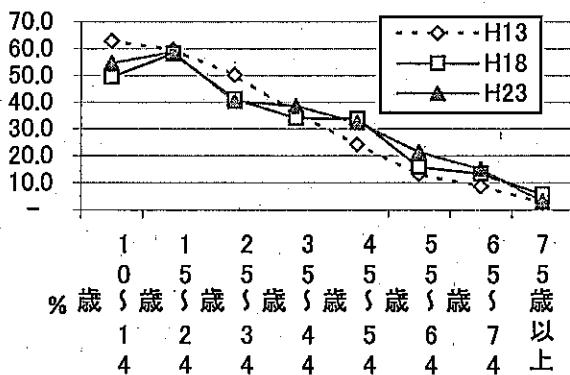
趣味としての読書



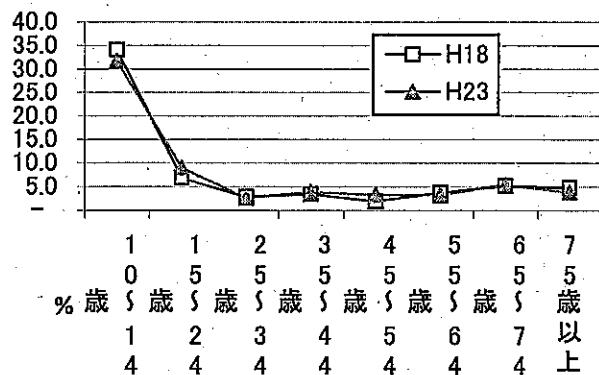
園芸・庭いじり・ガーデニング



映画鑑賞(テレビ等除)



書道



※平成13年は調査していない種類がある。

(4)ボランティア活動

「ボランティア活動」について、山梨県において過去1年間の行動者数は239千人で、行動者率は31.2%であり、10年前(平成13年)と比べて8.4ポイント減少、5年前(平成18年)と比べて1.0ポイント増加している。

全国においては、過去1年間の行動者数は29,951千人で、行動者率は26.3%であり、山梨県と比較すると4.9ポイント低い(統計表第1-7表、表1-15)

①平成23年行動者率の男女別・年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別に比較すると、全体では男性31.9%、女性30.4%と男性の方が1.5ポイント高くなっている。また、年齢階級別に比較すると、山梨県で最も行動者率が高いのは45~54歳男性で41.8%、続いて35~44歳女性で38.0%となっている。45歳以上になると男性の方が行動者率が高くなっている。(表1-14、図1-17)

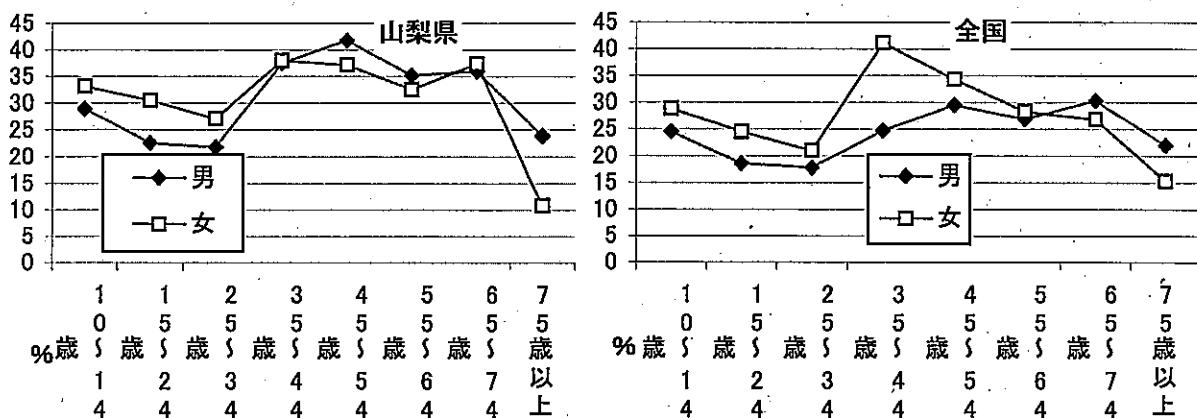
・全国の状況

行動者率を男女別に比較すると、全体では男性24.5%、女性27.9%と女性の方が3.4ポイント高くなっている。また、年齢階級別に比較すると、全国で最も行動者率が高いのは35~44歳女性で41.1%、続いて45~54歳女性で34.3%となり、65歳以上になると男性の方が行動者率が高くなっている。(表1-14、図1-17)

表1-14 男女、年齢階級別行動者率(平成23年) (%)

	山梨県		全国	
	男	女	男	女
10~14歳	28.9	33.1	24.5	28.8
15~24歳	22.6	30.5	18.6	24.5
25~34歳	21.8	27.1	17.8	21.0
35~44歳	37.5	38.0	24.7	41.1
45~54歳	41.8	37.2	29.5	34.3
55~64歳	35.2	32.5	26.9	28.3
65~74歳	35.9	37.3	30.3	26.8
75歳以上	23.9	10.8	22.0	15.3
総 数	31.9	30.4	24.5	27.9

図1-17 男女、年齢階級別行動者率(平成23年)



②平成13年・18年・23年の行動者率の年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年と平成13年を比較するとこの10年間で39.6%から31.2%と8.4ポイント減少しており、全ての年齢階級で減少している。また、平成18年と平成23年を比較すると全体では30.2%から31.2%と1.0ポイント増加しており、年齢階級でも15~54歳までの階級と65~74歳で増加している。(表1-15、図1-18)

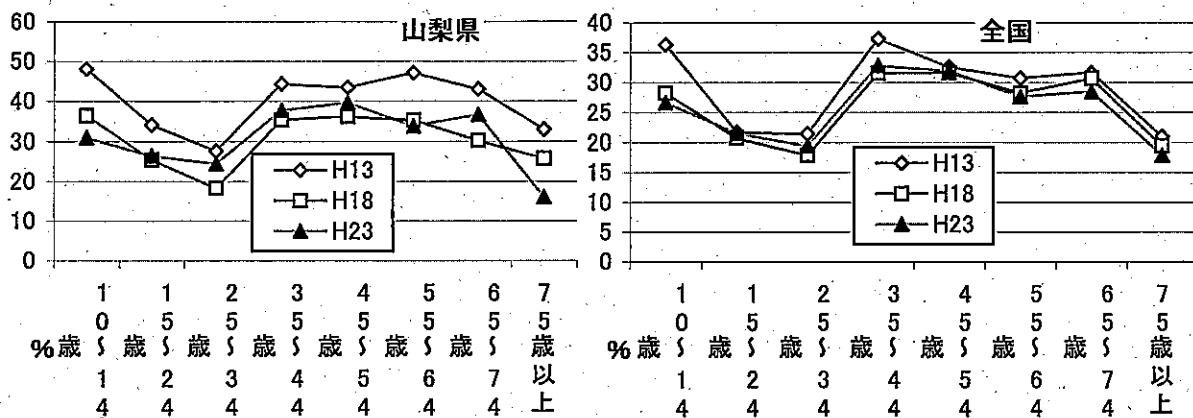
・全国の状況

行動者率を同様に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年と平成13年を比較するところの10年間で28.9%から26.3%と2.6ポイント減少しており、全国でも全ての年齢階級で減少している。また、平成18年と平成23年を比較すると、15~54歳までの階級では増加している。(表1-15、図1-18)

表1-15 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	山梨県			全 国		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23
10~14歳	48.1	36.4	30.9	36.3	28.2	26.6
15~24歳	34.1	25.4	26.4	21.7	20.7	21.5
25~34歳	27.6	18.3	24.4	21.4	17.9	19.4
35~44歳	44.3	35.3	37.7	37.3	31.5	32.8
45~54歳	43.4	36.1	39.6	32.6	31.6	31.9
55~64歳	47.1	35.2	33.8	30.7	28.2	27.6
65~74歳	43.0	30.2	36.6	31.6	30.6	28.4
75歳以上	33.0	25.7	16.0	21.0	19.4	17.9
総 数	39.6	30.2	31.2	28.9	26.2	26.3

図1-18 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)



③平成23年の行動者率の種類別・男女別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別・種類別に比較すると、男性では「まちづくりのための活動」が16.6%と最も高く、次に「安全な生活のための活動」が9.3%、以下「子供を対象とした活動」8.9%の順となっている。

一方、女性も、「まちづくりのための活動」が10.2%と最も高く、ついで「子供を対象とした活動」が9.5%、以下「高齢者を対象とした活動」が7.4%の順となっている。(表1-16、図1-19)

・全国の状況

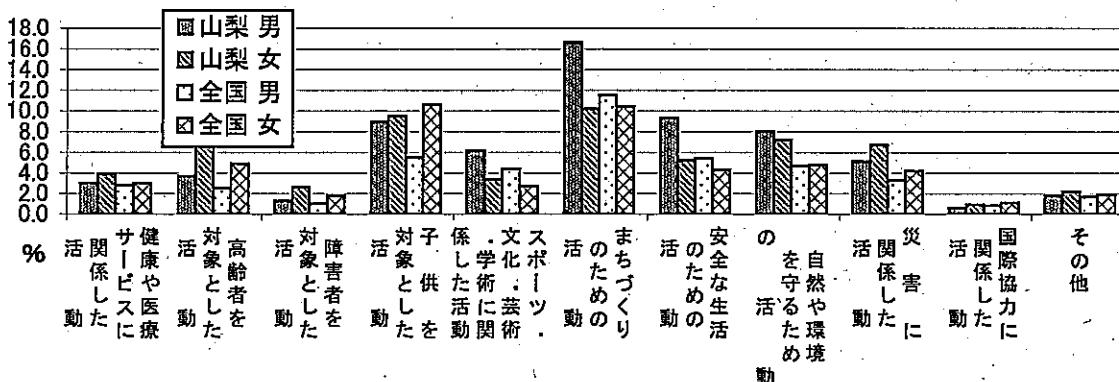
行動者率を男女別・種類別に比較すると、男性では「まちづくりのための活動」が11.5%と最も高く、次に「子供を対象とした活動」が5.5%、以下「安全な生活のための活動」が5.4%、「自然や環境を守るための活動」4.7%の順になっている。

一方、女性は、「子供を対象とした活動」が10.6%と最も高く、ついで「まちづくりのための活動」が10.4%、以下「高齢者を対象とした活動」が4.9%の順となっている。(表1-16、図1-19)

表1-16 男女、種類別行動者率(平成23年) (%)

	総数	健康や医療サービスに関係した活動	高齢者を対象とした活動	障害者を対象とした活動	子供を対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	まちづくりのための活動	安全な生活のための活動	自然や環境を守るための活動	災害に関係した活動	国際協力に関係した活動	その他	
山梨県	男	31.9	3.0	3.7	1.3	8.9	6.1	16.6	9.3	8.0	5.1	0.6	1.8
	女	30.4	3.9	7.4	2.6	9.5	3.4	10.2	5.2	7.2	6.7	0.9	2.2
全国	男	24.5	2.8	2.5	1.0	5.5	4.4	11.5	5.4	4.7	3.3	0.8	1.7
	女	27.9	3.0	4.9	1.8	10.6	2.7	10.4	4.3	4.8	4.2	1.1	1.9

図1-19 男女、種類別行動者率(平成23年)



④平成13年・18年・23年の種類別の行動者率比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に平成13年調査から比較すると、「まちづくりのための活動」が8.2ポイントと最も大きく減少したが、各調査年においては行動者率第1位となっている。平成13年から増加したもののは「災害に関係した活動(3.5ポイント)」、「子供を対象とした活動(3.1ポイント)」の2種類で、平成18年に一旦増加した「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」を除き、他はすべて減少している。(表1-17、図1-20)

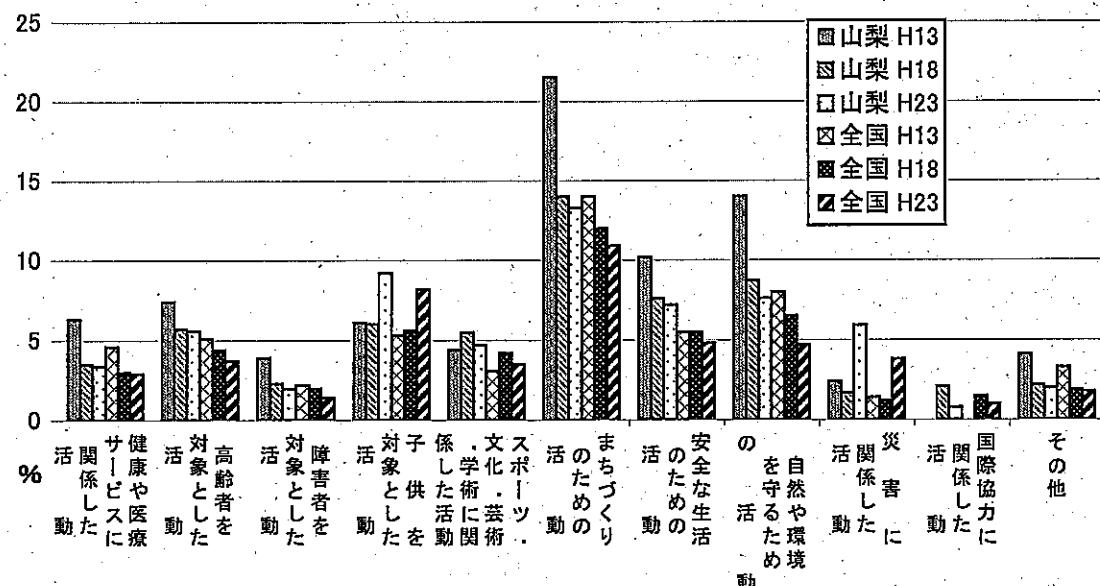
・全国の状況

行動者率を同様に平成13年調査から比較すると、「自然や環境を守るための活動」が3.3ポイントと最も大きく減少し、次いで「まちづくりのための活動」が3.1ポイントと減少した。増加したものは「子供を対象とした活動(2.9ポイント)」、「災害に関係した活動(2.4ポイント)」の2種類で、平成18年に一旦増加した「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」を除き、他はすべて減少している。(表1-17、図1-20)

表1-17 種類別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	総数	健康や医療サービスに関係した活動	高齢者を対象とした活動	障害者を対象とした活動	子供を対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	まちづくりのための活動	安全な生活のための活動	自然や環境を守るための活動	災害に関係した活動	国際協力に関係した活動	その他
山梨県	H13	39.6	6.3	7.4	3.9	6.1	4.4	21.5	10.2	14.0	2.4	4.1
	H18	30.2	3.5	5.7	2.3	6.0	5.5	14.0	7.6	8.7	1.7	2.2
	H23	31.2	3.4	5.6	2.0	9.2	4.7	13.3	7.2	7.6	5.9	0.8
全国	H13	28.9	4.6	5.1	2.2	5.3	3.1	14.0	5.5	8.0	1.4	3.3
	H18	26.2	3.0	4.4	2.0	5.8	4.2	12.0	5.5	6.5	1.2	1.5
	H23	26.3	2.9	3.7	1.4	8.2	3.5	10.9	4.8	4.7	3.8	1.8

図1-20 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)



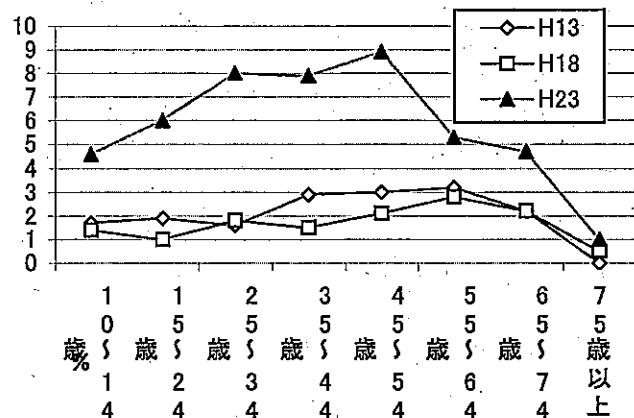
⑤平成13年・18年・23年の「災害に関係した活動」についての年齢階級別行動者率比較

主な種類の中で「災害に関係した活動」が平成13年調査から最も増加した活動であることから、この行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、平成18年の時点では平成13年と比べて、25~34歳を除いてほぼ全ての年齢階級で減少したが、平成23年の調査では、平成18年と比べてすべての年齢階級で増加し、特に15~54歳までの年齢階級で5ポイント以上の大きな増加となった。(表1-18、図1-21)

表1-18 災害に関係した活動 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)

	H13	H18	H23
10~14歳	1.7	1.4	4.6
15~24歳	1.9	1.0	6.0
25~34歳	1.6	1.8	8.0
35~44歳	2.9	1.5	7.9
45~54歳	3.0	2.1	8.9
55~64歳	3.2	2.8	5.3
65~74歳	2.2	2.2	4.7
75歳以上	-	0.5	1.0

図1-21 災害に関係した活動 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)



(5)旅行・行楽

「旅行・行楽」について、山梨県において過去1年間の行動者数は、575千人で、行動者率は75.0%であり、10年前(平成13年)と比べて6.9ポイント減少、5年前(平成18年)と比べて0.2ポイントと僅かに減少している。

全国においては、過去1年間の行動者数は83,536千人で、行動者率は73.2%であり、本県と同様に10年前(平成13年)と比べて7.7ポイント減少、5年前(平成18年)と比べて3.0ポイント減少し、平成23年の行動者率は本県より1.8ポイント低くなっている。

(統計表第1-8表、表1-20)

①平成23年行動者率の男女別・年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別に比較すると、全体では男性74.7%、女性75.4%と女性の方が0.7ポイント高い。次に、行動者率を年齢階級別に比較すると、山梨県で最も行動者率が高いのは25～34歳女性で84.5%、続いて35～44歳女性で83.6%となっている。また55～64歳及び75歳以上は男性の方が行動者率が高くなっているが、他の全ての年齢階級では女性の方が高くなっている。(表1-19、図1-22)

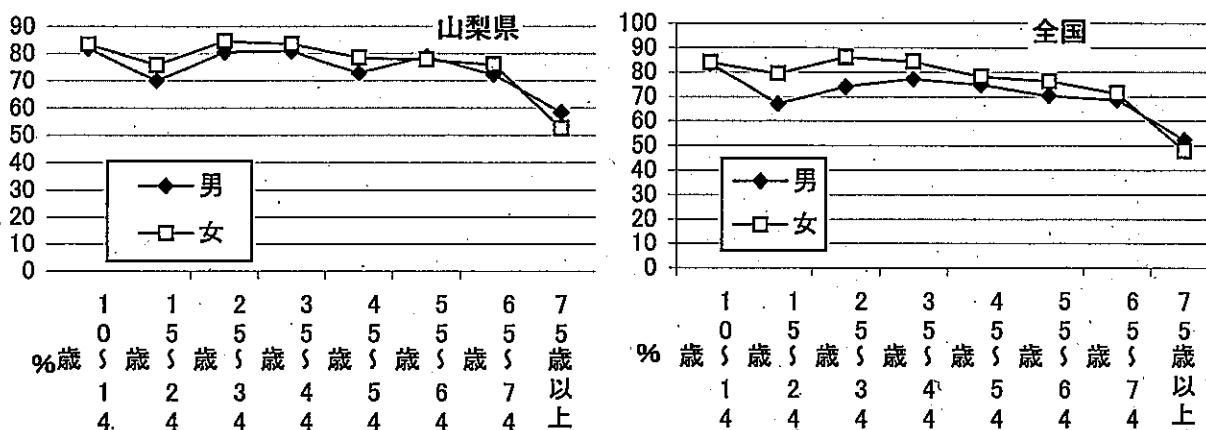
・全国の状況

行動者率を男女別に比較すると、全体では男性71.1%、女性75.3%と女性の方が4.2ポイント高くなっている。次に、行動者率を年齢階級別に比較すると、全国でも最も行動者率が高いのは25～34歳女性で86.1%、続いて35～44歳女性で84.2%となっている。また75歳以上は男性の方が行動者率が高くなっているが、他の全ての年齢階級では女性の方が高くなっている。(表1-19、図1-22)

表1-19 男女、年齢階級別行動者率(平成23年) (%)

	山梨県		全国	
	男	女	男	女
10～14歳	81.8	83.3	83.4	84.0
15～24歳	70.0	75.8	67.1	79.3
25～34歳	80.5	84.5	74.0	86.1
35～44歳	80.9	83.6	77.1	84.2
45～54歳	72.9	78.5	74.7	78.2
55～64歳	78.9	77.8	70.4	76.2
65～74歳	72.3	76.0	68.7	71.3
75歳以上	58.4	52.5	52.2	47.9
総 数	74.7	75.4	71.1	75.3

図1-22 男女、年齢階級別行動者率(平成23年)



②平成13年・18年・23年の行動者率の年齢階級別比較

・山梨県の状況

行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年までの10年間で、81.9%から75.0%と6.9ポイント減少した。また、3回の調査の年齢階級別の動きを見ると、各調査ともほぼ同じ動きをしている。(表1-20、図1-23)

・全国の状況

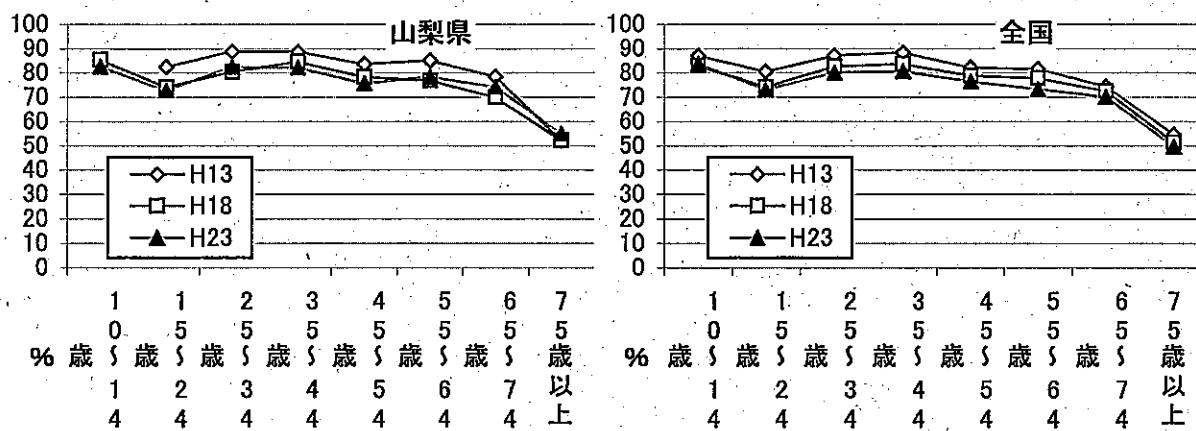
行動者率を年齢階級別に平成13年調査から比較すると、全体では平成23年までの10年間で、80.9%から73.2%と7.7ポイント減少した。また、3回の調査の年齢階級別の動きを見ると、全国も本県と同様に各調査ともほぼ同じ動きをしている。(表1-20、図1-23)

表1-20 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年) (%)

	山梨県			全 国		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23
10~14歳	...	85.3	82.6	87.1	82.9	83.7
15~24歳	82.4	74.1	72.8	80.4	74.1	73.1
25~34歳	88.8	80.4	82.4	87.0	82.5	80.0
35~44歳	88.7	84.6	82.2	88.3	83.6	80.6
45~54歳	83.6	78.4	75.7	82.2	78.9	76.5
55~64歳	85.1	76.9	78.4	81.7	77.8	73.3
65~74歳	78.5	69.9	74.3	74.4	72.5	70.1
75歳以上	52.1	52.2	54.8	54.5	51.3	49.6
総 数	81.9	75.2	75.0	80.9	76.2	73.2

※平成13年調査では、10~14歳の都道府県別データはありません。

図1-23 年齢階級別行動者率(平成13年、18年、23年)



③平成23年の行動者率の種類別・男女別比較

・山梨県の状況

行動者率を男女別・種類別に比較すると、男性では「行楽(日帰り)」が59.8%と最も高く、以下「国内観光旅行(1泊2日以上)」が46.5%、「業務出張・研修等(1泊2日以上)」が18.4%の順になっている。

一方、女性では、「行楽(日帰り)」が64.9%と最も高く、以下「国内観光旅行(1泊2日以上)」が45.6%、「帰省・訪問などの旅行(1泊2日以上)」が16.8%となっている。
(表1-21、図1-24)

・全国の状況

行動者率を男女別・種類別に比較すると、男性では「行楽(日帰り)」が54.8%と最も高く、以下「国内観光旅行(1泊2日以上)」が43.3%、「帰省・訪問などの旅行(1泊2日以上)」が22.7%の順になっている。

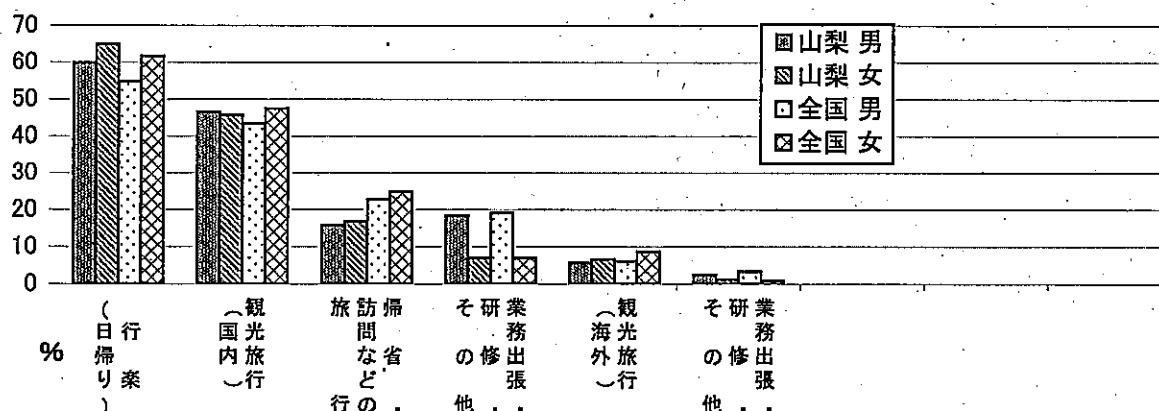
一方、女性では、男性と同様「行楽(日帰り)」が61.6%と最も高く、以下「国内観光旅行(1泊2日以上)」が47.4%、「帰省・訪問などの旅行(1泊2日以上)」が24.9%となっている。
(表1-21、図1-24)

表1-21 男女、種類別行動者率(平成23年)

(%)

	総数	行 楽 (日帰り)	旅行(1泊2日以上)								
			総 数	国内			海外				
				総 数	観光旅行	帰省・ 訪問などの 旅 行	業務出張・ 研修・ その 他	総 数	観光旅行	業務出張・ 研修・ その 他	
山 梨 県	男	74.7	59.8	58.7	57.5	46.5	15.8	18.4	7.6	5.7	2.4
	女	75.4	64.9	55.6	54.2	45.6	16.8	7.0	7.4	6.6	1.2
全 国	男	71.1	54.8	58.5	57.2	43.3	22.7	19.1	8.5	6.1	3.3
	女	75.3	61.6	60.1	58.6	47.4	24.9	7.0	9.2	8.6	1.0

図1-24 男女、種類別行動者率(平成23年)



④平成13年・18年・23年の種類別の行動者率比較

・山梨県の状況

行動者率を種類別に平成13年調査から比較すると、全ての種類で減少した。平成23年と平成18年を比べると、「行楽(日帰り)」が1.1ポイント、「業務出張・研修・その他(海外)」0.4ポイントが増加、他は全て減少している。(表1-22、図1-25)

・全国の状況

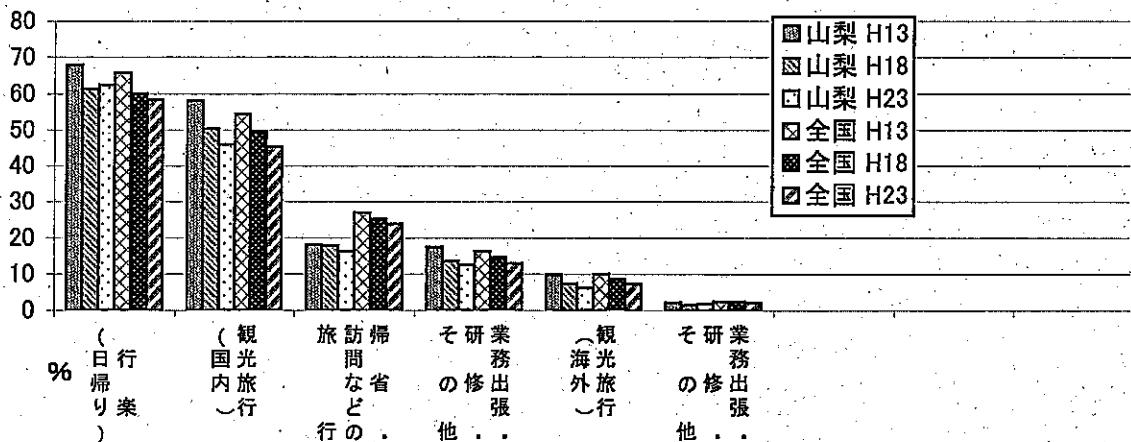
行動者率を種類別に平成13年調査から比較すると、全国も全ての種類で減少した。また、山梨県と比べると「帰省・訪問などの旅行」の行動者率が高い傾向がある。(表1-22、図1-25)

表1-22 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)

(%)

	総数	行 楽 (日帰り)	旅行(1泊2日以上)								
			総 数	国内			海外				
				総 数	観光旅行	帰省・ 訪問などの 旅 行	業務出張・ 研修・ その 他	総 数	観光旅行	業務出張・ 研修・ その 他	
山 梨 県	H13	81.9	67.9	68.6	66.5	58.2	18.2	17.4	11.3	9.8	2.2
	H18	75.2	61.3	60.8	59.3	50.3	17.9	13.6	8.4	7.4	1.4
	H23	75.0	62.4	57.1	55.8	46.0	16.3	12.5	7.5	6.2	1.8
全 国	H13	80.9	65.6	68.7	67.0	54.5	27.0	16.3	11.7	10.0	2.4
	H18	76.2	60.0	63.7	62.2	49.6	25.2	14.6	10.1	8.5	2.4
	H23	73.2	58.3	59.3	57.9	45.4	23.8	12.9	8.9	7.3	2.1

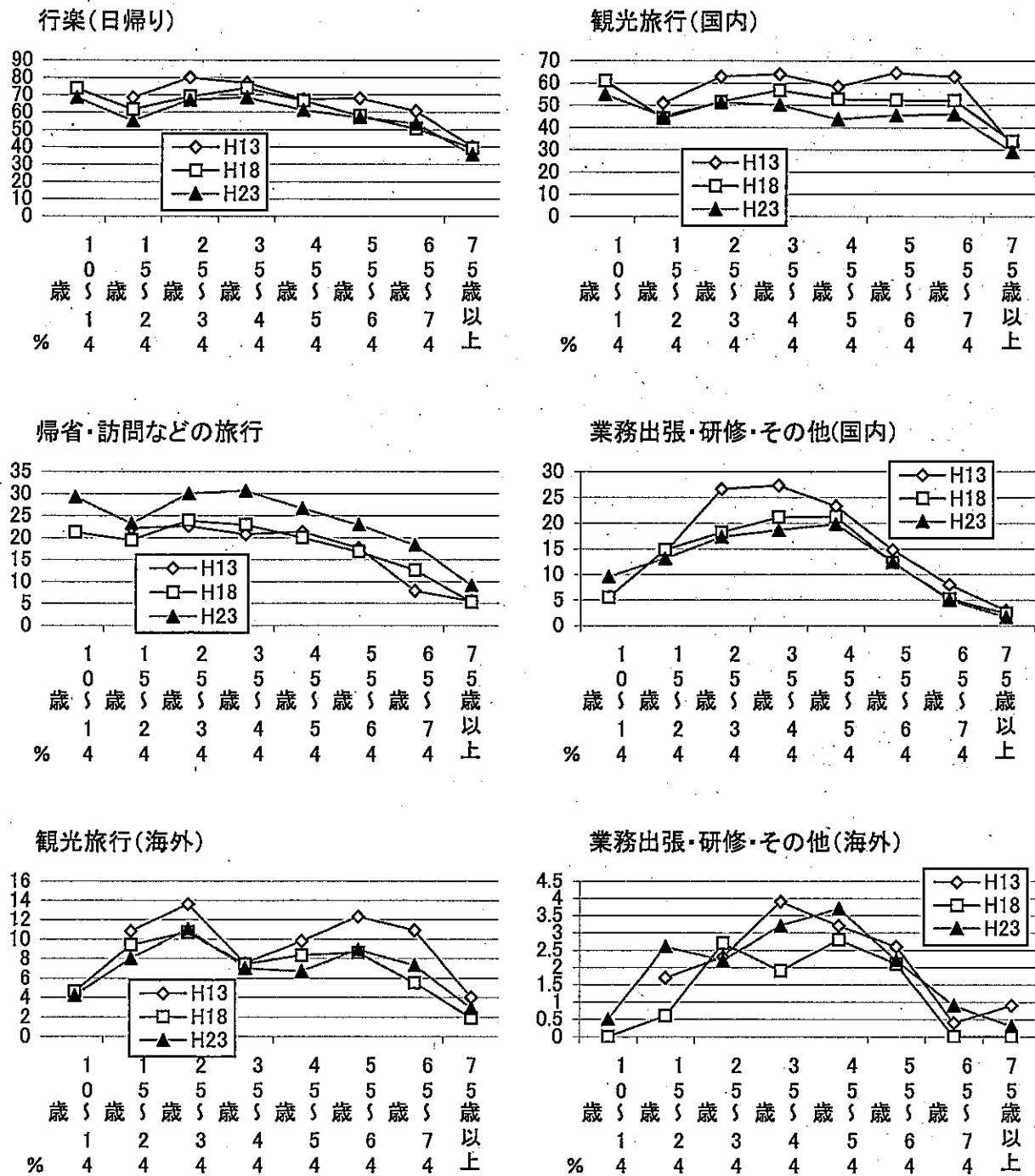
図1-25 種類別行動者率(平成13年、18年、23年)



⑤平成13年・18年・23年の主な種類についての年齢階級別行動者率比較

主な種類について年齢階級別に平成13年から比較してみると、「帰省・訪問などの旅行」が平成23年に増加しているものの、他の種類はいずれも減少傾向にある。中でも「業務出張・研修・その他(国内)」は、25~44歳の年齢階級で平成13年には高い行動者率であったが、平成18年には大きく減少している。

図1-26 「旅行・行楽」の主な種類 年齢階級別行動者数比較(平成13年・平成18年・平成23年)



2 生活時間編

(1) 一日の生活時間 概観

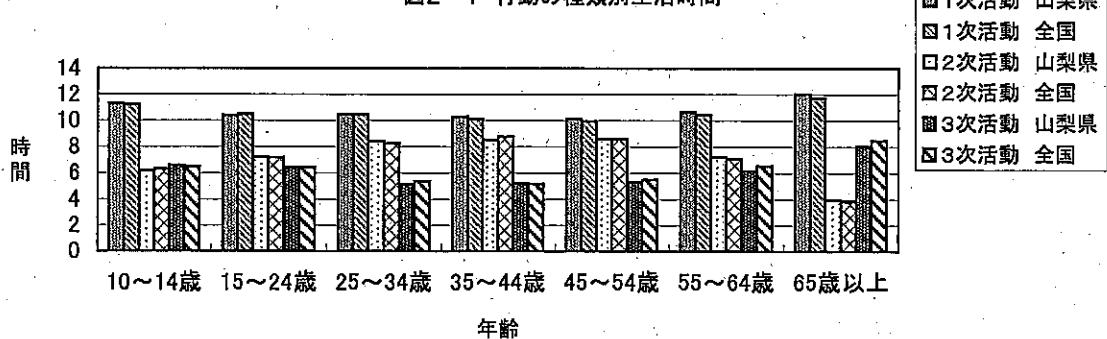
①年齢階級別各次活動時間

- 山梨県に住んでいる10歳以上の人について、1日24時間の生活時間をみると、1次活動(睡眠・食事等)が10時間51分(全国10時間40分)、2次活動(仕事・家事等)が6時間50分(全国6時間53分)、3次活動(休養等自由時間)が6時間19分(全国6時間27分)となっている。
- 各次活動について年齢階級別みると、1次活動については、本県において、65歳以上が最も長く(12時間1分)、45~54歳が最も短く(10時間7分)なっている。全国においても同じ傾向で、65歳以上が最も長く(11時間44分)、45~54歳が最も短く(9時間56分)なっている。また、15~24歳以外の全ての年齢階級で、1次活動時間が本県の方が全国を上回っている。
2次活動については、本県において、45~54歳が最も長く(8時間34分)、65歳以上が最も短く(3時間57分)なっている。全国においては、35~44歳が最も長く(8時間45分)、本県と同様に65歳以上が最も短く(3時間50分)なっている。
3次活動については、本県において、65歳以上が最も長く(8時間2分)、25~34歳が最も短く(5時間8分)なっている。全国においては、本県と同様に65歳以上が最も長く(8時間27分)、35~44歳が最も短く(5時間9分)なっている。(表2-1、表2-2、図2-1)

表2-1 年齢階級別各次活動時間 (単位:時間・分)

	1次活動		2次活動		3次活動	
	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県	全国
10~14歳	11.17	11.13	6.09	6.18	6.34	6.29
15~24歳	10.22	10.28	7.13	7.09	6.25	6.24
25~34歳	10.28	10.25	8.24	8.14	5.08	5.21
35~44歳	10.17	10.06	8.30	8.45	5.13	5.09
45~54歳	10.07	9.56	8.34	8.35	5.19	5.29
55~64歳	10.37	10.25	7.13	7.03	6.10	6.32
65歳以上	12.01	11.44	3.57	3.50	8.02	8.27
総数	10.51	10.40	6.50	6.53	6.19	6.27

図2-1 行動の種類別生活時間



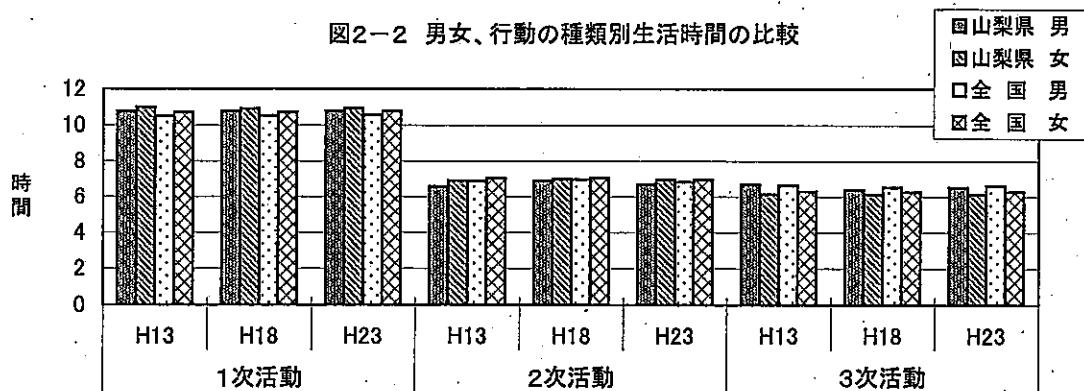
②平成13・18・23年における男女別・行動の種類別生活時間

- 平成13年調査から比較すると、本県・全国とも、1次活動時間はあまり変化なく、2次活動時間は平成18年で増加したが平成23年では減少し、3次活動時間は、逆に平成18年で減少したが平成23年では増加している。また、各調査年及び本県・全国とも1次・2次活動は女性の方が活動時間が長いが、3次活動のみ男性の方が女性より長い。(表2-2、図2-2)

表2-2 男女、行動の種類別生活時間 (単位:時間・分)

		1次活動			2次活動			3次活動		
		H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	10.52	10.50	10.51	6.45	6.56	6.50	6.23	6.14	6.19
	男	10.45	10.46	10.46	6.35	6.52	6.42	6.40	6.22	6.31
	女	10.59	10.54	10.55	6.54	6.59	6.58	6.07	6.07	6.07
全国	平均	10.36	10.37	10.40	6.56	7.00	6.53	6.28	6.23	6.27
	男	10.30	10.31	10.33	6.51	6.58	6.49	6.39	6.31	6.38
	女	10.42	10.42	10.46	7.01	7.03	6.57	6.17	6.15	6.16

図2-2 男女、行動の種類別生活時間の比較



(2) 1次活動…睡眠時間

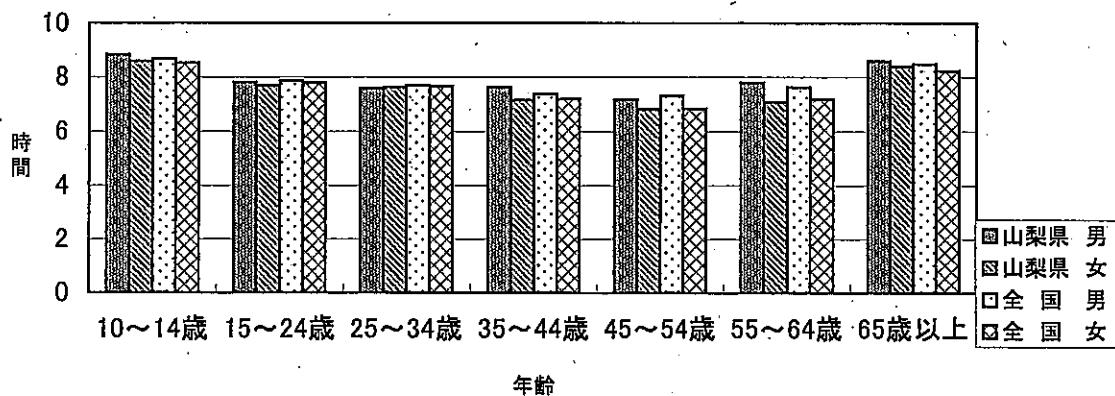
① 男女別・年齢階級別睡眠時間

- 睡眠時間は、本県において7時間45分で、男性は7時間53分、女性は7時間37分と男性が16分長くなっている。全国においても同様で、男性が女性より13分長くなっている。
- 年齢階級別にみると、本県においては45～54歳が男女とも一番短く(平均6時間59分)、25～34歳を除いては男性の方が女性より長く睡眠をとっている。また、55～64歳が男女差(42分)が一番大きくなっている。
一方全国においては、本県と同様に45～54歳が男女とも一番短く(平均7時間4分)、全ての年齢階級で男性の方が女性より長く睡眠をとっている。(表2-3、図2-3)

表2-3 男女、年齢階級別睡眠時間 (単位:時間・分)

	平均		男		女	
	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県	全国
10～14歳	8.42	8.35	8.50	8.40	8.35	8.30
15～24歳	7.44	7.49	7.48	7.51	7.41	7.46
25～34歳	7.35	7.40	7.34	7.41	7.37	7.39
35～44歳	7.23	7.18	7.36	7.23	7.09	7.12
45～54歳	6.59	7.04	7.10	7.19	6.48	6.50
55～64歳	7.26	7.23	7.17	7.37	7.05	7.11
65歳以上	8.27	8.20	8.34	8.28	8.22	8.13
総数	7.45	7.42	7.53	7.49	7.37	7.36

図2-3 男女、年齢階級別睡眠時間



② 平成13・18・23における男女別・曜日別睡眠時間

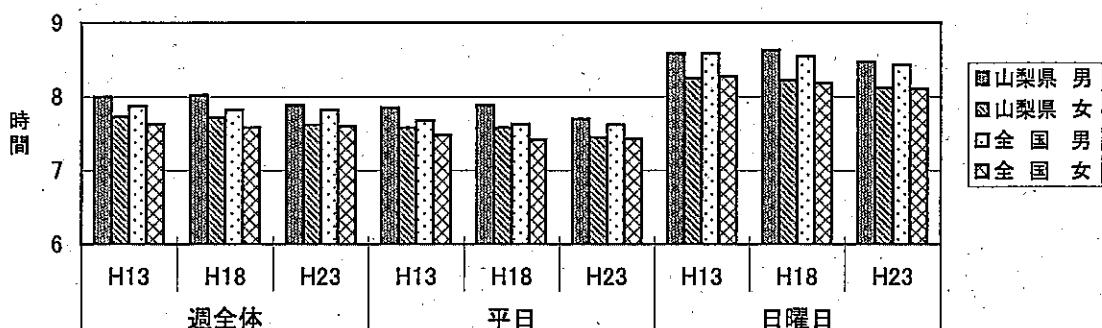
- 平成13年調査から比較すると、本県においてどの調査年も全国と同様に男性の方が長くなっている。平成13年と平成18年ではほぼ変化はなかったが、平成23年では平日・日曜日とも短くなった。また、平日に比べ日曜日は43分長くなっている。

表2-4 曜日別睡眠時間(10歳以上)

(単位:時間・分)

		週全体			平日			日曜日		
		H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	7.52	7.51	7.45	7.43	7.44	7.34	8.25	8.25	8.17
	男	8.00	8.01	7.53	7.51	7.53	7.42	8.35	8.38	8.28
	女	7.44	7.43	7.37	7.35	7.35	7.27	8.15	8.13	8.07
全 国	平均	7.45	7.42	7.42	7.35	7.31	7.31	8.25	8.21	8.16
	男	7.52	7.49	7.49	7.41	7.38	7.37	8.35	8.33	8.26
	女	7.38	7.35	7.36	7.29	7.25	7.26	8.16	8.11	8.06

図2-4 曜日別睡眠時間の比較(10歳以上)



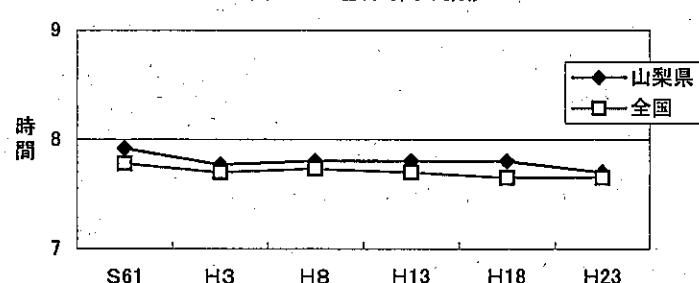
③過去25年間(昭和61年から)における睡眠時間の推移

- 睡眠時間の昭和61年からの推移をみると、いずれの調査年も全国と比較して本県の方が長く、本県・全国とも若干減少傾向にある。(表2-5、図2-5)

表2-5 (15歳以上) 時間. 分

	山梨県	全国
S61	7.55	7.47
H3	7.46	7.42
H8	7.48	7.44
H13	7.48	7.42
H18	7.48	7.39
H23	7.42	7.39

図2-5 睡眠時間の推移



(3)1次活動…食事時間

①男女別・年齢階級別食事時間

- 食事時間は1時間46分で、男性は1時間43分、女性は1時間49分と女性の方がが6分長くなっている。全国においても女性が6分長くなっている。

- 年齢階級別にみると、本県においては、15～24歳が最も短く(1時間26分)、65歳以上が最も長く(2時間6分)なっており、25歳以上では、35～44歳が若干短くなるものの年齢階級が高くなるほど長くなる傾向となっている。全国においてもほぼ同様の傾向がある。

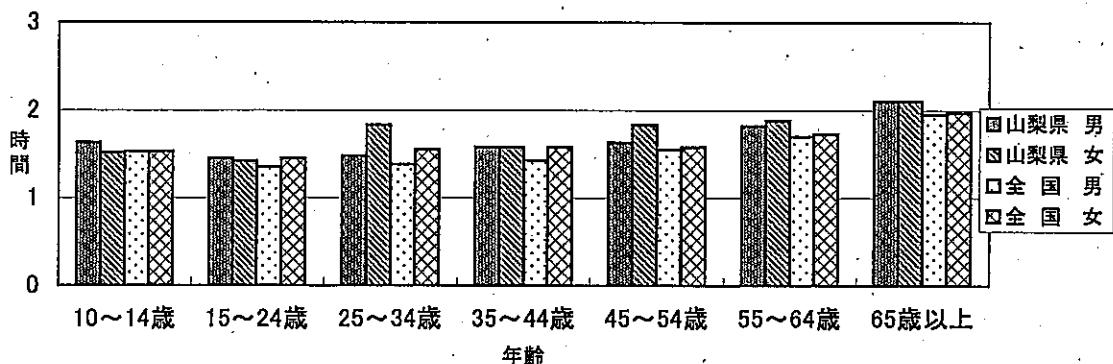
これを男女別にみると、本県において、10～14歳及び15～24歳では男性の方が長いものの、25歳以上の年齢階級では男性と同じまたは女性の方が長くなっている。特に25～34歳で男性より女性の方が21分長くなっている。

一方全国においては、年齢階級では、ほぼ同じ傾向がみられ、男女別では、10～14歳では同等のものの、15歳以上の階級で女性の方が男性より長くなっている。(表2-6、図2-6)

表2-6 男女、年齢階級別食事時間(週平均) (単位:時間・分)

	平均		男		女	
	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県	全国
10~14歳	1.35	1.32	1.38	1.32	1.31	1.32
15~24歳	1.26	1.24	1.27	1.21	1.25	1.27
25~34歳	1.39	1.28	1.29	1.23	1.50	1.33
35~44歳	1.35	1.31	1.35	1.26	1.35	1.35
45~54歳	1.44	1.34	1.38	1.33	1.50	1.35
55~64歳	1.51	1.43	1.49	1.42	1.53	1.44
65歳以上	2.06	1.57	2.06	1.57	2.06	1.58
総数	1.46	1.39	1.43	1.36	1.49	1.42

図2-6 男女、年齢階級別食事時間(週平均)



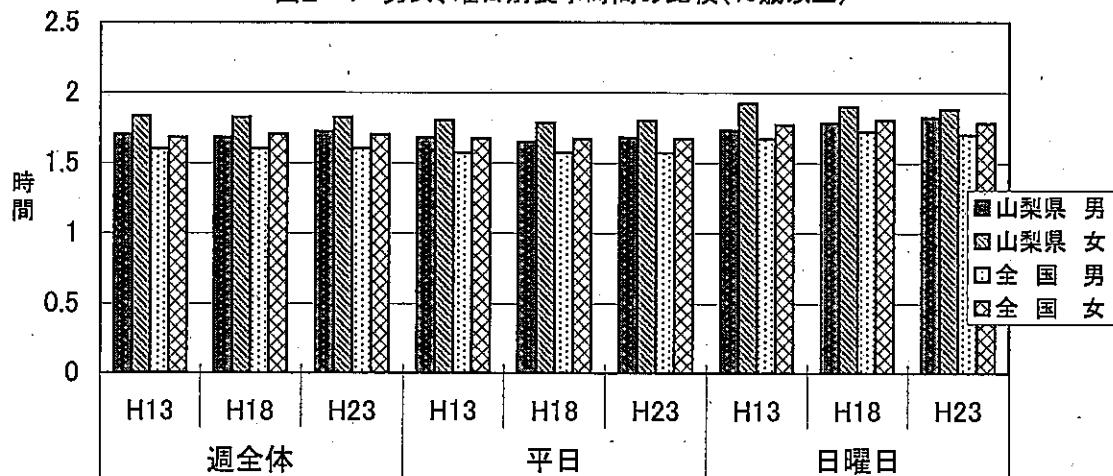
②平成13・18・23年における男女別・曜日別食事時間

- 平成13年調査から比較すると、本県においてどの調査年も全国と同様に女性の方が長く、大きな変化はなかった。平日は、男女とも平成18年に若干短くなつて平成23年に平成13年の数値に戻り、また、日曜日は、男性が増加傾向、女性は減少傾向にある。(表2-7、図2-7)

表2-7 曜日別食事時間(10歳以上) (単位:時間・分)

	週全体			平日			日曜日		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	1.46	1.45	1.46	1.45	1.43	1.45	1.50	1.51
	男	1.42	1.41	1.43	1.41	1.39	1.41	1.44	1.47
	女	1.50	1.49	1.49	1.48	1.47	1.48	1.55	1.54
全国	平均	1.38	1.39	1.39	1.37	1.37	1.37	1.43	1.46
	男	1.36	1.36	1.36	1.34	1.34	1.34	1.40	1.43
	女	1.41	1.42	1.42	1.40	1.40	1.40	1.46	1.48

図2-7 男女、曜日別食事時間の比較(10歳以上)



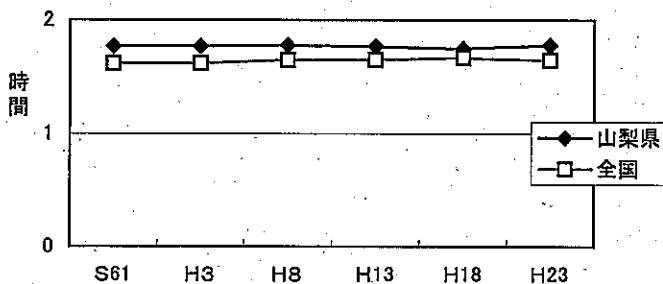
③過去25年間(昭和61年から)における食事時間の推移

- 食事時間の昭和61年からの推移をみると、いずれの調査年も本県が全国より長く、この25年間本県・全国ともあまり変化なく推移している。(表2-8、図2-8)

表2-8 (15歳以上 時間 分)

	山梨県	全国
S61	1.46	1.37
H3	1.46	1.37
H8	1.47	1.39
H13	1.46	1.39
H18	1.45	1.40
H23	1.47	1.39

図2-8 食事時間の推移



(4)2次活動…仕事時間

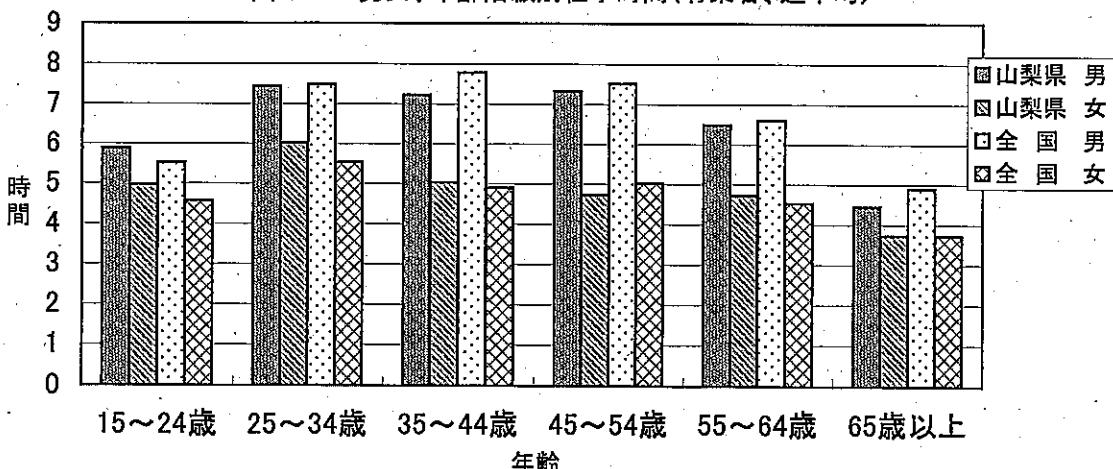
①男女別・年齢階級別仕事時間

- 有業者の仕事時間は5時間51分で、男性は6時間36分、女性は4時間53分となっている。全国は男性が6時間56分で、女性が4時間50分であり、全国と比べ本県は男性は20分短く、逆に女性は3分長くなっている。
- 男女別・年齢階級別でみると男性が25～54歳までの3階級で7時間を超えており、女性はどの年齢階級でも男性より短く、25～34歳の6時間1分が最も長くなっている。また、35～44歳・45～54歳の階級では、男性が女性より2時間以上長い。また、全国と比較すると男性は15～24歳以外のすべての階級で全国の方が長いが、女性は45～54歳以外のすべての階級で全国より長くなっている。(表2-9、図2-9)

表2-9 男女、年齢階級別仕事時間(有業者、週平均) (単位:時間・分)

	平均		男		女	
	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県	全国
15～24歳	5.28	5.02	5.53	5.31	4.58	4.34
25～34歳	6.52	6.37	7.26	7.28	6.01	5.32
35～44歳	6.15	6.35	7.13	7.46	5.02	4.54
45～54歳	6.10	6.24	7.19	7.30	4.44	5.01
55～64歳	5.42	5.45	6.29	6.36	4.43	4.32
65歳以上	4.12	4.25	4.27	4.54	3.44	3.43
総 数	5.51	6.02	6.36	6.56	4.53	4.50

図2-9 男女、年齢階級別仕事時間(有業者、週平均)



②平成13・18・23年における男女別・曜日別仕事時間

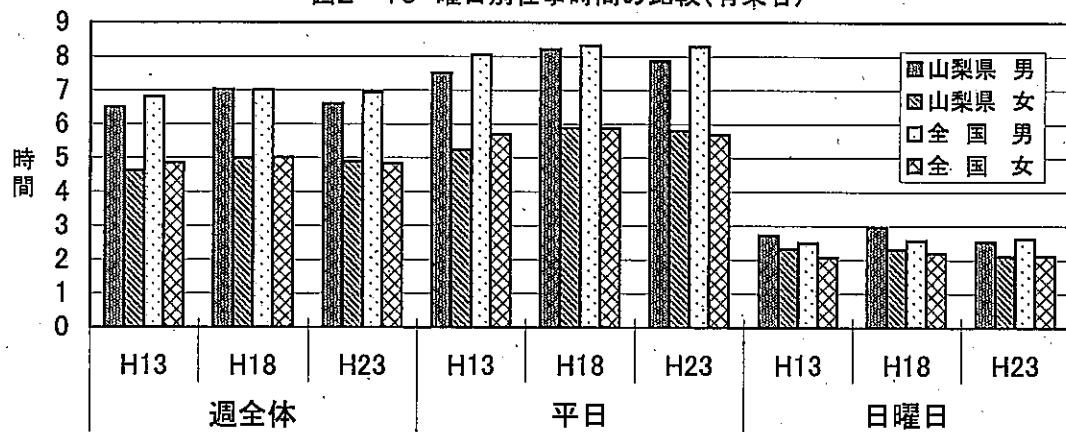
- 本県において平成13年調査から比較すると、週全体で平成18年に大幅に増加したが平成23年には減少した。
- 曜日別では、平日・日曜日とも平均では平成18年に増加、平成23年に減少となったが、日曜日の女性は平成18年から減少となった。また、平日の男性が平成18年に8時間を超えていたが、平成23年には8時間ну切った。
- 一方全国においては、週全体は本県と同様に平成18年に増加し平成23年には減少しているが、男性の日曜日は平成18・23年と増加している。(表2-10、図2-10)

表2-10 曜日別仕事時間の比較(有業者)

(単位:時間・分)

		週全体			平日			日曜日		
		H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	5.40	6.07	5.51	6.30	7.10	6.58	2.33	2.41	2.20
	男	6.30	7.01	6.36	7.30	8.12	7.51	2.43	2.58	2.32
	女	4.37	4.59	4.53	5.14	5.53	5.48	2.19	2.18	2.06
全国	平均	5.59	6.09	6.02	7.03	7.16	7.09	2.19	2.25	2.24
	男	6.48	7.00	6.56	8.02	8.19	8.17	2.30	2.34	2.37
	女	4.51	5.00	4.50	5.41	5.52	5.41	2.04	2.12	2.07

図2-10 曜日別仕事時間の比較(有業者)



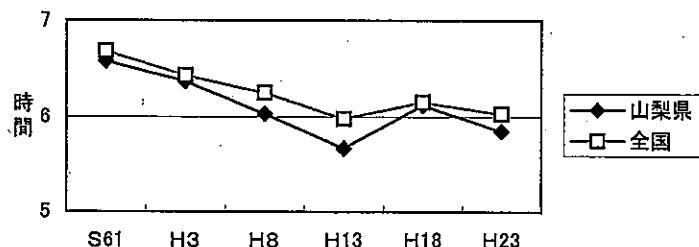
③過去25年間(昭和61年から)における仕事時間の推移

- 仕事時間の昭和61年からの推移をみると、いずれの調査年も本県が全国より短く、本県・全国とも平成13年まで減少し、平成18年に増加したが平成23年に減少している。(表2-11、図2-11)

表2-11 (15歳以上) 時間・分

	山梨県	全国
S61	6.35	6.41
H3	6.22	6.26
H8	6.02	6.15
H13	5.40	5.59
H18	6.07	6.09
H23	5.51	6.02

図2-11 仕事時間の推移



(5) 2次活動…家事関連時間

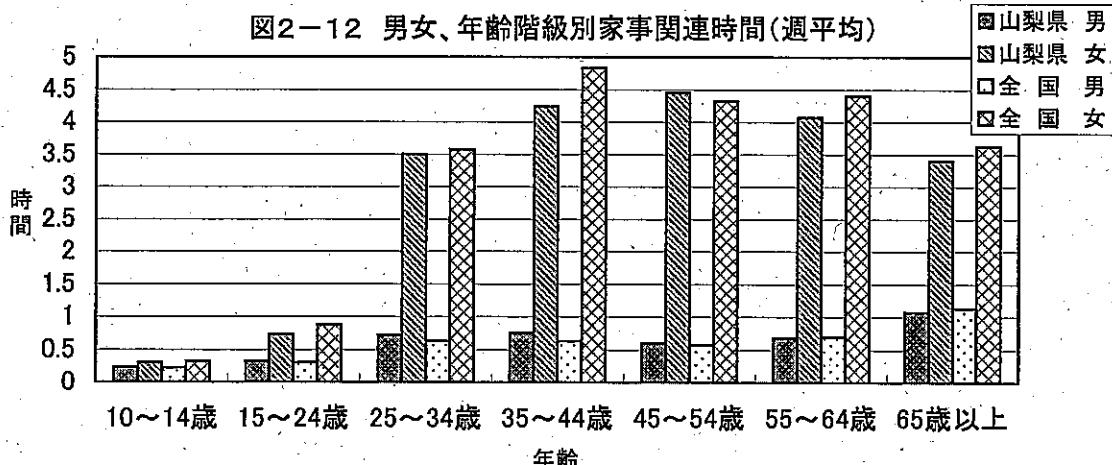
①男女別・年齢階級別家事関連時間

- 家事関連時間は2時間3分で、男性は42分、女性は3時間21分と男女の間に大きな差が見られる。全国も同様に男性が42分、女性が3時間35分となっている。
- 男女・年齢階級別でみると、男性は65歳以上で1時間以上と長く、一方、女性は35~64歳までの3階級において4時間以上と長く、特に45~54歳で4時間27分と最も長くなっている。全国においても同様の傾向がみられ、女性の家事関連時間のピークは、35~44歳の4時間50分と最も長くなっている。(表2-12、図2-12)

表2-12 男女、年齢階級別家事関連時間(週平均)(単位:時間・分)

	平均		男		女	
	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県	全国
10~14歳	0.16	0.16	0.14	0.13	0.18	0.19
15~24歳	0.31	0.35	0.19	0.18	0.44	0.52
25~34歳	2.04	2.04	0.43	0.38	3.30	3.34
35~44歳	2.28	2.42	0.45	0.38	4.14	4.50
45~54歳	2.29	2.25	0.36	0.34	4.27	4.19
55~64歳	2.22	2.34	0.41	0.42	4.04	4.24
65歳以上	2.24	2.31	1.04	1.08	3.24	3.37
総数	2.03	2.10	0.42	0.42	3.21	3.35

図2-12 男女、年齢階級別家事関連時間(週平均)



②平成13・18・23年における男女別・曜日別家事関連時間

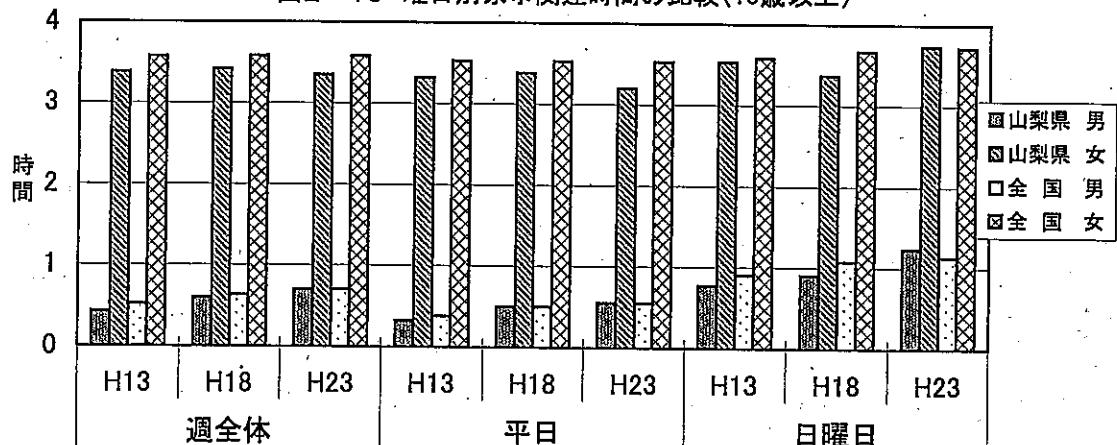
- 平成13年調査から比較すると、本県においては、週全体で男性は増加傾向にあるが、女性は平成18年に増加したが、平成23年には減少した。一方全国でも男性は本県と同様に増加傾向にあり、女性は平成18年に若干増加し、平成23年は平成18年と同じであった。
- 曜日別では、平日は週全体と同じ傾向であるが、日曜日は男性が増加傾向にあり、女性は平成18年に減少し、平成23年に増加している。また全国では、日曜日の男性が平成18年に1時間を超えたが、本県は平成23年に1時間を超えた。(表2-13、図2-13)

表2-13 曜日別家事関連時間(10歳以上)

(単位:時間・分)

		週全体			平日			日曜日		
		H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	1.56	2.02	2.03	1.51	1.58	1.55	2.11	2.10	2.30
	男	0.26	0.36	0.42	0.19	0.30	0.33	0.46	0.54	1.14
	女	3.23	3.25	3.21	3.19	3.23	3.12	3.32	3.22	3.44
全 国	平均	2.05	2.08	2.10	2.00	2.02	2.04	2.18	2.24	2.27
	男	0.31	0.38	0.42	0.23	0.30	0.33	0.54	1.04	1.08
	女	3.34	3.35	3.35	3.32	3.32	3.32	3.35	3.40	3.43

図2-13 曜日別家事関連時間の比較(10歳以上)



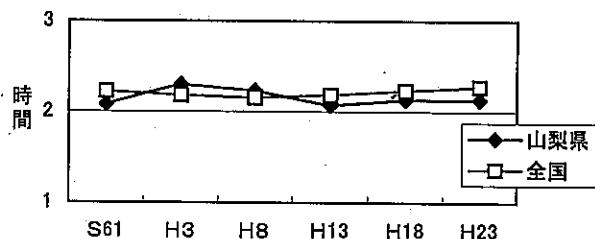
③過去25年間(昭和61年から)における家事関連時間の推移

- 家事関連時間の昭和61年からの推移をみると、平成3年と8年以外は本県の方が全国より短くなっている。全国は平成8年まで減少しその後は増加しているのに対し、本県は平成3年に増加してから平成13年まで減少し、平成18年に増加して平成23年は2時間8分であった。(表2-14、図2-14)

表2-14 (15歳以上) 時間・分

	山梨県	全国
S61	2.05	2.13
H3	2.18	2.11
H8	2.14	2.09
H13	2.04	2.11
H18	2.08	2.14
H23	2.08	2.16

図2-14 家事関連時間の推移



(6)3次活動…休養等自由時間

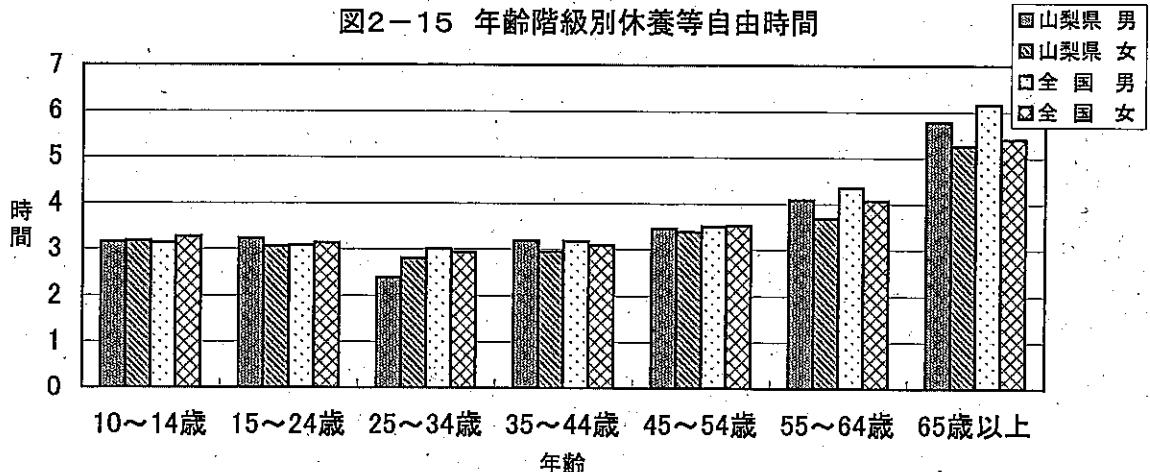
①男女別・年齢階級別休養等自由時間

- 休養等自由時間は3時間50分で、男性は3時間52分、女性は3時間47分となっている。男女とも全国の方が長くなっている。
- 男女・年齢階級別でみると、本県においては週平均で10～14歳、25～34歳の2階級で女性の方が長いが、その他の階級ではすべて男性の方が長くなっている。特に65歳以上では30分以上男性の方が長い。平均では、15～24歳以外のすべての年齢階級で全国の方が長くなっている。(表2-15、図2-15)

表2-15 年齢階級別休養等自由時間 (単位:時間・分)

	平均		男		女	
	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県	全国
10～14歳	3.10	3.13	3.09	3.08	3.11	3.16
15～24歳	3.08	3.07	3.14	3.04	3.03	3.08
25～34歳	2.36	2.58	2.23	3.00	2.48	2.56
35～44歳	3.04	3.08	3.11	3.10	2.57	3.05
45～54歳	3.25	3.31	3.27	3.30	3.23	3.31
55～64歳	3.53	4.12	4.05	4.21	3.41	4.04
65歳以上	5.29	5.44	5.46	6.09	5.15	5.24
総数	3.50	3.58	3.52	4.02	3.47	3.55

図2-15 年齢階級別休養等自由時間



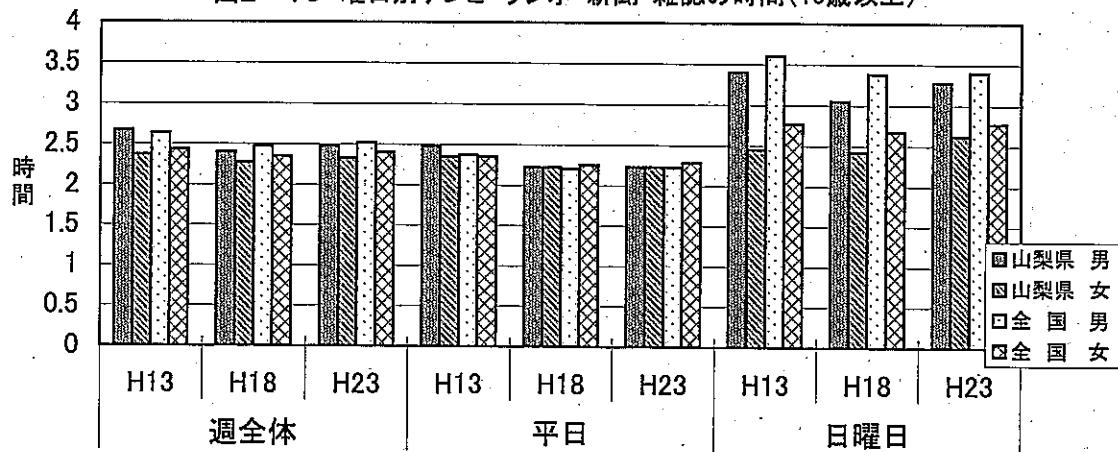
②平成13・18・23年における男女別・曜日別テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間

- 休養等自由時間活動のうちテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間について、平成13年調査から比較すると、週全体では、本県・全国とも平成18年に減少して平成23年に増加している。平日は、どの調査年も男女差があまりないが、日曜日はどの調査年も男性の方が30分以上長い。(表2-16、図2-16)

表2-16 曜日別テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間(10歳以上) (単位:時間・分)

		週全体			平日			日曜日		
		H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	2.30	2.20	2.25	2.25	2.13	2.14	2.55	2.43	2.57
	男	2.40	2.24	2.29	2.29	2.13	2.14	3.24	3.09	3.17
	女	2.22	2.16	2.20	2.21	2.13	2.14	2.27	2.25	2.37
全国	平均	2.32	2.24	2.27	2.22	2.14	2.15	3.10	3.01	3.04
	男	2.38	2.28	2.31	2.22	2.12	2.14	3.36	3.23	3.24
	女	2.26	2.21	2.24	2.21	2.15	2.17	2.46	2.40	2.46

図2-16 曜日別テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間(10歳以上)



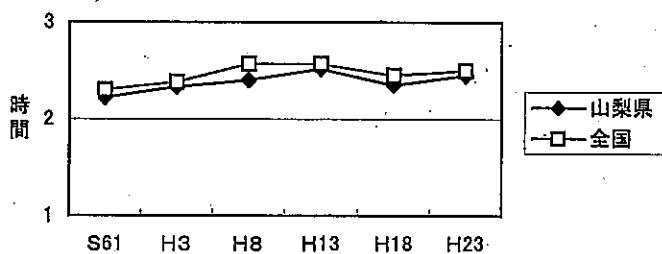
③過去25年間(昭和61年から)におけるテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間の推移

- テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間の昭和61年からの推移をみると、各調査年とも全て全国の方が本県より長くなっている。本県・全国とも同様に平成13年まで増加し、平成18年に減少したが平成23年にはまた増加している。(表2-17、図2-17)

表2-17 (15歳以上) 時間. 分

	山梨県	全国
S61	2.13	2.18
H3	2.20	2.23
H8	2.24	2.34
H13	2.31	2.34
H18	2.21	2.27
H23	2.27	2.30

図2-17 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間の推移



④平成13・18・23年における男女別・曜日別休養・くつろぎの時間

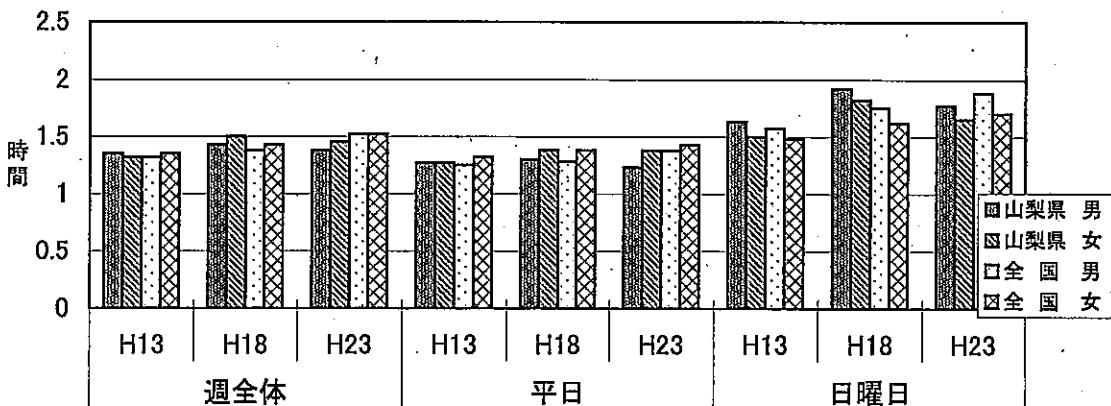
- 休養等自由時間活動のうち休養・くつろぎの時間について、平成13年調査から比較すると、平日・日曜日とも全国は男女とも増加傾向にあるが、本県は男女とも平成18年に増加し、平成23年に減少している。

表2-18 曜日別休養・くつろぎの時間(10歳以上)

(単位:時間・分)

		週全体			平日			日曜日		
		H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県	平均	1.20	1.28	1.25	1.16	1.21	1.18	1.34	1.52	1.43
	男	1.21	1.26	1.23	1.16	1.18	1.14	1.38	1.55	1.46
	女	1.19	1.30	1.27	1.16	1.23	1.23	1.30	1.49	1.39
全 国	平均	1.20	1.25	1.31	1.17	1.20	1.25	1.32	1.41	1.47
	男	1.19	1.23	1.31	1.15	1.17	1.23	1.34	1.45	1.53
	女	1.21	1.26	1.31	1.19	1.23	1.26	1.29	1.37	1.42

図2-18 曜日別休養・くつろぎの時間(10歳以上)



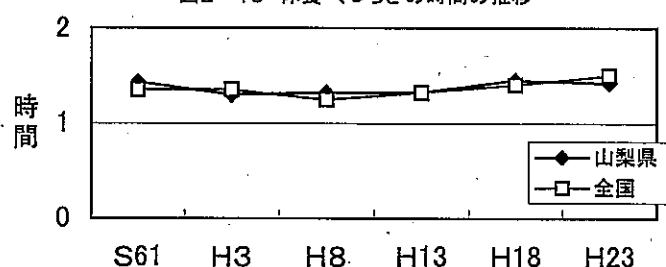
⑤過去25年間(昭和61年から)における休養・くつろぎの時間の推移

- 休養・くつろぎの時間の昭和61年からの推移をみると、調査年ごとに全国と比べて本県は交互に増加と減少を繰り返しているのに対し、全国は平成8年まで減少し、平成13年からは増加している。(表2-19、図2-19)

表2-19 (15歳以上) 時間. 分

	山梨県	全国
S61	1.26	1.21
H3	1.18	1.21
H8	1.19	1.15
H13	1.19	1.19
H18	1.27	1.24
H23	1.25	1.30

図2-19 休養・くつろぎの時間の推移



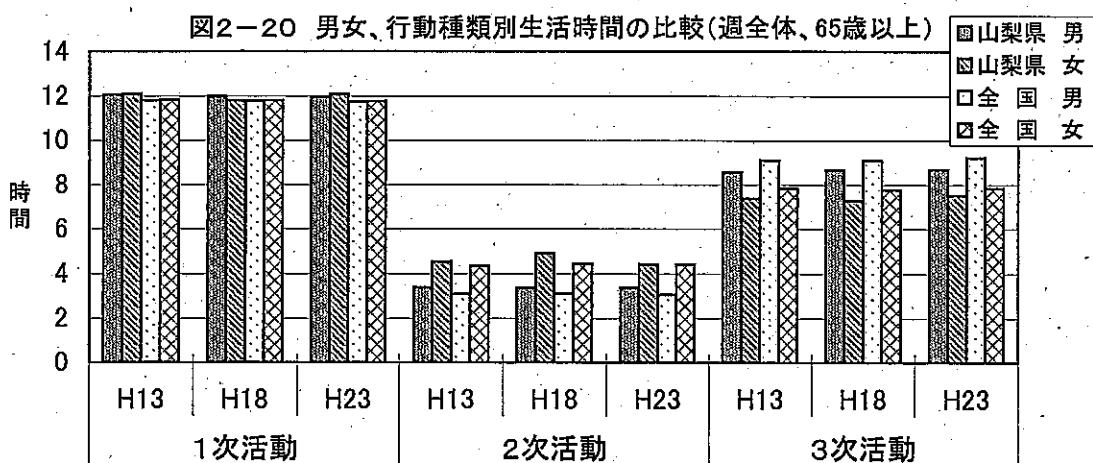
(7)高齢者(65歳以上)の生活時間

- 高齢者の生活時間を平成13年調査から比較すると、1次活動において、本県の男女とも、平成18年に女性が全国値と同じになった以外は全て全国の男女より長くなっている。2次活動においても同様に、平成23年に女性が全国値と同じになった以外は全て全国の男女より長くなっている。一方、3次活動では、全国の男女とも各調査年全てにおいて、本県の男女より長くなっている。また、本県においては、1次活動は男性が減少傾向、女性は平成18年に減少し平成23年に増加し、2次活動は男性はほとんど変化なく、女性は平成18年に増加し平成23年に減少した。3次活動は男性が増加傾向、女性は平成18年に減少したが平成23年に増加した。(表2-20、図2-20)

表2-20 男女、行動種類別生活時間の比較 週全体、65歳以上 (時間、分)

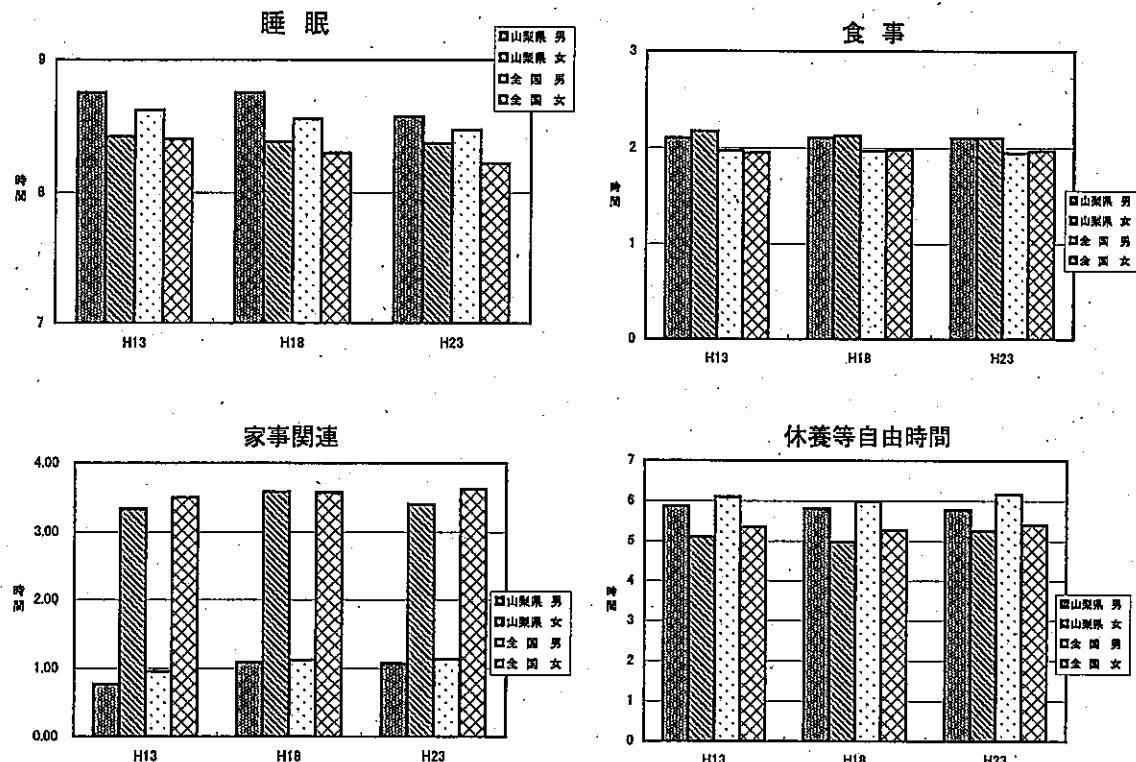
	男						女					
	H13		H18		H23		H13		H18		H23	
	山梨県	全国										
1次活動	12.03	11.48	11.59	11.46	11.57	11.43	12.06	11.50	11.48	11.48	12.04	11.45
睡眠	8.45	8.37	8.45	8.33	8.34	8.28	8.25	8.24	8.23	8.18	8.22	8.13
身の回りの用事	1.11	1.13	1.09	1.16	1.17	1.18	1.31	1.29	1.18	1.31	1.36	1.34
食事	2.06	1.58	2.06	1.58	2.06	1.57	2.10	1.57	2.07	1.59	2.06	1.58
2次活動	3.23	3.06	3.22	3.08	3.22	3.04	4.32	4.21	4.56	4.27	4.25	4.25
仕事等	2.37	2.10	2.18	2.01	2.17	1.55	1.11	0.51	1.22	0.53	1.00	0.48
家事関連	0.46	0.57	1.05	1.07	1.04	1.08	3.20	3.30	3.35	3.34	3.24	3.37
3次活動	8.34	9.06	8.39	9.06	8.41	9.13	7.22	7.49	7.16	7.46	7.31	7.50
休養等自由時間活動	5.52	6.06	5.48	5.59	5.46	6.09	5.06	5.21	4.58	5.16	5.15	5.24
積極的自由時間活動	1.23	1.29	1.29	1.38	1.27	1.37	0.52	0.56	1.06	1.00	0.54	0.59
他の3次活動	1.19	1.33	1.21	1.30	1.28	1.28	1.24	1.33	1.11	1.30	1.20	1.27

図2-20 男女、行動種類別生活時間の比較(週全体、65歳以上)



- 1次活動の中の「睡眠時間」は、男女とも減少傾向にあり、全国も同様である。「食事時間」は、男性が2時間6分で変化がないのに対し、女性は減少傾向である。
- 2次活動の中の「家事関連時間」は、男女とも平成18年で増加したが平成23年には若干減少している。全国は男女とも増加傾向である。
- 3次活動の中の「休養等自由時間」は、男性は減少傾向であり、女性は平成18年に減少して平成23年には増加している。全国は男女とも平成18年に減少して平成23年に増加している。

図2-21 男女・主な行動の種類別生活時間の推移(H13・H18・H23)



○過去25年間(昭和61年から)における高齢者の主な行動の生活時間の推移

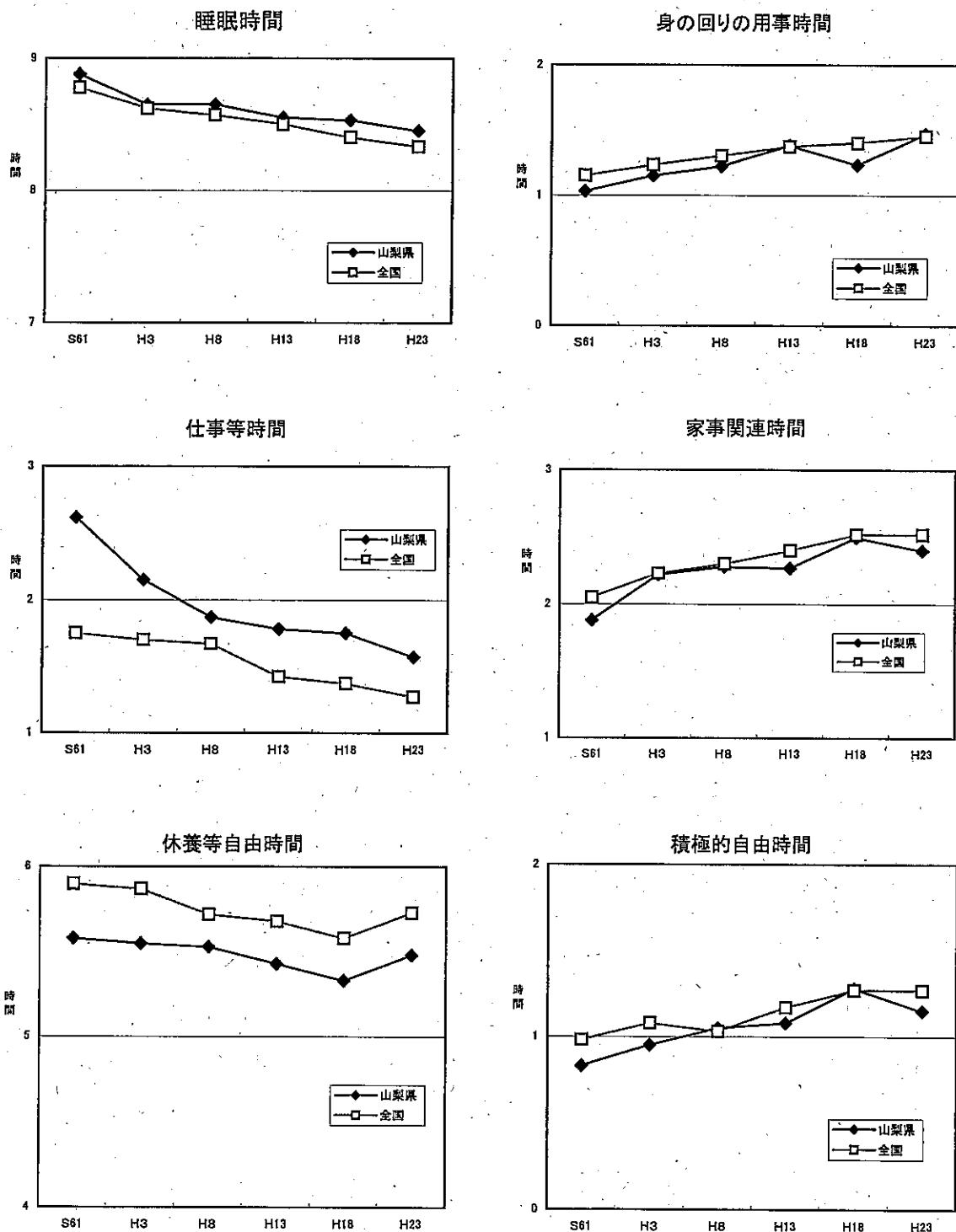
○ 高齢者の主な行動の生活時間の昭和61年からの推移をみると、本県・全国とも同様な推移をしている。

- ・睡眠時間は、本県・全国とも減少傾向であり、若干本県の方が長くなっている。
- ・仕事等の時間も本県・全国とも減少傾向であり、本県の方が長くなっている。
- ・休養等自由時間は、全国の方が長く、本県・全国とも減少傾向にあったが、平成23年に本県・全国とも増加した。
- ・身の回りの用事の時間は、全国とも増加傾向にあり、全国の方が若干長く、本県は平成18年に減少したが平成23年には増加し、全国と同じ水準となった。
- ・家事関連時間も、本県・全国とも増加傾向にあり、全国の方が若干長く、本県は平成18年に比べ平成23年に減少した。
- ・積極的自由時間は、本県・全国とも若干の増減はあるが全体として増加傾向にあり、全国の方が若干長くなっている。(表2-21、図2-22)

表2-21 高齢者の主な行動の生活時間の推移 週全体、65歳以上 (時間、分)

	山梨県						全 国					
	S61	H3	H8	H13	H18	H23	S61	H3	H8	H13	H18	H23
1次活動	11.53	11.53	11.58	12.05	11.53	12.01	11.49	11.46	11.51	11.49	11.47	11.44
睡眠	8.53	8.39	8.39	8.33	8.32	8.27	8.47	8.37	8.34	8.30	8.24	8.20
身の回りの用事	1.02	1.09	1.13	1.23	1.14	1.28	1.09	1.14	1.18	1.22	1.24	1.27
食事	1.58	2.05	2.06	2.08	2.07	2.06	1.53	1.55	1.59	1.57	1.58	1.57
2次活動	4.29	4.22	4.09	4.03	4.16	3.57	3.48	3.57	3.58	3.49	3.53	3.50
仕事等	2.37	2.09	1.52	1.47	1.45	1.34	1.45	1.42	1.40	1.25	1.22	1.16
家事関連	1.53	2.13	2.17	2.16	2.30	2.24	2.03	2.14	2.18	2.24	2.31	2.31
3次活動	7.38	7.44	7.53	7.52	7.51	8.02	8.23	8.17	8.11	8.22	8.20	8.27
休養等自由時間活動	5.35	5.33	5.32	5.26	5.20	5.29	5.54	5.52	5.43	5.41	5.35	5.44
積極的自由時間活動	0.50	0.57	1.03	1.05	1.17	1.09	0.59	1.05	1.02	1.10	1.16	1.16
他の3次活動	1.12	1.14	1.18	1.22	1.16	1.24	1.31	1.20	1.25	1.33	1.30	1.26

図2-22 高齢者の主な行動の生活時間の推移(過去25年間)



(8) 起床・就寝の平均時刻(平成13年・平成18年・平成23年との比較)

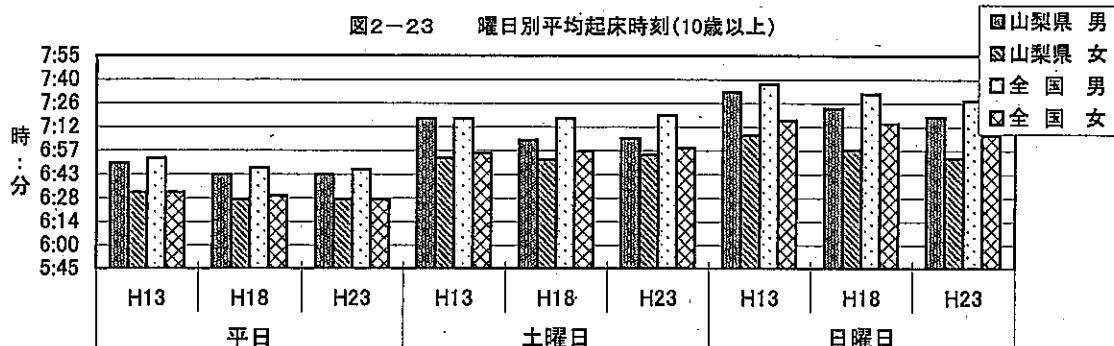
① 平均起床時刻

- 平均起床時刻を曜日別にみると、男女ともすべてで全国平均と同時刻または早い時刻に起床している。また、全国と同様にすべての曜日で女性が早くなっている。
- 平成13年からの調査と比較すると、平日は男女とも平成18年に早くなり平成23年は変化なく、土曜日は平成18年に早くなつたが平成23年に若干遅くなり、日曜日は各調査年ごとに本県・全国とも同様に男女とも早くなっている。(表2-22、図2-23)

表2-22 曜日別平均起床時刻(10歳以上) (単位:時:分)

	平日			土曜日			日曜日		
	平均時刻(時:分)			平均時刻(時:分)			平均時刻(時:分)		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県 総数	6:41	6:36	6:35	7:05	6:58	7:00	7:20	7:10	7:05
	男	6:50	6:43	6:43	7:17	7:04	7:05	7:33	7:23
	女	6:32	6:28	6:28	6:53	6:52	6:55	7:07	6:58
全国 総数	6:42	6:39	6:37	7:06	7:07	7:08	7:27	7:23	7:17
	男	6:53	6:47	6:46	7:17	7:17	7:19	7:38	7:32
	女	6:32	6:30	6:28	6:56	6:57	6:59	7:16	7:14

図2-23 曜日別平均起床時刻(10歳以上)



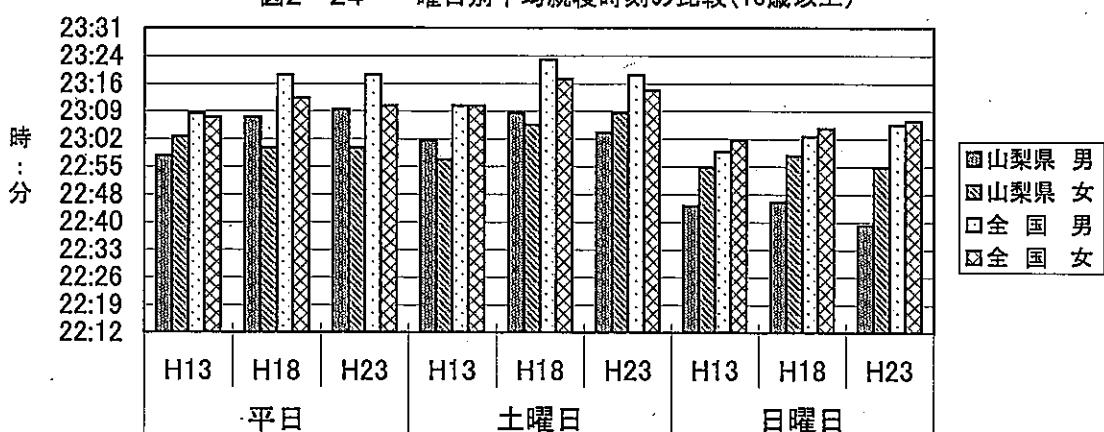
②平均就寝時刻

- 平均就寝時刻を曜日別にみると、各調査年とも、平日、土日の全ての曜日で、男女とも全国の方が本県に比べて就寝時刻が遅くなっている。
- 本県において平日については、男性が遅くなっているのに対し、女性は平成18年に早くなって平成23年は同時刻となっている。土曜日は男性が平成18年に遅くなつて平成23年に早くなっているが、女性は徐々に遅くなっている。日曜日は男女とも平成18年に遅くなつて平成23年に早くなっているのに対し、全国は男女とも徐々に遅くなっている。(表2-23、図2-24)

表2-23 曜日別平均就寝時刻(10歳以上) (単位:時:分)

	平日			土曜日			日曜日		
	平均時刻(時:分)			平均時刻(時:分)			平均時刻(時:分)		
	H13	H18	H23	H13	H18	H23	H13	H18	H23
山梨県 総数	23:00	23:04	23:05	23:00	23:08	23:06	22:50	22:52	22:48
	男	22:58	23:08	23:10	23:02	23:09	23:04	22:45	22:46
	女	23:03	23:00	23:00	22:57	23:06	23:09	22:55	22:58
全国 総数	23:09	23:16	23:15	23:11	23:20	23:17	23:00	23:04	23:06
	男	23:09	23:19	23:19	23:11	23:23	23:19	22:59	23:03
	女	23:08	23:13	23:11	23:11	23:18	23:15	23:02	23:05

図2-24 曜日別平均就寝時刻の比較(10歳以上)



IV 全国・都道府県との地域差 山梨県のランキングと推移

平成23年・平成18年・平成13年調査のデータから、生活行動の種類別で、全国平均及び各都道府県と山梨県との比較を行い、山梨県のランキングと推移をまとめました。

山梨県が上位(1位~10位)にある行動の種類を主に、必要な項目も含め掲載しました。

1. 生活行動関連 行動者率のランキングと推移

(1) 学習・自己啓発・訓練

学習・自己啓発・訓練の行動者率は、「芸術・文化」の行動者率が、平成13年・平成23年調査では全国10位以内と比較的高い地位にある。

学習・自己啓発・訓練の「全般」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	36.2	—	全国	35.2	—	全国	35.2
1	東京都	44.8	1	東京都	43.8	1	東京都	44.7
2	神奈川県	43.3	2	神奈川県	43.4	2	神奈川県	42.1
3	千葉県	41.4	3	奈良県	40.9	3	滋賀県	39.2
4	京都府	41.0	4	千葉県	40.1	4	奈良県	38.4
4	奈良県	41.0	5	滋賀県	37.8	5	京都府	37.9
	山梨県	36.2	11	山梨県	34.7	15	山梨県	33.2
47	青森県	22.2	47	青森県	24.0	47	秋田県	25.4

① 学習・自己啓発・訓練のうち 「芸術・文化」 の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	9.5	—	全国	11.2	—	全国	10.0
1	東京都	14.9	1	東京都	16.2	1	東京都	14.4
2	京都府	13.4	2	奈良県	15.0	2	奈良県	13.0
3	神奈川県	11.6	3	神奈川県	14.3	3	京都府	12.8
4	奈良県	11.1	4	京都府	13.3	4	神奈川県	12.2
5	滋賀県	11.0	5	埼玉県	12.9	5	長野県	11.3
8	山梨県	10.2	13	山梨県	10.5	7	山梨県	10.5
47	青森県	5.6	47	大分県	6.9	47	青森県	6.7

③ 学習・自己啓発・訓練のうち 「介護関係」 の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	3.3	—	全国	3.4	—	全国	3.2
1	長野県	4.4	1	岡山県	4.5	1	愛媛県	4.5
1	鹿児島県	4.4	2	愛媛県	4.3	2	熊本県	4.5
3	奈良県	4.1	3	広島県	4.2	3	鹿児島県	4.4
4	和歌山県	4.0	3	鹿児島県	4.2	4	島根県	4.2
5	熊本県	3.9	5	島根県	4.0	5	大分県	4.1
15	山梨県	3.4	8	山梨県	3.8	18	山梨県	3.3
47	青森県・岐阜県	2.5	47	愛知県	2.3	47	石川県	2.5

(2)スポーツ

スポーツの行動者率は、「ソフトボール」、「サッカー」、「ゴルフ」、「柔道」、「ゲートボール」、「ボウリング」の平成23年調査の全国順位が5位以内と高い地位にある。中でも「サッカー」は3回の調査においてすべて5位以内となっている。

スポーツの「全般」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	72.2	一	全国	65.3	一	全国	63.0
1	埼玉県	76.7	1	神奈川県	71.8	1	東京都	68.6
2	東京都	76.0	2	埼玉県	69.5	2	滋賀県	67.9
3	滋賀県	75.1	3	滋賀県	69.1	3	埼玉県	66.9
4	千葉県	74.9	4	東京都	69.0	4	神奈川県	66.1
5	神奈川県	74.6	5	千葉県	68.4	5	千葉県	66.0
20	山梨県	71.6	7	山梨県	64.9	6	山梨県	65.2
47	青森県	60.1	47	青森県	53.9	47	青森県	49.4

①スポーツのうち「ソフトボール」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	5.8	一	全国	4.0	一	全国	3.1
1	鹿児島県	10.0	1	長崎県	7.2	1	山梨県	5.5
2	福島県	9.4	2	福岡県	6.8	2	長崎県	5.4
3	佐賀県	8.9	3	福島県	6.5	3	大分県	4.9
3	長崎県	8.9	4	山梨県	6.3	4	山口県	4.7
5	山口県	8.5	4	長野県	6.3	4	鹿児島県	4.7
6	山梨県	8.3						
47	東京都	3.2	47	新潟県	1.6	47	新潟県	1.4

②スポーツのうち「サッカー」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	5.8	一	全国	6.0	一	全国	5.6
1	埼玉県	7.6	1	山梨県	8.2	1	埼玉県	7.2
2	神奈川県	7.2	2	埼玉県	7.6	1	静岡県	7.2
3	滋賀県	6.9	3	宮城県	7.3	3	東京都	7.0
4	千葉県	6.8	4	茨城県	7.3	4	山梨県	6.4
5	山梨県	6.6	5	神奈川県	7.2	5	愛知県	6.2
47	香川県	3.2	47	香川県	3.7	47	和歌山県	3.3

※平成23年調査では「フットサルを含む」となっている。

③スポーツのうち「ゴルフ(練習場を含む)」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	11.1	一	全国	8.9	一	全国	8.1
1	奈良県	14.0	1	奈良県	11.4	1	栃木県	10.4
2	山梨県	13.9	2	茨城県	11.1	1	愛知県	10.4
3	千葉県	13.6	3	神奈川県	11.0	3	茨城県	10.1
4	栃木県	13.0	3	山梨県	11.0	3	東京都	10.1
4	大阪府	13.0	5	東京都	10.8	5	山梨県	9.6
47	青森県	5.3	47	秋田県	4.2	47	青森県	2.8

④スポーツのうち「柔道」の行動者率

平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	0.6	一	全国	0.5
1	岩手県	1.0	1	富山県	1.0
2	奈良県	0.9	2	山梨県	0.9
3	山梨県	0.8	2	秋田県	0.9
3	千葉県	0.8	4	奈良県	0.8
3	大阪府	0.8	4	岡山県	0.8
3	熊本県	0.8			
47	島根県、徳島県、愛媛県	0.3	47	石川県	0.2

※「柔道」は平成13年調査は調査項目無し

⑤スポーツのうち「ゲートボール」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	1.3	一	全国	1.0	一	全国	0.7
1	鹿児島県	4.4	1	鹿児島県	3.2	1	島根県	2.6
2	島根県	4.0	2	島根県	2.8	2	鹿児島県	2.5
3	山梨県	3.3	3	鳥取県	2.6	3	滋賀県	2.1
4	佐賀県	3.2	3	熊本県	2.6	4	山梨県	1.7
5	長野県	3.0	5	山梨県	2.5	4	佐賀県	1.7
47	東京都、大阪府	0.5	47	東京都、神奈川県	0.3	47	東京都、高知県	0.2

⑥スポーツのうち「ボウリング」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	23.1	一	全国	18.6	一	全国	12.8
1	沖縄県	30.1	1	沖縄県	24.4	1	沖縄県	18.6
2	滋賀県	28.3	2	愛知県	24.1	2	滋賀県	16.7
3	大阪府	27.2	3	滋賀県	22.5	3	愛知県	15.9
4	京都府	25.9	4	石川県	21.3	4	広島県	14.8
4	埼玉県	25.9	5	岐阜県	20.9	5	山梨県	14.5
23	山梨県	21.5	10	山梨県	19.8			
47	高知県	16.1	47	高知県	11.1	47	秋田県	7.1

⑦スポーツのうち「ジョギング・マラソン」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	11.8	一	全国	8.8	一	全国	9.6
1	沖縄県	17.0	1	沖縄県	11.1	1	東京都	12.7
2	埼玉県	14.2	2	千葉県	10.9	2	埼玉県	11.5
3	鹿児島県	14.0	3	鹿児島県	10.8	3	沖縄県	10.7
4	茨城県	13.6	4	山梨県	10.6	4	群馬県	10.6
5	山梨県	13.3	5	茨城県	10.4	4	鹿児島県	10.6
47	青森県	9.1	47	山形県	6.8	47	和歌山県、高知県	6.8

※東京マラソン第1回2007年(H19.2)開催

(3) 趣味・娯楽

「趣味・娯楽」の行動者率は、種類別でみると、「書道」、「詩・和歌・俳句・小説などの創作」の行動者率が平成23年・平成18年調査において全国順位3位以内と高い地位にあり、「日曜大工」、「園芸・庭いじり・ガーデニング」、「編み物・手芸」、「邦舞」・おどり」、「楽器の演奏」も平成23年調査において10位以内に上昇している。

趣味・娯楽の「全般」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	85.9	一	全国	84.9	一	全国	84.8
1	埼玉県	89.3	1	神奈川県	89.3	1	神奈川県	88.7
2	東京都	89.1	2	東京都	88.5	2	東京都	88.5
3	神奈川県	88.9	3	千葉県	87.5	3	埼玉県	87.9
4	滋賀県	88.5	4	滋賀県	87.4	4	奈良県	87.1
5	千葉県	88.4	5	埼玉県	87.3	5	広島県	86.7
21	山梨県	84.8	23	山梨県	83.4	15	山梨県	84.5
47	青森県	77.2	47	青森県	76.0	47	青森県	75.0

① 趣味・娯楽のうち「書道」の行動者率

平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	4.5	一	全国	4.1
1	兵庫県	5.8	1	山梨県	5.8
2	山梨県	5.7	2	長崎県	5.1
3	京都府	5.5	3	富山県	4.9
3	滋賀県	5.5	3	広島県	4.9
5	愛知県	5.4	5	奈良県	4.8
47	秋田県、沖縄県	3.2	47	高知県、秋田県	2.9

※「書道」は平成13年調査は調査項目無し

② 趣味・娯楽のうち「詩・和歌・俳句・小説などの創作」の行動者率

平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	2.6	一	全国	2.2
1	東京都	3.2	1	神奈川県	3.2
1	愛媛県	3.2	2	山梨県	2.9
3	山梨県	3.1	3	東京都	2.8
4	兵庫県	3.0	3	長野県	2.8
4	宮城県	3.0	5	奈良県	2.7
47	青森県	1.6	47	新潟県	1.3

※「詩・和歌・俳句・小説などの創作」は平成13年調査は調査項目無し

③ 趣味・娯楽のうち「日曜大工」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	12.5	一	全国	10.3	一	全国	8.9
1	岐阜県	15.4	1	沖縄県	12.3	1	滋賀県	11.3
1	滋賀県	15.4	2	滋賀県	12.1	2	和歌山県	10.9
3	沖縄県	15.1	3	山口県	11.9	3	茨城県	10.7
4	三重県	14.8	3	和歌山県	11.9	4	山梨県	10.4
5	奈良県	14.7	5	鹿児島県	11.8	5	沖縄県	10.2
10	山梨県	13.6	11	山梨県	11.0	47	福岡県	7.2
47	大分県	10.7	47	大分県	8.5			

④趣味・娯楽のうち 「園芸・庭いじり・ガーデニング」 の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	32.5	—	全国	28.2	—	全国	26.6
1	長野県	38.0	1	鹿児島県	33.3	1	長野県	31.6
2	奈良県	37.6	2	奈良県	32.5	2	奈良県	31.5
3	山口県	37.1	3	山口県	32.4	3	群馬県	31.1
4	三重県	36.4	4	長野県	32.1	3	山口県	31.1
4	岡山県	36.4	4	群馬県	32.1	5	山梨県	30.7
13	山梨県	35.2	11	山梨県	31.1			
47	東京都	26.1	47	沖縄県	21.9	47	沖縄県	20.8

⑤趣味・娯楽のうち 「編み物・手芸」 の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	12.1	—	全国	10.9	—	全国	10.1
1	北海道	14.5	1	兵庫県	13.0	1	北海道	12.3
2	奈良県	14.0	2	北海道	12.8	2	宮城県	11.6
2	兵庫県	14.0	3	神奈川県	12.4	3	奈良県	11.5
4	滋賀県	13.7	4	滋賀県	12.3	4	神奈川県	11.4
5	埼玉県	13.2	5	京都府	12.1	4	兵庫県	11.4
20	山梨県	11.6	25	山梨県	10.1	6	山梨県	11.1
47	沖縄県	8.9	47	佐賀県、沖縄県	8.1	47	沖縄県	7.2

⑥趣味・娯楽のうち 「邦舞・おどり」 の行動者率

平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	2.2	—	全国	1.6
1	岩手県	3.9	1	岩手県	3.6
2	沖縄県	3.7	2	鹿児島県	3.3
3	宮崎県	3.1	3	徳島県	3.2
4	三重県	3.0	4	沖縄県	3.1
4	鹿児島県	3.0	5	島根県	2.2
19	山梨県	2.2	6	山梨県	2.1
47	滋賀県	1.4	47	福島県、滋賀県、兵庫県	1.0

※「邦舞・おどり」は平成13年調査は調査項目無し

⑦趣味・娯楽のうち 「楽器の演奏」 の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
—	全国	11.3	—	全国	10.5	—	全国	9.6
1	滋賀県	13.4	1	神奈川県	13.7	1	東京都	11.9
2	東京都	12.6	2	京都府	12.6	2	滋賀県	11.2
2	京都府	12.6	3	滋賀県	12.4	3	神奈川県	11.0
4	神奈川県	12.4	4	埼玉県	12.2	4	愛知県	10.8
4	長野県	12.4	5	長野県	12.0	5	長野県	10.6
9	山梨県	11.9	24	山梨県	9.6	7	山梨県	10.4
47	徳島県	8.2	47	青森県	6.5	47	長崎県、新潟県	6.8

(4)ボランティア活動

ボランティア活動の行動者率は、「障害者を対象とした活動」が平成13年調査・平成23年調査で全国順位1位と高く、「自然や環境を守る運動」、「高齢者を対象とした活動」、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」、「安全な生活のための活動」、「災害に関係した活動」の全国順位が、過去2回をとおして全国順位が10位以内と高い地位にある。

ボランティア活動の「全般」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	28.9	一	全国	26.2	一	全国	26.3
1	鹿児島県	40.1	1	鳥取県	34.5	1	山形県	35.3
2	山梨県	39.6	2	滋賀県	34.0	2	島根県	34.8
3	滋賀県	39.3	2	島根県	34.0	3	鹿児島県	34.4
4	岐阜県	38.5	4	福井県	33.6	4	鳥取県	33.9
5	長野県	37.1	5	鹿児島県	33.2	5	岩手県	33.7
47	大阪府	21.7	47	沖縄県	19.7	47	山梨県	31.2

①ボランティア活動のうち「障害者を対象とした活動」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	2.2	一	全国	2.0	一	全国	1.4
1	山梨県	3.9	1	鳥取県	2.9	1	山梨県	2.0
2	鹿児島県	3.7	2	宮崎県	2.8	1	山口県	2.0
3	長野県	3.1	3	福井県	2.7	3	奈良県	1.9
4	石川県	2.9	4	鹿児島県	2.6	4	大分県	1.9
4	京都府	2.9	4	岐阜県	2.6	5	長野県	1.8
47	広島県	1.4	47	青森県	1.2	47	岐阜県	1.8
47	福島県	0.7						

②ボランティア活動のうち「自然や環境を守るための活動」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	8.0	一	全国	6.5	一	全国	4.7
1	山梨県	14.0	1	佐賀県	10.1	1	鹿児島県	7.9
2	鹿児島県	12.6	2	岩手県	9.8	2	山梨県	7.6
3	滋賀県	12.4	3	鹿児島県	9.5	3	岩手県	7.2
3	岐阜県	12.4	4	滋賀県	9.3	4	佐賀県	7.2
5	佐賀県	12.2	5	熊本県	9.0	5	山形県	6.9
47	大阪府	4.7	47	大阪府	4.0	47	大阪府、京都府	3.5

③ボランティア活動のうち「高齢者を対象とした活動」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	5.1	一	全国	4.4	一	全国	3.7
1	鹿児島県	9.1	1	島根県	6.9	1	鹿児島県	6.0
2	長野県	9.0	2	熊本県	6.7	1	島根県	6.0
3	島根県	7.7	2	宮崎県	6.7	3	山梨県	5.6
4	山梨県	7.4	4	鹿児島県	6.3	4	長野県	5.2
5	大分県	7.2	5	鳥取県	6.1	4	熊本県	5.2
47	千葉県	3.7	9	山梨県	5.7	4	宮城県	5.2
47	沖縄県	3.0				47	愛知県	2.7

④ボランティア活動のうち「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	3.1	一	全国	4.2	一	全国	3.5
	山梨県	4.4	1	鳥取県	5.8	1	長野県	5.2
1	福井県	4.4	2	山梨県	5.5	2	島根県	4.9
1	広島県	4.4	2	島根県	5.5	2	滋賀県	4.9
4	島根県	4.3	2	岩手県	5.5	4	大分県	4.8
5	鳥取県	4.1	5	佐賀県	5.1	5	山梨県	4.7
5	滋賀県	4.1				5	山口県	4.7
47	大阪府	1.9	47	青森県	3.2	47	福島県	2.3

⑤ボランティア活動のうち「安全な生活のための活動」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	5.5	一	全国	5.5	一	全国	4.8
1	滋賀県	10.4	1	滋賀県	8.7	1	滋賀県	8.5
2	山梨県	10.2	2	静岡県	8.2	2	山形県	7.7
3	静岡県	9.0	3	宮城県	8.0	3	富山県	7.7
4	宮城県	8.7	4	長野県	7.9	4	静岡県	7.5
5	岐阜県	8.4	5	島根県	7.8	5	山梨県	7.2
47	愛媛県	3.8	47	大阪府	3.0	47	沖縄県	2.7

※ボランティア活動のうち「安全な生活のための活動」の主な内容

交通安全運動、地域の危険場所点検のための巡回、通学路の安全確保活動、「火の用心」巡回

⑥ボランティア活動のうち「災害に関係した活動」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	1.4	一	全国	1.2	一	全国	3.8
1	高知県	4.0	1	長野県	3.1	1	岩手県	11.1
2	山梨県	2.4	2	宮崎県	2.7	1	宮城県	11.1
3	鳥取県	2.3	3	鹿児島県	2.3	3	山形県	6.9
4	長野県	2.0	3	静岡県	2.3	4	福島県	6.5
5	三重県	1.9	5	山梨県	1.7	5	山梨県	5.9
5	東京都	1.9	5	千葉県	1.7			
47	和歌山県、長崎県 富山県	0.7	47	大阪府	0.6	47	広島県	2.0

※平成23年3月11日 東日本大震災

(5)旅行・行楽

「旅行・行楽」の行動者率は、種類別で見ると、「旅行(日帰り)」の行動者率は全般と同じ傾向となっていいるが、平成23年調査の全国順位が7位に上昇した。

旅行・行楽の「全般」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	80.9	一	全国	76.2	一	全国	73.2
1	埼玉県	86.9	1	神奈川県	82.1	1	滋賀県	79.0
2	神奈川県	84.7	2	滋賀県	81.8	2	神奈川県	78.3
3	奈良県	84.3	3	東京都	81.7	3	愛知県	77.6
4	東京都	84.2	3	愛知県	81.7	4	東京都	77.3
5	愛知県	83.9	5	埼玉県	80.7	5	奈良県	76.8
16	山梨県	81.9	21	山梨県	75.2	10	山梨県	75.0
47	沖縄県	60.3	47	沖縄県	53.2	47	沖縄県	50.8

①旅行・行楽のうち「行楽(日帰り)」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	65.6	一	全国	60.0	一	全国	58.3
1	埼玉県	71.5	1	愛知県	67.3	1	滋賀県	65.9
2	奈良県	70.6	2	長野県	65.3	2	愛知県	64.5
3	愛知県	70.2	3	滋賀県	64.9	3	岐阜県	63.3
3	群馬県	70.2	4	福井県	64.6	4	群馬県	63.0
5	岐阜県	69.7	5	神奈川県	63.4	5	富山県	62.9
11	山梨県	67.9	14	山梨県	61.3	7	山梨県	62.4
47	沖縄県	44.8	47	沖縄県	37.4	47	沖縄県	34.9

②旅行・行楽のうち「旅行(1泊2日以上) 国内」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	67.0	一	全国	62.2	一	全国	57.9
1	東京都	75.3	1	東京都	72.4	1	東京都	65.9
2	埼玉県	75.1	2	神奈川県	71.8	2	神奈川県	65.8
3	神奈川県	74.8	3	埼玉県	68.6	3	埼玉県	62.5
4	奈良県	71.0	4	愛知県	67.6	4	滋賀県	61.8
4	京都府	71.0	5	千葉県	67.1	5	奈良県	61.7
17	山梨県	66.5	22	山梨県	59.3	20	山梨県	55.8
47	沖縄県	40.3	47	沖縄県	36.2	47	沖縄県	33.9

③旅行・行楽のうち「旅行(1泊2日以上) 海外」の行動者率

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
一	全国	11.7	一	全国	10.1	一	全国	8.9
1	東京都	17.9	1	東京都	17.5	1	東京都	16.4
2	神奈川県	16.0	2	神奈川県	15.2	2	神奈川県	12.6
3	奈良県	14.4	3	千葉県	12.4	3	千葉県	11.8
4	千葉県	14.3	4	奈良県	11.8	4	愛知県	11.4
5	愛知県	14.2	5	愛知県	11.7	5	兵庫県	10.8
14	山梨県	11.3	18	山梨県	8.4	13	山梨県	7.5
47	秋田県	4.8	47	秋田県	3.0	47	秋田県	2.3

2. 生活時間関連 平均時間及び平均時刻のランキングと推移

(1) 行動の種類別総平均時間(週全体) 1次活動

「1次活動」に係る総平均時間(週全体)は、種類別で見ると、「食事」の総平均時間が3回の調査をとおして全国順位1位と、特に長い傾向にある。

1次活動の「全般」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	10.36	一	全国	10.37	一	全国	10.40
1	高知県	10.54	1	秋田県	11.08	1	秋田県	11.04
2	岩手県	10.53	2	高知県	10.55	2	高知県	11.02
3	山梨県	10.52	3	山形県	10.52	3	青森県	10.57
4	秋田県	10.52	3	青森県	10.52	4	福島県	10.54
5	宮崎県	10.49	5	山梨県	10.50	5	長野県	10.53
			5	岩手県	10.50	6	山梨県	10.51
47	岐阜県	10.27	47	愛知県	10.24	47	千葉県、埼玉県、愛知県	10.33

※単位について 表示例 10.40 ⇒ 10時間40分

①1次活動のうち「食事」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	1.38	一	全国	1.39	一	全国	1.39
1	山梨県	1.46	1	山梨県	1.45	1	山梨県	1.46
2	東京都	1.43	1	東京都	1.45	2	東京都	1.43
3	埼玉県	1.42	3	秋田県	1.44	2	長野県	1.43
3	長野県	1.42	3	長野県	1.44	4	奈良県	1.42
3	鹿児島県	1.42	5	埼玉県	1.43	5	秋田県	1.41
						5	千葉県	1.41
47	北海道、岐阜県、長崎県	1.33	47	北海道	1.33	47	北海道、鳥取県、佐賀県	1.33

②1次活動のうち「身の回りの用事」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	1.13	一	全国	1.15	一	全国	1.19
1	東京都	1.17	1	高知県	1.20	1	高知県	1.25
2	高知県	1.16	2	秋田県	1.19	2	広島県	1.23
2	京都府	1.16	2	島根県	1.19	3	宮城県	1.22
4	山梨県	1.15	2	栃木県	1.19	3	東京都	1.22
4	島根県	1.15	2	東京都	1.19	3	神奈川県	1.22
4	兵庫県	1.15	29	山梨県	1.14	14	山梨県	1.20
47	富山県	1.06	47	沖縄県	1.08	47	石川県	1.13

③1次活動のうち「睡眠」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	7.45	一	全国	7.42	一	全国	7.42
1	岩手県	8.03	1	秋田県	8.05	1	秋田県	8.02
2	秋田県	8.02	1	山形県	8.05	2	青森県	8.01
2	山形県	8.02	3	青森県	8.02	3	高知県	8.00
4	青森県	8.01	4	岩手県	8.00	4	山形県	7.57
5	高知県	8.00	5	宮城県	7.55	5	福島県	7.55
16	山梨県	7.52	1	山梨県	7.51	25	山梨県	7.45
47	東京都、埼玉県	7.37	47	神奈川県	7.31	47	神奈川県	7.31

(2)行動の種類別総平均時間一週全体 2次活動 全般

「2次活動」に係る総平均時間は、種類別にみても、いずれも全般と同様に平成18年調査で増加、平成23年で減少の傾向があるが、「学業」では平成23年調査において全国7位となった。

2次活動の「全般」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	6.56	一	全国	7.00	一	全国	6.53
1	福井県	7.15	1	石川県	7.17	1	埼玉県	7.08
2	石川県	7.12	1	神奈川県	7.17	2	沖縄県	7.03
3	長野県	7.09	3	埼玉県	7.16	3	滋賀県	7.03
3	富山県	7.09	3	千葉県	7.16	4	栃木県	7.02
3	岐阜県	7.09	5	福井県	7.15	4	東京都	7.02
36	山梨県	6.45	31	山梨県	6.56	28	山梨県	6.50
47	愛媛県	6.22	47	北海道	6.27	47	高知県	6.26

①2次活動のうち「仕事」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	3.39	一	全国	3.44	一	全国	3.33
1	青森県	4.10	1	石川県	4.07	1	石川県	3.52
2	福井県	4.09	2	福井県	4.07	2	栃木県	3.49
3	石川県	4.01	3	長野県	4.03	3	岩手県	3.47
4	岩手県	3.59	3	岩手県	4.03	4	福井県	3.46
5	富山県	3.56	3	青森県	4.03	5	新潟県	3.45
15	山梨県	3.44	19	山梨県	3.50	16	山梨県	3.39
47	山口県	3.20	47	奈良県	3.23	47	和歌山県	3.18

②2次活動のうち「学業」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	0.40	一	全国	0.37	一	全国	0.39
1	沖縄県	0.51	1	沖縄県	0.50	1	沖縄県	0.50
2	鹿児島県	0.50	2	鹿児島県	0.46	2	長崎県	0.46
3	熊本県	0.48	3	長崎県	0.43	3	宮崎県	0.45
3	福岡県	0.48	4	京都府	0.43	4	岩手県	0.44
5	京都府	0.47	5	佐賀県	0.42	4	佐賀県	0.44
20	山梨県	0.41	17	山梨県	0.39	7	山梨県	0.42
47	北海道、新潟県	0.33	47	長野県	0.31	47	高知県	0.33

③2次活動のうち「家事」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	1.25	一	全国	1.27	一	全国	1.27
1	山口県	1.33	1	奈良県	1.38	1	和歌山県	1.38
1	三重県	1.33	1	和歌山県	1.38	2	奈良県	1.37
3	沖縄県	1.32	3	山口県	1.37	3	山口県	1.35
3	和歌山県	1.32	4	長崎県	1.35	4	長野県	1.33
5	奈良県	1.31	4	兵庫県	1.35	4	兵庫県	1.33
34	山梨県	1.23	22	山梨県	1.28	29	山梨県	1.26
47	福島県	1.15	47	宮城県	1.19	47	福島県	1.18

(3) 行動の種類別総平均時間一週全体 3次活動 全般

「3次活動」に係る総平均時間は、種類別に見ると、「スポーツ」、「交際・付き合い」の総平均時間が比較的長い傾向がある。

3次活動の「全般」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	6.28	一	全国	6.23	一	全国	6.27
1	愛媛県	6.57	1	北海道	6.56	1	北海道	6.51
2	北海道	6.51	2	愛媛県	6.49	2	愛媛県	6.43
3	山口県	6.45	3	徳島県	6.39	3	三重県	6.41
4	和歌山県	6.44	4	大阪府	6.37	4	大分県	6.40
5	長崎県	6.41	5	長崎県	6.35	5	長崎県	6.35
29	山梨県	6.28	37	山梨県	6.14	39	山梨県	6.19
47	青森県	6.05	47	福井県	6.02	47	長野県	6.10

①3次活動のうち「休養・くつろぎ」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	1.20	一	全国	1.25	一	全国	1.31
1	宮崎県	1.33	1	新潟県	1.36	1	北海道	1.39
2	新潟県	1.29	1	鹿児島県	1.36	1	新潟県	1.39
2	島根県	1.29	3	岩手県	1.34	1	秋田県	1.39
2	秋田県	1.29	3	愛媛県	1.34	1	島根県	1.39
5	熊本県	1.28	5	島根県	1.33	5	高知県	1.38
25	山梨県	1.20	14	山梨県	1.28	44	山梨県	1.25
47	広島県	1.13	47	福井県	1.16	47	沖縄県	1.23

②3次活動のうち「スポーツ」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	0.13	一	全国	0.15	一	全国	0.14
1	島根県	0.16	1	宮崎県	0.19	1	滋賀県	0.18
2	宮崎県	0.15	1	沖縄県	0.19	2	鹿児島県	0.17
2	茨城県	0.15	3	滋賀県	0.18	2	沖縄県	0.17
2	佐賀県	0.15	3	熊本県	0.18	2	島根県	0.17
2	鹿児島県	0.15	3	鹿児島県	0.18	2	宮崎県	0.17
6	山梨県	0.14	10	山梨県	0.16	6	山梨県	0.16
47	青森県	0.10	47	青森県	0.11	47	福島県	0.10

③3次活動のうち「交際・付き合い」の総平均時間(週全体)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分	順位	都道府県	時間・分
一	全国	0.26	一	全国	0.22	一	全国	0.19
1	沖縄県	0.38	1	沖縄県	0.29	1	沖縄県	0.27
2	滋賀県	0.30	2	東京都	0.26	2	東京都	0.23
2	新潟県	0.30	3	静岡県	0.24	3	山梨県	0.22
4	佐賀県	0.28	3	島根県	0.24	3	石川県	0.22
4	福岡県	0.28	3	長崎県	0.24	3	山形県	0.22
10	山梨県	0.27	16	山梨県	0.22			
47	青森県、山口県	0.20	47	長野県	0.17	47	青森県	0.14

(4) 主な行動別 平均時刻 1次活動関係

「1次活動」に係る平均時刻(平日)について、「起床」は山梨県でも早くなる傾向があり、逆に「就寝」平均時刻は平成18年調査から遅くなっている。

「朝食開始」、「夕食開始」平均時刻はを見ると共に、平成18年調査で遅くなり、平成23年調査で早くなっている。

全国順位を見るといずれの種類も10位以下となっている。

① 「起床」 の平均時刻(平日)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分
一	全国	6:42	一	全国	6:39	一	全国	6:37
1	青森県	6:20	1	青森県	6:22	1	青森県	6:19
2	秋田県	6:24	1	岩手県	6:22	2	岩手県	6:22
3	富山県	6:26	3	福島県	6:24	2	新潟県	6:22
4	岩手県	6:27	3	新潟県	6:24	2	島根県	6:22
5	福島県	6:28	3	富山県	6:24	5	秋田県	6:23
33	山梨県	6:41	29	山梨県	6:36	34	山梨県	6:35
47	京都府	7:02	47	東京都	6:52	47	東京都	6:52

② 「就寝」 の平均時刻(平日)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分
一	全国	23:09	一	全国	23:16	一	全国	23:15
1	青森県	22:28	1	青森県	22:32	1	青森県	22:35
2	岩手県	22:30	2	岩手県	22:37	1	秋田県	22:35
3	秋田県	22:31	3	秋田県	22:42	3	山形県	22:43
4	山形県	22:36	4	山形県	22:46	4	岩手県	22:45
5	福島県	22:38	5	福島県	22:50	5	福島県	22:47
27	山梨県	23:00	17	山梨県	23:04	29	山梨県	23:05
47	東京都	23:36	47	東京都	23:40	47	東京都	23:41

③ 「朝食開始」 の平均時刻(平日)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分
一	全国	7:15	一	全国	7:12	一	全国	7:10
1	青森県	7:01	1	静岡県	7:02	1	静岡県	6:58
2	静岡県	7:04	1	山口県	7:02	2	青森県	7:00
3	福井県	7:06	3	福井県	7:03	2	福島県	7:00
4	福島県	7:08	4	青森県	7:04	4	岐阜県	7:01
4	大分県	7:08	4	新潟県	7:04	4	宮崎県	7:01
12	山梨県	7:10	32	山梨県	7:13	28	山梨県	7:09
47	京都府	7:30	47	東京都	7:24	47	沖縄県	7:21

④ 「夕食開始」 の平均時刻(平日)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分
一	全国	19:09	一	全国	19:09	一	全国	19:06
1	青森県	18:44	1	北海道	18:46	1	青森県	18:39
2	北海道	18:48	2	秋田県	18:48	2	秋田県	18:46
2	秋田県	18:48	3	青森県	18:49	2	北海道	18:46
2	愛媛県	18:48	4	愛媛県	18:51	4	和歌山県	18:48
5	高知県	18:49	5	岩手県	18:52	5	岐阜県	18:49
21	山梨県	18:59	20	山梨県	19:03	20	山梨県	18:58
47	沖縄県	19:27	47	沖縄県	19:29	47	沖縄県	19:21

(5) 主な行動別 平均時刻 2次活動関係

「2次活動」に係る平均時刻(平日、有業者)について平成13年調査から比較してみると、「出勤」は早くなる傾向がある。「仕事からの帰宅」の平均時刻は、遅くなり、平成23年調査で逆に早くなっている。全国順位を見るといずれの種類も10位以下となっている。

① 「出勤」 の平均時刻(平日、有業者)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分
一	全国	8:29	一	全国	8:28	一	全国	8:26
1	青森県	7:53	1	岐阜県	8:04	1	青森県	8:04
2	秋田県	8:09	2	青森県	8:05	2	静岡県	8:05
3	熊本県	8:12	3	新潟県	8:09	3	佐賀県	8:12
4	福島県	8:16	4	和歌山県	8:13	4	新潟県	8:13
4	静岡県	8:16	5	熊本県	8:15	4	和歌山県	8:13
44	山梨県	8:45	33	山梨県	8:32	29	山梨県	8:24
47	沖縄県、東京都	8:46	47	沖縄県	8:58	47	京都府	8:43

※「有業者」は調査対象が15歳以上。

② 「仕事からの帰宅」 の平均時刻(平日、有業者)

平成13年			平成18年			平成23年		
順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分	順位	都道府県	時・分
一	全国	18:52	一	全国	18:58	一	全国	18:56
1	高知県	18:01	1	高知県	18:15	1	徳島県	18:02
2	愛媛県	18:07	2	和歌山県	18:16	2	青森県	18:06
3	熊本県	18:11	3	宮崎県	18:22	3	愛媛県	18:13
4	福島県	18:14	4	新潟県	18:23	4	島根県	18:14
5	大分県	18:16	5	熊本県	18:25	5	和歌山県	18:17
15	山梨県	18:27	31	山梨県	18:51	10	山梨県	18:21
47	東京都	19:39	47	神奈川県	19:28	47	東京都	19:45

※3次活動関係の項目に 平均時刻 の集計は無し。

山梨県

表1-1 学習・自己啓発・訓練の種類別行動者数

男女年齢	標本数	10歳以上 推定人口 (千人)	行動者数(千人)										Participants (1000)						
			英語			商業実務・ ビジネス関係 (総数)		パソコン などの情報処理		商業実務・ ビジネス 関		介護関係		家政・家庭 (料理・家庭 経営など)		人文・社会 ・自然科学 (歴史・経 済・数学・ 生物など)		芸術・文化	その他
			総数	外国語	英語	英語以外 の外国语	ビジネス 関係	商業実務・ ビジネス (総数)	パソコン などの情報処理	商業実務・ ビジネス 関	介護関係	家政・家庭 (料理・家庭 経営など)	人文・社会 ・自然科学 (歴史・経 済・数学・ 生物など)	芸術・文化	その他				
総数	3,362	767	255	66	57	18	105	85	39	25	56	45	80	58					
10～14歳	188	42	17	11	11	0	3	3	-	0	2	4	7	4					
15～24歳	349	86	39	16	16	4	12	10	4	3	8	9	12	10					
25～34歳	282	89	35	11	8	3	18	14	8	6	7	7	7	8					
35～44歳	521	118	37	10	7	4	21	15	11	3	7	5	8	7					
45～54歳	516	107	37	8	6	3	18	14	6	4	6	5	9	8					
55～64歳	583	127	45	7	5	4	19	17	7	6	11	7	16	11					
65～74歳	455	97	31	3	3	-	12	10	3	2	11	6	16	6					
75歳以上 (再掲)	468	101	14	1	1	0	3	2	1	1	4	2	6	5					
65歳以上	923	198	45	4	3	0	15	13	3	3	3	15	8	21					
男	1,616	375	122	35	31	9	64	50	28	7	14	28	31	30					
10～14歳	104	22	8	6	6	0	1	1	1	-	0	0	2	2	1				
15～24歳	165	44	18	8	8	1	6	5	2	1	2	5	4	6					
25～34歳	129	46	18	5	4	2	11	8	7	2	2	5	4	6					
35～44歳	267	60	17	5	4	2	11	7	7	1	2	4	3	3					
45～54歳	241	55	19	5	5	1	13	10	5	1	1	3	3	3					
55～64歳	288	63	21	5	3	3	11	9	5	1	2	4	6	7					
65～74歳	219	46	14	1	1	-	7	6	2	0	3	4	6	3					
75歳以上 (再掲)	203	40	7	0	0	-	3	2	1	0	1	2	3	2					
65歳以上	422	86	21	2	2	-	10	8	3	1	4	6	10	4					
女	1,746	392	133	31	26	9	41	36	11	18	42	17	49	28					
10～14歳	84	20	9	5	5	-	1	1	-	-	1	2	4	3					
15～24歳	184	42	21	9	8	2	6	5	2	2	6	4	9	4					
25～34歳	153	43	17	5	4	1	6	6	1	4	5	2	3	3					
35～44歳	254	58	19	4	3	2	9	8	4	2	5	2	5	4					
45～54歳	275	53	18	3	2	1	5	4	1	3	5	2	6	5					
55～64歳	295	64	24	3	2	1	8	8	2	1	5	9	3	10					
65～74歳	236	51	18	1	1	-	5	4	1	2	9	2	9	3					
75歳以上 (再掲)	265	61	7	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3					
65歳以上	501	112	24	2	2	0	5	4	1	2	11	3	12	6					

表1-2 学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率

山梨県

男女年齢	標準数	10歳以上 推定人口 (千人)	行動者率(%)										Participation rate (%)						
			総数	英語			英語以外 の外国語		商業実務・ ビジネス関 係(総数)		パソコン などの 情報処理		介護関係 ビジネス 関係		家政・家事 (料理・家庭 経営など)		人文・社会科学 (歴史・経 済・数学・ 生物など)		
				外国語	英語	語	英語	語	英語	語	英語	語	英語	語	英語	語	英語	語	
総数	3,362	767	33.2	8.6	7.4	2.3	13.7	11.1	5.0	3.3	7.3	5.9	10.5	7.6	4.4	8.8	16.0	10.2	
10~14歳	188	42	40.8	25.4	0.5	6.6	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~24歳	349	86	44.9	19.2	18.4	4.3	14.1	11.5	4.4	3.6	9.2	-	10.4	14.5	-	-	-	-	11.4
25~34歳	282	89	39.9	11.9	9.4	3.7	19.9	15.8	9.0	6.5	8.3	7.3	-	-	-	-	-	-	9.5
35~44歳	521	118	31.4	8.2	6.1	3.1	17.5	12.5	9.1	2.8	5.9	4.6	7.2	5.9	-	-	-	-	-
45~54歳	516	107	34.4	7.2	5.9	2.4	16.8	13.5	5.6	3.9	5.6	5.1	8.2	7.1	-	-	-	-	-
55~64歳	583	127	35.2	5.9	4.0	3.3	15.2	13.1	5.4	4.7	8.5	5.6	12.4	8.7	-	-	-	-	-
65~74歳	455	97	32.4	2.6	2.6	-	11.9	10.5	2.8	2.1	11.7	6.3	16.1	5.7	-	-	-	-	-
75歳以上 (再掲)	468	101	13.5	1.0	0.8	0.2	2.9	2.4	0.6	0.5	3.7	2.3	5.5	4.6	-	-	-	-	-
65歳以上	923	198	22.8	1.8	1.7	0.1	7.3	6.4	1.7	1.3	7.6	4.3	10.7	5.1	-	-	-	-	-
男	1,616	375	32.5	9.4	8.3	2.4	17.1	13.2	7.4	1.8	3.7	7.6	8.3	7.9	-	-	-	-	-
10~14歳	104	22	34.8	26.2	0.9	6.4	6.4	-	-	0.8	2.1	9.5	10.5	6.9	-	-	-	-	-
15~24歳	165	44	40.1	17.6	17.2	2.8	14.3	12.1	4.3	1.4	4.8	11.0	8.2	13.5	-	-	-	-	-
25~34歳	129	46	40.0	11.6	9.6	4.1	25.1	17.7	14.4	4.7	5.4	9.9	8.2	12.7	-	-	-	-	-
35~44歳	267	60	29.1	8.7	7.0	2.7	18.7	11.9	12.0	2.0	3.2	6.3	5.5	5.2	-	-	-	-	-
45~54歳	241	55	34.8	8.9	8.3	2.6	24.1	18.9	8.4	1.8	1.3	6.0	5.6	4.9	-	-	-	-	-
55~64歳	288	63	33.3	7.6	4.6	4.5	17.3	14.3	7.5	1.7	3.1	6.5	9.1	10.3	-	-	-	-	-
65~74歳	219	46	30.0	3.0	3.0	-	15.1	13.4	4.7	0.8	6.2	8.3	13.9	5.9	-	-	-	-	-
75歳以上 (再掲)	203	40	17.5	1.0	1.0	-	6.7	5.2	1.4	0.8	3.2	5.1	7.9	3.9	-	-	-	-	-
65歳以上	422	86	24.2	2.1	2.1	-	-	11.2	9.6	3.2	0.8	4.8	6.8	11.1	4.9	-	-	-	-
女	1,746	392	33.9	7.8	6.6	2.2	10.4	9.1	2.8	4.6	10.8	4.3	12.6	7.3	-	-	-	-	-
10~14歳	84	20	47.2	24.4	-	6.7	6.7	-	-	-	-	6.9	7.9	21.9	-	-	-	-	13.8
15~24歳	184	42	49.8	20.8	19.6	5.9	13.9	10.9	4.4	5.9	13.8	9.7	21.1	9.1	-	-	-	-	-
25~34歳	153	43	39.8	12.2	9.3	3.3	14.4	13.8	3.4	8.3	11.3	4.6	7.9	6.2	-	-	-	-	-
35~44歳	254	58	33.8	7.7	5.2	3.6	16.3	13.2	6.1	3.7	8.7	2.7	8.9	6.6	-	-	-	-	-
45~54歳	275	53	34.0	5.4	3.5	2.2	9.1	7.9	2.7	6.0	10.1	4.1	10.8	9.3	-	-	-	-	-
55~64歳	295	64	37.0	4.2	3.5	2.1	13.1	12.0	3.4	7.7	13.9	4.7	15.7	7.1	-	-	-	-	-
65~74歳	236	51	34.5	2.2	2.2	-	9.1	7.9	1.2	3.3	16.7	4.5	18.1	5.5	-	-	-	-	-
75歳以上 (再掲)	265	61	11.0	1.1	0.7	0.4	0.5	0.5	-	0.3	4.0	0.4	3.9	5.2	-	-	-	-	-
65歳以上	501	112	21.7	1.6	1.4	0.2	4.4	3.9	0.5	1.7	9.8	2.3	10.4	5.3	-	-	-	-	-

表2-5 曜日、男女、就寝時刻別行動者数(構成比)及び平均就寝時刻—全国・山梨県 平日・土曜日・日曜日(続)

平日・土曜日・日曜日

地域	就寝時刻別行動者数(構成比%)												Area						
	23:45	0:00	0:15	0:30	0:45	1:00	1:15	1:30	1:45	2:00	2:15	2:30	2:45	3:00	3:15	3:30	3:45	4:00	
平日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	
総数	4.09	12.21	0.68	2.62	0.78	4.06	0.65	1.78	0.44	2.43	0.33	0.65	0.19	0.97	0.13	0.30	0.08	2.06	1 Japan
全 山梨県	3.42	9.79	0.62	2.10	0.89	3.74	0.44	1.32	0.18	2.30	0.19	0.60	0.33	0.26	0.32	0.17	0.05	1.61	20 Yamanashi-ken
男 全 山梨県	3.94	11.96	0.60	2.49	0.70	4.04	0.62	1.85	0.46	2.83	0.34	0.75	0.19	1.27	0.17	0.39	0.11	3.11	1 Japan
女 全 山梨県	3.14	9.38	0.34	1.64	0.44	3.65	0.76	2.01	—	2.68	—	0.53	0.65	0.29	0.43	0.22	0.09	2.27	20 Yamanashi-ken
土曜日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総数	3.56	12.31	0.62	2.13	0.61	4.27	0.65	1.92	0.40	2.68	0.40	0.90	0.20	1.29	0.19	0.38	0.09	2.26	1 Japan
全 山梨県	3.82	11.05	0.61	2.01	0.45	3.64	0.60	1.24	0.48	2.56	0.39	1.17	0.15	0.77	0.15	0.28	0.05	1.82	20 Yamanashi-ken
男 全 山梨県	3.09	11.99	0.50	1.80	0.58	4.27	0.62	1.95	0.40	3.08	0.49	1.01	0.22	1.62	0.24	0.52	0.11	3.07	1 Japan
女 全 山梨県	4.12	10.95	0.53	1.76	0.56	3.21	0.32	0.89	0.25	2.52	0.65	1.64	0.17	0.94	0.30	0.26	—	2.31	20 Yamanashi-ken
日曜日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総数	3.72	12.14	0.74	2.48	0.44	3.60	0.41	1.59	0.31	1.74	0.29	0.56	0.11	0.93	0.09	0.28	0.07	1.60	1 Japan
全 山梨県	3.14	11.10	0.91	3.41	0.96	2.60	0.37	2.32	0.29	0.99	—	0.22	0.64	—	—	—	0.41	0.21	20 Yamanashi-ken
男 全 山梨県	3.12	11.41	0.43	2.32	0.22	3.39	0.25	1.57	0.15	1.88	0.31	0.55	0.16	1.14	0.15	0.32	0.11	2.37	1 Japan
女 全 山梨県	2.68	10.23	1.43	4.12	0.84	2.26	—	2.72	0.60	0.60	—	0.44	1.08	0.45	—	—	—	20 Yamanashi-ken	

問い合わせ先

〒400-0851

山梨県甲府市丸の内1丁目6-1

山梨県企画県民部統計調査課 生活教育担当

電話 055-237-1111 (内線1507)

055-223-1345 (直通)

FAX 055-223-1347
